

基礎分野

基礎分野 科学的思考の基盤

科目名	論理学	単位 1	時間 30	開校年次 1 年次 後期																																
科目責任者	金子 満																																			
科目概要	論理的に考え、推論し、書く能力は学問の基礎であるとともに社会生活の基盤である。本講義は、言葉を正確に使って正しく伝える(理解する)技術を習得し、クリティカルシンキング等の批判的思考力を養成することにより、論理的なものごとを捉えレポート・論文に書くことができるようにすることを目的とする。																																			
到達目標	1. 物事を論理的に思考し客観的に評価できる。																																			
授業計画	<table><thead><tr><th>〈授業内容・テーマ等〉</th><th>〈担当教員名〉</th></tr></thead><tbody><tr><td>第1回 : 論理学とは何か、論理学が扱う推論</td><td>金子 満</td></tr><tr><td>第2回 : 命題とは、命題論理の形式、否定について</td><td>金子 満</td></tr><tr><td>第3回 : 「かつ」の論理法則「または」の論理法則「ド・モルガンの法則」</td><td>金子 満</td></tr><tr><td>第4回 : 「ならばの構造」「対偶をとる」「ならばの連鎖」</td><td>金子 満</td></tr><tr><td>第5回 : 「ならばの構造」「命題論理の方法」</td><td>金子 満</td></tr><tr><td>第6回 : 「ならばの連鎖の問題」「命題論理の方法」「基本的な心理関数」</td><td>金子 満</td></tr><tr><td>第7回 : 「基本的な真理関数」「三段論法の型」</td><td>金子 満</td></tr><tr><td>第8回 : 「三段論法の型」</td><td>金子 満</td></tr><tr><td>第9回 : 「推論の型」「述語論理」</td><td>金子 満</td></tr><tr><td>第 10 回 : 述語論理(「すべて」の論理構造、「存在する」の論理構造</td><td>金子 満</td></tr><tr><td>第 11 回 : 論理の応用 1. 接続の論理</td><td>金子 満</td></tr><tr><td>第 12 回 : 論証について(推論と推理、演繹法と帰納法)</td><td>金子 満</td></tr><tr><td>第 13 回 : テキストを読む技術</td><td>金子 満</td></tr><tr><td>第 14 回 : レポートを書く技術</td><td>金子 満</td></tr><tr><td>第 15 回 : 終講試験・まとめ</td><td>金子 満</td></tr></tbody></table>				〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉	第1回 : 論理学とは何か、論理学が扱う推論	金子 満	第2回 : 命題とは、命題論理の形式、否定について	金子 満	第3回 : 「かつ」の論理法則「または」の論理法則「ド・モルガンの法則」	金子 満	第4回 : 「ならばの構造」「対偶をとる」「ならばの連鎖」	金子 満	第5回 : 「ならばの構造」「命題論理の方法」	金子 満	第6回 : 「ならばの連鎖の問題」「命題論理の方法」「基本的な心理関数」	金子 満	第7回 : 「基本的な真理関数」「三段論法の型」	金子 満	第8回 : 「三段論法の型」	金子 満	第9回 : 「推論の型」「述語論理」	金子 満	第 10 回 : 述語論理(「すべて」の論理構造、「存在する」の論理構造	金子 満	第 11 回 : 論理の応用 1. 接続の論理	金子 満	第 12 回 : 論証について(推論と推理、演繹法と帰納法)	金子 満	第 13 回 : テキストを読む技術	金子 満	第 14 回 : レポートを書く技術	金子 満	第 15 回 : 終講試験・まとめ	金子 満
〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉																																			
第1回 : 論理学とは何か、論理学が扱う推論	金子 満																																			
第2回 : 命題とは、命題論理の形式、否定について	金子 満																																			
第3回 : 「かつ」の論理法則「または」の論理法則「ド・モルガンの法則」	金子 満																																			
第4回 : 「ならばの構造」「対偶をとる」「ならばの連鎖」	金子 満																																			
第5回 : 「ならばの構造」「命題論理の方法」	金子 満																																			
第6回 : 「ならばの連鎖の問題」「命題論理の方法」「基本的な心理関数」	金子 満																																			
第7回 : 「基本的な真理関数」「三段論法の型」	金子 満																																			
第8回 : 「三段論法の型」	金子 満																																			
第9回 : 「推論の型」「述語論理」	金子 満																																			
第 10 回 : 述語論理(「すべて」の論理構造、「存在する」の論理構造	金子 満																																			
第 11 回 : 論理の応用 1. 接続の論理	金子 満																																			
第 12 回 : 論証について(推論と推理、演繹法と帰納法)	金子 満																																			
第 13 回 : テキストを読む技術	金子 満																																			
第 14 回 : レポートを書く技術	金子 満																																			
第 15 回 : 終講試験・まとめ	金子 満																																			
評価方法	筆記試験(レポート)100%																																			
指定図書	1. 看護学生のためのレポート論文の書き方 第6版 金芳堂																																			
参考書	プリント配布																																			
事前・事後学修	論理的な力は知識ではなく練習問題(トレーニング)を通じて向上します。講義内で出される課題に意欲的に取り組んでください。																																			
実務経験のある教員による実践的授業																																				

基礎分野 科学的思考の基盤

科目名	情報科学	単位 1	時間 30	開校年次 1年次 後期																																
科目責任者	西田 詩																																			
科目概要	医療・看護領域における電子化に対応できるように、コンピューターシステムの構成やコンピューターネットワークの概要について学習する。また、インターネットでの情報収集機能や基本的ソフトウェアの活用など、実用的な情報処理術の習得を目指す。併せて情報セキュリティに関する基本的知識など情報リテラシーや情報倫理についても学ぶ。																																			
到達目標	1. コンピューターシステムの構成や概要を理解できる。 2. 医療・看護における情報モラルの必要性や情報管理について理解できる。 2. インターネットの機能や基本的なソフトウェアの活用について理解し実用を学ぶ。																																			
授業計画	<table><thead><tr><th>〈授業内容・テーマ等〉</th><th>〈担当教員名〉</th></tr></thead><tbody><tr><td>第1回:オリエンテーション・情報科学の基礎</td><td>西田 詩</td></tr><tr><td>第2回:医療・看護に必要な情報倫理</td><td>西田 詩</td></tr><tr><td>第3回:コンピューターの基本操作</td><td>西田 詩</td></tr><tr><td>第4回:ワープロソフト Word1</td><td>西田 詩</td></tr><tr><td>第5回:ワープロソフト Word2</td><td>西田 詩</td></tr><tr><td>第6回:ワープロソフト Word3</td><td>西田 詩</td></tr><tr><td>第7回:情報処理</td><td>西田 詩</td></tr><tr><td>第8回:ハードウェアとソフトウェア</td><td>西田 詩</td></tr><tr><td>第9回:表計算ソフトExcel1</td><td>西田 詩</td></tr><tr><td>第10回:表計算ソフトExcel2</td><td>西田 詩</td></tr><tr><td>第11回:表計算ソフトExcel3</td><td>西田 詩</td></tr><tr><td>第12回:インターネットでの情報検索</td><td>西田 詩</td></tr><tr><td>第13回:統計的データ処理</td><td>西田 詩</td></tr><tr><td>第14回:プレゼンテーションソフト Power Point1</td><td>西田 詩</td></tr><tr><td>第15回:プレゼンテーションソフト Power Point2</td><td>西田 詩</td></tr></tbody></table>				〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉	第1回:オリエンテーション・情報科学の基礎	西田 詩	第2回:医療・看護に必要な情報倫理	西田 詩	第3回:コンピューターの基本操作	西田 詩	第4回:ワープロソフト Word1	西田 詩	第5回:ワープロソフト Word2	西田 詩	第6回:ワープロソフト Word3	西田 詩	第7回:情報処理	西田 詩	第8回:ハードウェアとソフトウェア	西田 詩	第9回:表計算ソフトExcel1	西田 詩	第10回:表計算ソフトExcel2	西田 詩	第11回:表計算ソフトExcel3	西田 詩	第12回:インターネットでの情報検索	西田 詩	第13回:統計的データ処理	西田 詩	第14回:プレゼンテーションソフト Power Point1	西田 詩	第15回:プレゼンテーションソフト Power Point2	西田 詩
〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉																																			
第1回:オリエンテーション・情報科学の基礎	西田 詩																																			
第2回:医療・看護に必要な情報倫理	西田 詩																																			
第3回:コンピューターの基本操作	西田 詩																																			
第4回:ワープロソフト Word1	西田 詩																																			
第5回:ワープロソフト Word2	西田 詩																																			
第6回:ワープロソフト Word3	西田 詩																																			
第7回:情報処理	西田 詩																																			
第8回:ハードウェアとソフトウェア	西田 詩																																			
第9回:表計算ソフトExcel1	西田 詩																																			
第10回:表計算ソフトExcel2	西田 詩																																			
第11回:表計算ソフトExcel3	西田 詩																																			
第12回:インターネットでの情報検索	西田 詩																																			
第13回:統計的データ処理	西田 詩																																			
第14回:プレゼンテーションソフト Power Point1	西田 詩																																			
第15回:プレゼンテーションソフト Power Point2	西田 詩																																			
評価方法	授業内容に伴う課題提出 100%で評価																																			
指定図書	1, 30 時間でマスターOffice2019 (Windows10 対応) 実教出版 2. 看護情報学 医学書院																																			
参考書	学校や自宅にインターネットにつながった PC があれば自習できます。欠席した場合は次の週までに課題を済ませて下さい。																																			
事前・事後学修	出席することが一番重要ですので、欠席しないように受講してください。また個人のUSBに毎回の課題を納めるため管理を行う。																																			
実務経験のある教員による実践的授業																																				

基礎分野 科学的思考の基盤

科目名	心理学	単位 1	時間 30	開校年次 1年次 前期
科目責任者	清原 浩			
科目概要	看護学生という視点にたったうえで、看護師として必要な心理学の基礎的な視点について理解、看護の対象となる人間を捉え、把握することを目指す。			
到達目標	1. 人間の心理を理解する。 2. 健康の心理と人間を理解する。			
授業計画	〈授業内容・テーマ等〉 第1回: 感覚、知覚の心理 第2回: 記憶の心理 第3回: 感情、動機の心理 第4回: 知能・人格の心理 第5回: 発達心理(1) 第6回: 発達心理(2) 第7回: 集団・社会の心理、医療場面での人間理解の展開 第8回: 心理アセスメントと面接(その1) 第9回: 心理アセスメントと面接(その2) 第10回: カウンセリングと心理療法 第11回: カウンセリングと心理療法 第12回: 行動する人間の理解 第13回: 行動する人間の理解 第14回: 行動する人間の理解 第15回: 終講試験・まとめ 〈担当教員名〉 清原 浩 清原 浩 清原 浩 清原 浩 清原 浩 清原 浩 清原 浩 清原 浩 清原 浩 清原 浩 清原 浩 清原 浩 清原 浩 清原 浩			
評価方法	筆記試験 100%			
指定図書	1. 系統看護学講座 基礎分野 心理学 医学書院			
参考書	プリント配布			
事前・事後学修	授業の中で新たな用語や専門用語に対して質問や資料、教科書で確認する。心理学の基礎的な学習は、説明や演習に積極的に参加し経験を重ねる。			
実務経験のある教員による実践的授業				

基礎分野 科学的思考の基盤

科目名	人間工学	単位 1	時間 30	開校年次 1年次 前期
科目責任者	寺師 拓斗 植屋よしの			
科目概要	人間が生活するために必要な物・空間環境を作り上げていくための科学である人間工学に関する技術や知識を習得する。看護者が人間を援助するときの障害(腰痛など)から自分自身を守り、安全な看護を提供できることを目指す。			
到達目標	1. 人間工学とは何か理解する。 2. 人間の感覚器を理解し、感覚器の特性が工学に関連するか理解する。 3. 人間の機能を考え能率よく看護に生かす方法を学ぶ。			
授業計画	〈授業内容・テーマ等〉 第1回 : 人間工学とは(講義の目的と進め方) 第2回 : 人間工学の歴史と看護との関わり、人間機械系 第3回 : 人間の感覚器官Ⅰ 第4回 : 人間の感覚器官Ⅱ 第5回 : 人間の感覚器官Ⅲ 第6回 : 人間の諸特性と姿勢・動作 第7回 : 人間工学とボディメカニクスⅠ 第8回 : 人間工学とボディメカニクスⅡ 第9回 : 人間工学とボディメカニクスⅢ(中間試験) 第10回 : 人間工学の応用(仕事と人間工学) 第11回 : 環境と人間工学 第12回 : 環境と人間工学および骨と筋肉のビデオ観賞 第13回 : 看護と情報とコントロール 第14回 : 看護の安全と人間工学 第15回 : 終講試験・まとめ 〈担当教員名〉 寺師 拓人 植屋よしの 寺師 拓人 寺師 拓人 寺師 拓人 寺師 拓人 植屋よしの 植屋よしの 植屋よしの 植屋よしの 植屋よしの 植屋よしの 植屋よしの 植屋よしの 寺師 拓人 植屋よしの			
評価方法	筆記試験(中間・最終)100%			
指定図書	1. イラストで学ぶ看護人間工学 東京電機大学出版局			
参考書	プリント配布			
事前・事後学修	人間が行動を起こし、動作する場合に安全・安楽を追求する。人間工学の基礎をとおして、看護に生かすボディメカニクスを科学的(数式)に理解する必要がある。質問を積極的に行い学ぶ。			
実務経験のある教員による実践的授業				

基礎分野 科学的思考の基盤

科目名	教育学	単位 1	時間 30	開校年次 1年次 前期																																
科目責任者	金子 満																																			
科目概要	看護及び医療という営みの相手は人間であり、「健康」に繋げる教育こそが看護師たちに求められている社会的責任だといえる。看護教育水準を高めるための養成に役立つ学習を目指す。																																			
到達目標	1. 知識、モラル、成長、援助（ケア）など、教育の含み持つ複合的な性格を理解することで、看護と並ぶ人間関係を基礎とした教育的態度について学ぶ。																																			
授業計画	<table><thead><tr><th>〈授業内容・テーマ等〉</th><th>〈担当教員名〉</th></tr></thead><tbody><tr><td>第1回 :オリエンテーションー視点の多数性を得るために</td><td>金子 満</td></tr><tr><td>第2回 :教育の目的ー教育とは何か</td><td>金子 満</td></tr><tr><td>第3回 :教育を受ける権利を考える</td><td>金子 満</td></tr><tr><td>第4回 :歴史の中の教育①</td><td>金子 満</td></tr><tr><td>第5回 :歴史の中の教育②</td><td>金子 満</td></tr><tr><td>第6回 :歴史の中の教育③</td><td>金子 満</td></tr><tr><td>第7回 :ロジカルシンキングから教育を考える</td><td>金子 満</td></tr><tr><td>第8回 :教育問題を考える。～ディベートから学ぶ～</td><td>金子 満</td></tr><tr><td>第9回 :教育に関するディベート実践①</td><td>金子 満</td></tr><tr><td>第10回 :教育に関するディベート実践②</td><td>金子 満</td></tr><tr><td>第11回 :地域と子どもの遊びについて</td><td>金子 満</td></tr><tr><td>第12回 :現代のいじめについて考える</td><td>金子 満</td></tr><tr><td>第13回 :子ども若者における自殺について</td><td>金子 満</td></tr><tr><td>第14回 :関係の重要性を学ぶ～ソーシャルキャピタル～</td><td>金子 満</td></tr><tr><td>第15回 :終講試験・まとめ</td><td>金子 満</td></tr></tbody></table>				〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉	第1回 :オリエンテーションー視点の多数性を得るために	金子 満	第2回 :教育の目的ー教育とは何か	金子 満	第3回 :教育を受ける権利を考える	金子 満	第4回 :歴史の中の教育①	金子 満	第5回 :歴史の中の教育②	金子 満	第6回 :歴史の中の教育③	金子 満	第7回 :ロジカルシンキングから教育を考える	金子 満	第8回 :教育問題を考える。～ディベートから学ぶ～	金子 満	第9回 :教育に関するディベート実践①	金子 満	第10回 :教育に関するディベート実践②	金子 満	第11回 :地域と子どもの遊びについて	金子 満	第12回 :現代のいじめについて考える	金子 満	第13回 :子ども若者における自殺について	金子 満	第14回 :関係の重要性を学ぶ～ソーシャルキャピタル～	金子 満	第15回 :終講試験・まとめ	金子 満
〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉																																			
第1回 :オリエンテーションー視点の多数性を得るために	金子 満																																			
第2回 :教育の目的ー教育とは何か	金子 満																																			
第3回 :教育を受ける権利を考える	金子 満																																			
第4回 :歴史の中の教育①	金子 満																																			
第5回 :歴史の中の教育②	金子 満																																			
第6回 :歴史の中の教育③	金子 満																																			
第7回 :ロジカルシンキングから教育を考える	金子 満																																			
第8回 :教育問題を考える。～ディベートから学ぶ～	金子 満																																			
第9回 :教育に関するディベート実践①	金子 満																																			
第10回 :教育に関するディベート実践②	金子 満																																			
第11回 :地域と子どもの遊びについて	金子 満																																			
第12回 :現代のいじめについて考える	金子 満																																			
第13回 :子ども若者における自殺について	金子 満																																			
第14回 :関係の重要性を学ぶ～ソーシャルキャピタル～	金子 満																																			
第15回 :終講試験・まとめ	金子 満																																			
評価方法	授業内小レポート、授業の取り組み状況、筆記試験から総合的に評価する。																																			
指定図書	特になし																																			
参考書	講義を中心として進め、講義時間中に必要な参考書や文献を紹介する。																																			
事前・事後学修	授業内容は原則を示したものであり、クラスの実態に応じて順序を変えたり、内容に変更を加えたりすることがあるので、その点了解してもらい積極的な発言を求めたい。																																			
実務経験のある教員による実践的授業																																				

基礎分野 科学的思考の基盤

科目名	集団力学	単位 1	時間 30	開校年次 2年次 後期
科目責任者	野上 真			
科目概要	集団力学の基本的な理論を理解し、それらを手がかりに日常生活における集団と個人の相互作用の中で生まれる心の動きについて論理的に考察できるようになる。			
到達目標	1. 集団の力動的諸機能がわかる。 2. リーダーシップについて理解を深める。 3. チームワークについての示唆を得る。			
授業計画	〈授業内容・テーマ等〉 第1回 : 集団力学の特色 第2回 : 集団への参加と社会化 第3回 : 多数派の影響と少数派の影響 第4回 : 集団の意思決定 第5回 : チームワークと生産性 第6回 : チームワークと安全 第7回 : リーダーシップ①(リーダー行動の特色) 第8回 : リーダーシップ②(状況に応じたリーダー行動) 第9回 : リーダーシップ③(リーダーに対する部下の働きかけ) 第10回 : リーダーシップ④(リーダーシップトレーニング) 第11回 : リーダーシップ⑤(リーダーシップトレーニング) 第12回 : 偏見といじめ 第13回 : 葛藤解決 第14回 : 総まとめ 第15回 : 終講試験・まとめ 〈担当教員名〉 野上 真 野上 真 野上 真 野上 真 野上 真 野上 真 野上 真 野上 真 野上 真 野上 真 野上 真 野上 真 野上 真 野上 真			
評価方法	本講で解説した理論の理解およびグループワークへの主体的な取り組みを評価する。 (出席態度 45%、試験 55%)			
指定図書	プリント配布			
参考書	適宜「おすすめの本」を紹介しますので読んで下さい。			
事前・事後学修	理論が日常生活とどう関連しているか考えながら聞くことが理解の助けになります。			
実務経験のある教員による実践的授業				

基礎分野 科学的思考の基盤

科目名	国語表現法	単位 1	時間 30	開校年次 1 年次 前期
科目責任者	大山 千佳子			
科目概要	正しく適切な日本語について考え学習することで、あらゆる医療看護場面において正確に情報や意見を交換するためのスキルを身につけるための学習をする。			
到達目標	日本語表現に関する基礎的な事柄を身につける。			
授業計画	〈授業内容・テーマ等〉 第1回 :「国語表現法」ガイダンス(日本語とは何か) 第2回 :現代文の成り立ちと文法 第3回 :ことばと表現 同音異義語・同訓異義語, 慣用表現・ことわざ・故事成語 第4回 :ことばと表現 敬語・敬意表現;敬語の種類, 敬語の用法, 敬意表現 第5回 :メモをとる-要点を押さえて記録する, 伝える 第6回 :話す-説明をする- 第7回 :話す-自己表現- 第8回 :履歴書を書く 第9回 :手紙を書く-病院・施設に宛てて書く手紙のマナー 第10回 :書く-文章の要約- 第11回 :看護に必要なレポートを書く(1);内容編-レポートに何を書くのか 第12回 :看護に必要なレポートを書く(2);表現編-レポートをどう書くのか 第13回 :課題文を書く(800 字) 第14回 :課題文を書く(800 字) 第15回 :終講試験・まとめ 〈担当教員名〉 大山千佳子 大山千佳子 大山千佳子 大山千佳子 大山千佳子 大山千佳子 大山千佳子 大山千佳子 大山千佳子 大山千佳子 大山千佳子 大山千佳子 大山千佳子 大山千佳子 大山千佳子 大山千佳子 			
評価方法	本講で解説した理論の理解およびグループワークへの主体的な取り組みを評価する。 (出席態度 30%、文章読解作成能力検定 3 級(7 月 16 日実施) 70%)			
指定図書	基礎から学べる！文章カステップ 文章検3級対応 日本漢字能力検定協会			
参考書	適宜「おススメの本」を紹介しますので読んで下さい。			
事前・事後学修	各課の解説に記した要点を理解した上で、難易度順に配した演習問題を実施してみましょう。講義内での学習のほか、自宅での予習と復習を効率的に行うことで、国語表現に関する基礎的な事柄を身につけることができます。			
実務経験のある教員による実践的授業				

基礎分野 科学的思考の基盤

科目名	哲学	単位 1	時間 30	開校年次 1 年次 前期
科目責任者	宇佐美 達朗			
科目概要	哲学とは人生・世界、事物の根源のあり方・原理を、理性によって求めようとする学問である。この授業では物事の本質について考えることにより、哲学と看護をつなげて考える。			
到達目標	1. 哲学の考え方を理解する。 2. 様々な問題にそって哲学者たちの思考を理解する。 3. 現代的な課題に哲学の思考法でいどむ。			
授業計画	〈授業内容・テーマ等〉 第1回 : 哲学・倫理学とは(1) 第2回 : 哲学・倫理学とは(2) 第3回 : よく生きること(1) 第4回 : よく生きること(2) 第5回 : 幸福(1) 第6回 : 幸福(2) 第7回 : 健康(1) 第8回 : 健康(2) 第9回 : 正しさ(1) 第10回: 正しさ(2) 第11回: 自律(1) 第12回: 自律(2) 第13回: アイデンティティ(1) 第14回: アイデンティティ(2) 第15回: まとめ・終講試験 〈担当教員名〉 宇佐美達朗 宇佐美達朗 宇佐美達朗 宇佐美達朗 宇佐美達朗 宇佐美達朗 宇佐美達朗 宇佐美達朗 宇佐美達朗 宇佐美達朗 宇佐美達朗 宇佐美達朗 宇佐美達朗 宇佐美達朗 宇佐美達朗			
評価方法	グループワークへの参加度(50)とレポート(50)にて評価			
指定図書	プリント配布＋三木清『人生論ノート』(抜粋して配布)			
参考書	適宜「おすすめの本」を紹介しますので読んで下さい。			
事前・事後学修	看護はもちろんのこと、人と人とが関わる上で必要な「命」「生と死」「尊厳」などを理論的に深めるとともに物事の本質を追究することで、人生観、死生観を深めていきましょう。			
実務経験のある教員による実践的授業				

基礎分野 人間と生活、社会の理解

科目名	カウンセリング論	単位 1	時間 15	開校年次 1年次 前期																		
科目責任者	山下 みどり																					
科目概要	カウンセリングの理論ならびに技法を学ぶことを通して、人の心を理解する力、傾聴力、そして自らの考えを表現する力を養うことを目指す。																					
到達目標	1. カウンセリングの理論技法を学び、人を理解すること、自己を表現する能力を養う。																					
授業計画	<table><thead><tr><th>〈授業内容・テーマ等〉</th><th>〈担当教員名〉</th></tr></thead><tbody><tr><td>第1回 : 自分を知ること、他者を知ること</td><td>山下 みどり</td></tr><tr><td>第2回 : カウンセリングとは</td><td>山下 みどり</td></tr><tr><td>第3回 : 共感と純粋性</td><td>山下 みどり</td></tr><tr><td>第4回 : 沈黙とリード 繰り返し</td><td>山下 みどり</td></tr><tr><td>第5回 : 明確化</td><td>山下 みどり</td></tr><tr><td>第6回 : 対決と直面</td><td>山下 みどり</td></tr><tr><td>第7回 : 支持</td><td>山下 みどり</td></tr><tr><td>第8回 : 終講試験・まとめ</td><td>山下 みどり</td></tr></tbody></table>				〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉	第1回 : 自分を知ること、他者を知ること	山下 みどり	第2回 : カウンセリングとは	山下 みどり	第3回 : 共感と純粋性	山下 みどり	第4回 : 沈黙とリード 繰り返し	山下 みどり	第5回 : 明確化	山下 みどり	第6回 : 対決と直面	山下 みどり	第7回 : 支持	山下 みどり	第8回 : 終講試験・まとめ	山下 みどり
〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉																					
第1回 : 自分を知ること、他者を知ること	山下 みどり																					
第2回 : カウンセリングとは	山下 みどり																					
第3回 : 共感と純粋性	山下 みどり																					
第4回 : 沈黙とリード 繰り返し	山下 みどり																					
第5回 : 明確化	山下 みどり																					
第6回 : 対決と直面	山下 みどり																					
第7回 : 支持	山下 みどり																					
第8回 : 終講試験・まとめ	山下 みどり																					
評価方法	筆記試験(演習内容とあわせて総合的に判断する)																					
指定図書	やさしく学ぶカウンセリング26のレッスン 金子書房																					
参考書	適宜プリントを配布																					
事前・事後学修	授業内容に従って進めます。参加型の演習が多く五感を活用し積極的に参加してほしい。参加後はアンケートの記入をお願いします。																					
実務経験のある教員による実践的授業	臨床心理士として、スクールカウンセラーの業務に携わり、豊富な経験をふまえ、基礎的知識の講義・演習を行う。																					

基礎分野 人間と生活、社会の理解

科目名	人間関係論	単位 1	時間 30	開校年次 1年次 後期
科目責任者	西原 誠司			
科目概要	人間関係を円滑に保つ必要性和方法について学び、人間を人との関係で生き成長する存在として捉えることができる。			
到達目標	1. 人間とは何かについて理解する。 2. 現代社会における人間関係とその歴史について理解する。			
授業計画	〈授業内容・テーマ等〉 第1回 :はじめに 先送りされた自我の形成と「第2の誕生」 第2回 :人類の誕生-人間とは何か- ～ひとりはいみんなのために、みんなはひとりのために～ 第3回 :人間関係の歴史① 第4回 :人間関係の歴史② 第5回 :人間関係の歴史③ 第6回 :人間関係の歴史④ 近代的人間関係形成 第7回 :現代の人間関係を理解するために～理解度チェック～ 第8回 :現代における看護と人間関係ー過労死認定 第9回 :現代における看護と人間関係 赤ちゃんの誕生と母性看護学 第10回 :現代における看護と人間関係 終末期看護 キューブラーロスと死のレッスン① 第11回 :現代における看護と人間関係 キューブラーロスと死のレッスン② 第12回 :現代における看護と人間関係 脳梗塞からの再生 免疫学者多田富雄の闘い 第13回 :ノーマライゼーション 障害者を支える人々 第14回 :現代における看護と人間関係ー過労死にならないために 第15回 :終講試験・まとめ 〈担当教員名〉 西原 誠司 西原 誠司 西原 誠司 西原 誠司 西原 誠司 西原 誠司 西原 誠司 西原 誠司 西原 誠司 西原 誠司 西原 誠司 西原 誠司 西原 誠司 西原 誠司			
評価方法	筆記試験(演習内容とあわせて総合的に判断する)			
指定図書	特になし			
参考書	プリント配布			
事前・事後学修	授業内容に応じてDVD視聴や資料を用いて授業を行う。授業最後に人間関係を円滑に行う方法について気づきをまとめてもらいます。			
実務経験のある教員による実践的授業				

基礎分野 人間と生活、社会の理解

科目名	社会学	単位 1	時間 20	開校年次 1年次 前期
科目責任者	山田 晋			
科目概要	人間の生活の基盤である社会の構造やその中における人間行動・家族の機能、構造を理解し、社会と人間との関係について学び、多様な社会での幅広いものの見方ができる。			
到達目標	1. 人間社会と社会学の関係が理解できる。 2. 保健医療と社会学との関係が理解できる。 3. 社会における人権について考えることができる。			
授業計画	〈授業内容・テーマ等〉 〈担当教員名〉 第1回 : 社会学を学ぶ—社会学とは何か。何を学ぶか。 山田 晋 第2回 : 命は地球より重い(1)—生命・戦争・平和について考える 国際医療保健福祉の現状と日本の国際支援 山田 晋 第3回 : 日本の社会・生活問題と社会病理 山田 晋 第4回 : 日本の格差と貧困問題 山田 晋 第5回 : 超高齢社会と高齢者の暮らし 山田 晋 第6回 : 障害者の現状と福祉 —障害理解を— 山田 晋 第7回 : 子ども・若者たちをめぐる現状と課題 山田 晋 第8回 : ジェンダーと女性問題 —性差別について考える— 山田 晋 第9回 : 女性問題・男性問題と男女共同参画社会 山田 晋 第10回 : 世界と日本の将来展望と課題 —みんな愛と幸せいっぱい社会を— 山田 晋			
評価方法	レポート内容・提出状況を総合的に評価する			
指定図書	特になし			
参考書	プリント配布			
事前・事後学修	授業内容に応じてDVD視聴や資料を用いて授業を行う。授業毎のテーマに従って考えた内容をレポートにまとめ提出してもらいます。			
実務経験のある教員による実践的授業				

基礎分野 人間と生活、社会の理解

科目名	外国語(リスニング, 看護英会話)	単位 1	時間 30	開校年次 1年次 前期
科目責任者	西原 薫			
科目概要	国際化時代、言語を学ぶと同時に「文化」の学習を行い発信型コミュニケーションの基礎力を身につける。また、看護を行う上で、必要となる医療英語の基礎的知識を習得する。			
到達目標	1. 授業内容を通してコミュニケーション能力を高める。 2. 看護を行ううえで必要な医療英語の基礎的知識を高める。			
授業計画	〈授業内容・テーマ等〉 〈担当教員名〉 第1回 : 課の説明する第1 課 西原 薫 第2回 : 第1 課 会話、語法、CD 西原 薫 第3回 : 第2 課 会話、語法、DVD 西原 薫 第4回 : 第3 課 会話、語法 西原 薫 第5回 : 第4 課 会話、語法、DVD 西原 薫 第6回 : 第5 課 練習、会話、語法、DVD 西原 薫 第7回 : 練習、語法、DVD 西原 薫 第8回 : 第6 課 会話、語法、DVD 西原 薫 第9回 : 第7 課 語法、練習、DVD 西原 薫 第10回 : 第8 課 語法、VIDEO 西原 薫 第11回 : 第9 課 語法、VIDEO 西原 薫 第12回 : 第10 課 語法、VIDEO 西原 薫 第13回 : 第11 課 語法、練習 西原 薫 第14回 : 練習、語法、会話 西原 薫 第15回 : 終講試験・まとめ 西原 薫			
評価方法	筆記試験			
指定図書	Talking with Your Patients in English アニメで学ぶ看護英語 成美堂			
参考書	プリント配布			
事前・事後学修	テキスト、プリント、DVD視聴を通して、コミュニケーション能力を高める。 授業毎に振り返りの小テストを行います。			
実務経験のある教員による実践的授業				

基礎分野 人間と生活、社会の理解

科目名	国際文化論	単位 1	時間 30	開校年次 2年次 前期
科目責任者	森 孝晴			
科目概要	21 世紀のいま、誰にとっても国際的視野は国際人として必要である。文化比較を中心に して広く世界文化を読み解く力を養う。			
到達目標	1. 異文化を知り、日本の文化と比較することができる。 2. 多様な価値観に触れ、視野を広げることができる。 3. 異文化を理解することで国際看護につなげることができる。			
授業計画	<授業内容・テーマ等> <担当教員名> 第1回 : 授業ガイダンス 国際文化(論)とは 森 孝晴 第2回 : グローバル社会と国際理解, 異文化を知る意味 森 孝晴 第3回 : 異文化を知る～アメリカの歴史 アメリカの女性～ 森 孝晴 第4回 : 異文化を知る～暴力社会・戦争国家アメリカ～ 森 孝晴 第5回 : 異文化を知る～階級社会アメリカ, アメリカの冷たさと暖かさ～ 森 孝晴 第6回 : 異文化を知る～日本とアメリカの深い闇～ 森 孝晴 第7回 : 異文化を知る～鹿児島とアメリカ～ 森 孝晴 第8回 : 異文化を知る～鹿児島とアメリカ～ 森 孝晴 第9回 : 異文化を知る～アメリカとアイデンティティ「アメリカの夢」と「成功の夢」～ 森 孝晴 第10回 : 異文化を知る～プラグマティズム、車社会アメリカ～ 森 孝晴 第11回 : 異文化を知る～多民族国家アメリカ、先住アメリカ人～ 森 孝晴 第12回 : 異文化を知る～先住アメリカ人(DVD)～ 森 孝晴 第13回 : 宗教と多文化社会 森 孝晴 第14回 : 異文化社会と看護のあり方 森 孝晴 第15回 : 終講試験・まとめ 森 孝晴			
評価方法	筆記試験 100%			
指定図書	特になし。			
参考書	プリント配布			
事前・ 事後学修	プリント、DVD視聴を通して、国際文化を知り多様な価値観について考え理解を高めてほしい。			
実務経験のある 教員による 実践的授業				

基礎分野 人間と生活、社会の理解

科目名	健康とスポーツ	単位 1	時間 30	開校年次 1年次 前期
科目責任者	高岡 綾子			
科目概要	スポーツや体のケア方法の学習を通して、自身が豊かな人生を送ることができる理論と実践を学び、健康とスポーツのつながりを深く理解する。また、医療従事者として必要な健康づくりの基礎知識を習得する。			
到達目標	1.エアロビックの理論と実践を通して、健康づくりと運動について理解を深める。 2. 自分の身体を知り、コンディショニングの技法を用いてセルフケアができるようにする。 3.特定の対象者への運動処方について、理論と実践を通して理解を深める。 (妊娠期を中心とした)			
授業計画	〈授業内容・テーマ等〉 第1回 :オリエンテーション, 授業内容の説明と評価方法について 第2回 :スローエアロビックの理論と実技(椅子 Ver.) 第3回 :エアロビック①基本ステップの学習及びテスト課題の伝達 第4回 :エアロビック②実技の練習と創作活動(1) 第5回 :エアロビック③演技の練習と創作活動(2) 第6回 :エアロビック④演技の練習と創作活動(3) 第7回 :実技試験高岡 綾子 第8回 :コンディショニング①モニタリング&下肢のコンディショニング 第9回 :コンディショニング②上肢のコンディショニング 第10回 :コンディショニング③センターと腰部のコンディショニング 第11回 :コンディショニング④呼吸のコンディショニング 第12回 :妊娠期における運動療法(理論) 現代の妊婦における健康上の問題点と運動の意義と効果 第13回 :妊娠期における運動療法(実技) 病院等におけるグループ活動と自宅でパートナーと行う運動 第14回 :コンディショニングの総復習と授業のまとめ 第15回 :筆記試験・まとめ 〈担当教員名〉 高岡 綾子 高岡 綾子 高岡 綾子 高岡 綾子 高岡 綾子 高岡 綾子 高岡 綾子 高岡 綾子 高岡 綾子 高岡 綾子 高岡 綾子 高岡 綾子 高岡 綾子 高岡 綾子 高岡 綾子 高岡 綾子			
評価方法	実技試験, 筆記試験, 授業態度, 提出物などを総合的に評価する。			
指定図書	正しい体幹トレーニング 有吉与志恵著 実業之日本社			
参考書	なし			
事前・事後学修	上記だけでなく、解剖学その他、必要に応じて他教科の教科書を使って予習, 復習を推奨			
実務経験のある教員による実践的授業				

專門基礎分野

専門基礎分野 人体の構造と機能

科目名	解剖生理学 I	単位 1	時間 30	開校年次 1 年次 前期
科目責任者	後藤 哲哉			
科目概要	解剖生理学は、医学系のなかで最も基礎となる学問領域である。人体の形態・構造と役割・機能を知ることにより、病気の成り立ちが理解できるようになりこれからの知識に基づいて病気の予防・診断・治療的行為がなされる。看護の土台となる解剖生理学について修得し、より質の高い看護の実践を目指す。			
到達目標	人体の基本構造, 腹部消化管, 呼吸における構造と機能について理解できる。			
授業計画	〈授業内容・テーマ等〉 〈担当教員名〉 第 1 回;解剖生理学のための基礎知識;形からみた人体 後藤 哲哉 第 2 回;解剖生理学のための基礎知識;素材からみた人体 後藤 哲哉 第 3 回;解剖生理学のための基礎知識;機能からみた人体 後藤 哲哉 第 4 回;栄養の消化と吸収;口・咽頭・食道の構造と機能 後藤 哲哉 口の構造と機能, 咽頭と食道の構造と機能 第 5 回;腹部消化管の構造と機能;胃の構造と機能 後藤 哲哉 第 6 回;腹部消化管の構造と機能;小腸の構造と機能 後藤 哲哉 第 7 回;腹部消化管の構造と機能;栄養素の消化吸収 後藤 哲哉 第 8 回;腹部消化管の構造と機能;大腸の構造と機能 後藤 哲哉 第 9 回;膵臓・肝臓・胆嚢の構造と機能 後藤 哲哉 膵臓の構造と機能, 肝臓と胆嚢の構造 第 10 回;膵臓・肝臓・胆嚢の構造と機能 後藤 哲哉 肝臓と胆嚢の構造と機能, 腹膜 第 11 回;呼吸と血液のはたらき;呼吸器の構造 後藤 哲哉 第 12 回;呼吸と血液のはたらき;呼吸 後藤 哲哉 第 13 回;呼吸と血液のはたらき;呼吸 後藤 哲哉 第 14 回;呼吸と血液のはたらき;呼吸 後藤 哲哉 第 15 回;終講試験 後藤 哲哉			
評価方法	筆記試験(100%)			
指定図書	系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学人体の構造と機能① 医学書院			
参考書	『系統看護学講座』準拠 解剖生理学ワークブック 医学書院 解剖生理学の指定図書と合わせて授業時活用します。			
事前・事後学修	授業進度と併せて、参考書を活用し振り返りを繰り返し行い人体の形態・構造と役割・機能の知識の定着を進めてほしい。			
実務経験のある教員による実践的授業				

専門基礎分野 人体の構造と機能

科目名	解剖生理学Ⅱ	単位 1	時間 30	開校年次 1 年次 前期																																
科目責任者	後藤 哲哉																																			
科目概要	解剖生理学は、医学系のなかで最も基礎となる学問領域である。人体の形態・構造と役割・機能を知ることにより、病気の成り立ちが理解できるようになりこれからの知識に基づいて病気の予防・診断・治療の行為がなされる。看護の土台となる解剖生理学について修得し、より質の高い看護の実践を目指す。																																			
到達目標	人体の基本構造, 呼吸, 循環, 体液の調整, 尿の生成, 内臓機能の調節における構造と機能について理解できる。																																			
授業計画	<table><thead><tr><th>〈授業内容・テーマ等〉</th><th>〈担当教員名〉</th></tr></thead><tbody><tr><td>第 1 回;呼吸と血液のはたらき;血液の組成と機能 血液の組成, 血液の機能, 赤血球,</td><td>後藤 哲哉</td></tr><tr><td>第 2 回;呼吸と血液のはたらき;血液の組成と機能 白血球, 血小板, 血漿タンパク質,</td><td>後藤 哲哉</td></tr><tr><td>第 3 回;呼吸と血液のはたらき;血液の組成と機能 血液の凝固と繊維素溶解, 血液型</td><td>後藤 哲哉</td></tr><tr><td>第 4 回;血液の循環とその調節 循環器の構成, 心臓の構造, 心臓の血管と神経</td><td>後藤 哲哉</td></tr><tr><td>第 5 回;血液の循環とその調節:心臓の拍出機能</td><td>後藤 哲哉</td></tr><tr><td>第 6 回;血液の循環とその調節:血液の循環の調節, 末梢循環系の構造</td><td>後藤 哲哉</td></tr><tr><td>第 7 回;血液の循環とその調節:リンパとリンパ管</td><td>後藤 哲哉</td></tr><tr><td>第 8 回;体液の調整と尿の生成;腎臓, 排尿路</td><td>後藤 哲哉</td></tr><tr><td>第 9 回;体液の調整と尿の生成;体液の調節</td><td>後藤 哲哉</td></tr><tr><td>第 10 回;内臓機能の調節:自律神経による調節</td><td>後藤 哲哉</td></tr><tr><td>第 11 回;内臓機能の調節:内分泌系による調節</td><td>後藤 哲哉</td></tr><tr><td>第 12 回;内臓機能の調節:全身の内分泌腺と内分泌細胞</td><td>後藤 哲哉</td></tr><tr><td>第 13 回;内臓機能の調節:全身の内分泌腺と内分泌細胞</td><td>後藤 哲哉</td></tr><tr><td>第 14 回;内臓機能の調節:ホルモン分泌の調節, ホルモンによる調節の実際</td><td>後藤 哲哉</td></tr><tr><td>第 15 回;終講試験</td><td>後藤 哲哉</td></tr></tbody></table>				〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉	第 1 回;呼吸と血液のはたらき;血液の組成と機能 血液の組成, 血液の機能, 赤血球,	後藤 哲哉	第 2 回;呼吸と血液のはたらき;血液の組成と機能 白血球, 血小板, 血漿タンパク質,	後藤 哲哉	第 3 回;呼吸と血液のはたらき;血液の組成と機能 血液の凝固と繊維素溶解, 血液型	後藤 哲哉	第 4 回;血液の循環とその調節 循環器の構成, 心臓の構造, 心臓の血管と神経	後藤 哲哉	第 5 回;血液の循環とその調節:心臓の拍出機能	後藤 哲哉	第 6 回;血液の循環とその調節:血液の循環の調節, 末梢循環系の構造	後藤 哲哉	第 7 回;血液の循環とその調節:リンパとリンパ管	後藤 哲哉	第 8 回;体液の調整と尿の生成;腎臓, 排尿路	後藤 哲哉	第 9 回;体液の調整と尿の生成;体液の調節	後藤 哲哉	第 10 回;内臓機能の調節:自律神経による調節	後藤 哲哉	第 11 回;内臓機能の調節:内分泌系による調節	後藤 哲哉	第 12 回;内臓機能の調節:全身の内分泌腺と内分泌細胞	後藤 哲哉	第 13 回;内臓機能の調節:全身の内分泌腺と内分泌細胞	後藤 哲哉	第 14 回;内臓機能の調節:ホルモン分泌の調節, ホルモンによる調節の実際	後藤 哲哉	第 15 回;終講試験	後藤 哲哉
〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉																																			
第 1 回;呼吸と血液のはたらき;血液の組成と機能 血液の組成, 血液の機能, 赤血球,	後藤 哲哉																																			
第 2 回;呼吸と血液のはたらき;血液の組成と機能 白血球, 血小板, 血漿タンパク質,	後藤 哲哉																																			
第 3 回;呼吸と血液のはたらき;血液の組成と機能 血液の凝固と繊維素溶解, 血液型	後藤 哲哉																																			
第 4 回;血液の循環とその調節 循環器の構成, 心臓の構造, 心臓の血管と神経	後藤 哲哉																																			
第 5 回;血液の循環とその調節:心臓の拍出機能	後藤 哲哉																																			
第 6 回;血液の循環とその調節:血液の循環の調節, 末梢循環系の構造	後藤 哲哉																																			
第 7 回;血液の循環とその調節:リンパとリンパ管	後藤 哲哉																																			
第 8 回;体液の調整と尿の生成;腎臓, 排尿路	後藤 哲哉																																			
第 9 回;体液の調整と尿の生成;体液の調節	後藤 哲哉																																			
第 10 回;内臓機能の調節:自律神経による調節	後藤 哲哉																																			
第 11 回;内臓機能の調節:内分泌系による調節	後藤 哲哉																																			
第 12 回;内臓機能の調節:全身の内分泌腺と内分泌細胞	後藤 哲哉																																			
第 13 回;内臓機能の調節:全身の内分泌腺と内分泌細胞	後藤 哲哉																																			
第 14 回;内臓機能の調節:ホルモン分泌の調節, ホルモンによる調節の実際	後藤 哲哉																																			
第 15 回;終講試験	後藤 哲哉																																			
評価方法	筆記試験(100%)																																			
指定図書	系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学人体の構造と機能❶ 医学書院																																			
参考書	『系統看護学講座』準拠 解剖生理学ワークブック 医学書院 解剖生理学の指定図書と合わせて授業時活用します。																																			
事前・事後学修	授業進度と併せて、参考書を活用し振り返りを繰り返し行い人体の形態・構造と役割・機能の知識の定着を進めてほしい。																																			
実務経験のある教員による実践的授業																																				

専門基礎分野 人体の構造と機能

科目名	解剖生理学Ⅲ	単位 1	時間 30	開校年次 1年次 後期																																
科目責任者	山中 淳之																																			
科目概要	解剖生理学は、医学系のなかで最も基礎となる学問領域である。人体の形態・構造と役割・機能を知ることにより、病気の成り立ちが理解できるようになりこれからの知識に基づいて病気の予防・診断・治療的行為がなされる。看護の土台となる解剖生理学について修得し、より質の高い看護の実践を目指す。																																			
到達目標	身体の支持と運動，神経の受容と処理，身体機能の防御と適応，生殖・発生と老化のしくみについて理解できる。																																			
授業計画	<table><thead><tr><th>〈授業内容・テーマ等〉</th><th>〈担当教員名〉</th></tr></thead><tbody><tr><td>第1回;身体の支持と運動;骨格とは、骨の連結，骨格筋，体幹の骨格と筋</td><td>山中 淳之</td></tr><tr><td>第2回;身体の支持と運動;上肢の骨格と筋，下肢の骨格と筋</td><td>山中 淳之</td></tr><tr><td>第3回;身体の支持と運動;頭頸部の骨格と筋，筋の収縮</td><td>山中 淳之</td></tr><tr><td>第4回;情報の受理と処理;神経系の構造と機能</td><td>山中 淳之</td></tr><tr><td>第5回;情報の受理と処理;脊髄と脳</td><td>山中 淳之</td></tr><tr><td>第6回;情報の受理と処理;脊髄神経と脳神経</td><td>山中 淳之</td></tr><tr><td>第7回;情報の受理と処理;脳の高次機能</td><td>山中 淳之</td></tr><tr><td>第8回;情報の受理と処理運動機能と下行伝導路，感覚機能と上行伝導路;</td><td>山中 淳之</td></tr><tr><td>第9回;情報の受理と処理;眼の構造と視覚</td><td>山中 淳之</td></tr><tr><td>第10回;情報の受理と処理;耳の構造と聴覚・平衡覚</td><td>山中 淳之</td></tr><tr><td>第11回;情報の受理と処理;味覚と嗅覚，痛み</td><td>山中 淳之</td></tr><tr><td>第12回;身体機能の防御と適応;皮膚の構造と機能，正帯の防御機構</td><td>山中 淳之</td></tr><tr><td>第13回;身体機能の防御と適応;代謝と運動，体温とその調節</td><td>山中 淳之</td></tr><tr><td>第14回;生殖・発生としくみ 男性生殖器，女性生殖器，受精と胎児の発生，成長と老化</td><td>山中 淳之</td></tr><tr><td>第15回;終講試験・まとめ</td><td>山中 淳之</td></tr></tbody></table>				〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉	第1回;身体の支持と運動;骨格とは、骨の連結，骨格筋，体幹の骨格と筋	山中 淳之	第2回;身体の支持と運動;上肢の骨格と筋，下肢の骨格と筋	山中 淳之	第3回;身体の支持と運動;頭頸部の骨格と筋，筋の収縮	山中 淳之	第4回;情報の受理と処理;神経系の構造と機能	山中 淳之	第5回;情報の受理と処理;脊髄と脳	山中 淳之	第6回;情報の受理と処理;脊髄神経と脳神経	山中 淳之	第7回;情報の受理と処理;脳の高次機能	山中 淳之	第8回;情報の受理と処理運動機能と下行伝導路，感覚機能と上行伝導路;	山中 淳之	第9回;情報の受理と処理;眼の構造と視覚	山中 淳之	第10回;情報の受理と処理;耳の構造と聴覚・平衡覚	山中 淳之	第11回;情報の受理と処理;味覚と嗅覚，痛み	山中 淳之	第12回;身体機能の防御と適応;皮膚の構造と機能，正帯の防御機構	山中 淳之	第13回;身体機能の防御と適応;代謝と運動，体温とその調節	山中 淳之	第14回;生殖・発生としくみ 男性生殖器，女性生殖器，受精と胎児の発生，成長と老化	山中 淳之	第15回;終講試験・まとめ	山中 淳之
〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉																																			
第1回;身体の支持と運動;骨格とは、骨の連結，骨格筋，体幹の骨格と筋	山中 淳之																																			
第2回;身体の支持と運動;上肢の骨格と筋，下肢の骨格と筋	山中 淳之																																			
第3回;身体の支持と運動;頭頸部の骨格と筋，筋の収縮	山中 淳之																																			
第4回;情報の受理と処理;神経系の構造と機能	山中 淳之																																			
第5回;情報の受理と処理;脊髄と脳	山中 淳之																																			
第6回;情報の受理と処理;脊髄神経と脳神経	山中 淳之																																			
第7回;情報の受理と処理;脳の高次機能	山中 淳之																																			
第8回;情報の受理と処理運動機能と下行伝導路，感覚機能と上行伝導路;	山中 淳之																																			
第9回;情報の受理と処理;眼の構造と視覚	山中 淳之																																			
第10回;情報の受理と処理;耳の構造と聴覚・平衡覚	山中 淳之																																			
第11回;情報の受理と処理;味覚と嗅覚，痛み	山中 淳之																																			
第12回;身体機能の防御と適応;皮膚の構造と機能，正帯の防御機構	山中 淳之																																			
第13回;身体機能の防御と適応;代謝と運動，体温とその調節	山中 淳之																																			
第14回;生殖・発生としくみ 男性生殖器，女性生殖器，受精と胎児の発生，成長と老化	山中 淳之																																			
第15回;終講試験・まとめ	山中 淳之																																			
評価方法	筆記試験(100%)																																			
指定図書	1. 系統看護学講座 専門基礎分野 解剖生理学 人体の構造と機能❶ 医学書院																																			
参考書	『系統看護学講座』準拠 解剖生理学ワークブック 医学書院 解剖生理学の指定図書と合わせて授業時活用します。																																			
事前・事後学修	授業進度と併せて、参考書を活用し振り返りを繰り返し行い人体の形態・構造と役割・機能の知識の定着を進めてほしい。																																			
実務経験のある教員による実践的授業																																				

専門基礎分野 人体の構造と機能

科目名	栄養生化学	単位 1	時間 30	開校年次 1年次 後期
科目責任者	福島 洋子 森田 洋子			
科目概要	私たちはどのような物質を摂取し、栄養素はどのように代謝され、どのように体に影響を与えるのか？そして私たちはどのような様な栄養素をどれだけ食べるのが適当なのか？これらの事項について理解し、評価できるように基礎的知識を学ぶ。			
到達目標	1. 人体の細胞の構造から栄養について理解する。 2. 糖質・脂質・タンパク質などの種類と代謝、疾病などを理解する。 3. エネルギーの代謝や消費、様々な指数について理解する。 4. 疾病時における栄養管理について理解できる。			
授業計画	〈授業内容・テーマ等〉 第1回: 人間栄養学と看護 第2回: 栄養素の種類とはたらき 第3回: ミネラル, 食物繊維, 水 第4回: 食物の消化と栄養素の吸収・代謝 第5回: 栄養素の代謝と排泄 第6回: エネルギー代謝 第7回: 食事と食品, 食事摂取基準 第8回: 栄養ケア・マネジメント, 栄養状態の評価・判定 第9回: ライフステージと栄養 第10回: 臨床栄養, 健康づくりと食生活 第11回: 疾患別栄養食事療法 第12回: 疾患別栄養食事療法 第13回: 疾患別栄養食事療法 第14回: 疾患別栄養食事療法 第15回: 終講試験・まとめ 〈担当教員名〉 森田 洋子 森田 洋子 森田 洋子 森田 洋子 森田 洋子 森田 洋子 森田 洋子 森田 洋子 森田 洋子 森田 洋子 福島 洋子 福島 洋子 福島 洋子 福島 洋子 福島 洋子			
評価方法	筆記試験(100%)			
指定図書	1. 新体系看護学全書 2 専門基礎分野 栄養生化学 人体の構造機能 2 メディカルフレンド社 2. 糖尿病食事療法のための食品交換表 文光堂			
参考書	系統看護学講座 専門基礎 栄養学 人体の構造と機能② 医学書院 系統看護学講座 別巻 栄養食事療法 医学書院 適宜プリント配布			
事前・事後学修	1. 医学、看護学の必須基礎知識と考え、学習に励む。 2. 予習・復習が大切であると日々の学習に心掛ける。			
実務経験のある教員による実践的授業	管理栄養士として、病院・クリニック等での栄養指導業務など豊富な経験をふまえ、基礎的知識の講義を行う。			

科目名	病理病態学	単位 1	時間 30	開校年次 1年次 後期
科目責任者	吉田 愛知			
科目概要	看護の役割を理解し、看護援助を行うため、疾病の原因や発生病理、形態と機能及び代謝の変化の原理を理解する。			
到達目標	1. 病理学の役割について理解する。 2. 疾病の様々な原因と各異常がもたらす原因や影響について理解する。 2. 細胞障害の型と代謝について理解できる。 3. 循環障害、免疫防御、腫瘍の病態について理解できる。			
授業計画	〈授業内容・テーマ等〉 第1回 : 病理学とは、病因論 第2回 : 先天異常(1) 第3回 : 先天異常(2) 遺伝性疾患 第4回 : 代謝異常・退行性疾患 第5回 : 変性・物質沈着 第6回 : 代謝性疾患 第7回 : 循環障害(1) 第8回 : 循環障害(2) 第9回 : 循環障害(3) 第10回 : 炎症(1) 定義と分類 第11回 : 炎症(2) 免疫 第12回 : 炎症(3) 感染症 第13回 : 腫瘍(1) 第14回 : 腫瘍(2) 第15回 : 終講試験・まとめ 〈担当教員名〉 吉田 愛知 吉田 愛知 吉田 愛知 吉田 愛知 吉田 愛知 吉田 愛知 吉田 愛知 吉田 愛知 吉田 愛知 吉田 愛知 吉田 愛知 吉田 愛知 吉田 愛知 吉田 愛知 吉田 愛知			
評価方法	筆記試験(100%)			
指定図書	1. 系統看護学講座 専門基礎分野 4 病理学 医学書院			
参考書	適宜プリント配布			
事前・事後学修	1. 医学、看護学の必須基礎知識と考え、学習に励む。 2. 予習・復習が大切であると日々の学習に心掛ける。			
実務経験のある教員による実践的授業				

科目名	微生物学	単位 1	時間 30	開校年次 1年次 前期
科目責任者	内海 俊樹			
科目概要	感染症の原因となる病原微生物の分類や特徴、感染予防と滅菌・消毒、感染防御に関わる生体反応として疫学等について学習する。			
到達目標	1. 主要な病原微生物の特徴がわかる。 2. 感染と感染経路について理解できる。 3. 感染予防について理解できる。 4. 病原体と疾患との関係が理解できる。			
授業計画	〈授業内容・テーマ等〉 第1回 :微生物学の歴史 第2回 :細菌の構造、代謝 第3回 :培地、真菌・原虫総論 第4回 :ウィルス総論、感染症(Ⅰ) 第5回 :感染症(Ⅱ)、疫学(Ⅰ) 第6回 :疫学(Ⅱ) 第7回 :疫学(Ⅲ)滅菌消毒(Ⅰ) 第8回 :滅菌・消毒(Ⅱ) 第9回 :科学療法、滅菌各論 第10回 :グラム陰性桿菌、復習テスト(1)解説 第11回 :グラム陰性桿菌、復習テスト(2)解説 第12回 :リケッチア、クラミジア、マイコプラズマ 復習テスト(3)解説 第13回 :DNAウィルス・RNAウィルス(Ⅰ)復習テスト(4)解説 第14回 :RNAウィルス(Ⅱ)、原虫、真菌各論 第15回 :終講試験・まとめ 〈担当教員名〉 内海 俊樹 内海 俊樹 内海 俊樹 内海 俊樹 内海 俊樹 内海 俊樹 内海 俊樹 内海 俊樹 内海 俊樹 内海 俊樹 内海 俊樹 内海 俊樹 内海 俊樹 内海 俊樹 内海 俊樹			
評価方法	筆記試験(100%)			
指定図書	1. 系統看護学講座 専門基礎分野 6 微生物学 医学書院			
参考書	適宜プリント配布			
事前・事後学修	1. 医学、看護学の必須基礎知識と考え、学習に励む。 2. 予習・復習が大切であると日々の学習に心掛ける。			
実務経験のある教員による実践的授業	歯科医師として業務に携わり、豊富な経験をふまえ、基礎的知識の講義を行う。			

専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進

科目名	疾病論Ⅰ（呼吸・循環機能障害）	単位 1	時間 30	開校年次 1年次 後期
科目責任者	富宿明子 原田香織 徳留京子 白坂望 福丸 隼太 上田平昌代			
科目概要	呼吸器系および循環器系の機能障害による症状と病態生理、疾患、検査と治療の基礎的知識を理解する。			
到達目標	1. 呼吸器系の疾患病態生理、疾患にける検査・治療・処置について理解できる。 2. 循環器系の疾患病態生理、疾患にける検査・治療・処置について理解できる。			
授業計画	〈授業内容・テーマ等〉 〈担当教員名〉 【呼吸機能障害：15時間】 第1回：呼吸機能系障害の症状と病態生理 福丸 隼太 第2回：疾患の理解（上気道・気管支の疾患、肺の疾患） 富宿 明子 第3回：疾患の理解（胸膜疾患、縦膜疾患） 富宿 明子 第4回：疾患の理解（胸部外傷、肺移植 伝染性疾患） 富宿 明子 第5回：各疾患に共通する治療・処置（吸入療法、放射線療法） 原田 香織 第6回：各疾患に共通する治療・処置（リハビリテーション、手術療法） 原田 香織 第7回：呼吸機能系障害の理解 まとめ 福丸 隼太 第8回：終講試験 富宿 明子 原田 香織 【循環機能障害：15時間】 第1回：循環器の解剖と症状 徳留 京子 第2回：虚血性心疾患 徳留 京子 第3回：心不全、高血圧 徳留 京子 第4回：不整脈、弁膜症、心膜炎、心筋疾患等 徳留 京子 第5回：不整脈、弁膜症循環器の診察、検査① 白坂 望 第6回：不整脈、弁膜症循環器の診察、検査② 白坂 望 第7回：循環機能系障害の理解、まとめ 上田平昌代 第8回：終講試験・まとめ 徳留 京子 白坂 望			
評価方法	筆記試験 100% 呼吸機能障害 50%（疾病 30%＋診察・検査 20%） 循環機能障害 50%（疾病 30%＋診察・検査 20%）			
指定図書	1. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 2 呼吸器 医学書院 2. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 3 循環器 医学書院			
参考書	適宜プリント配布			
事前・事後学修	1. 授業は事前学習をして、積極的に臨む。 2. 解剖生理学、病態生理学、各疾病論の復習をして臨む。 3. 授業中は積極的に質問を行う。”			
実務経験のある教員による実践的授業	本科目は、医師・慢性呼吸器疾患看護認定看護師、慢性心不全看護認定看護師として、実務経験のある教員による授業である。			

専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進

科目名	疾病論Ⅱ(栄養代謝機能障害)	単位 1	時間 30	開校年次 1年次 後期
科目責任者	富宿明子 中村彰 川島清美			
科目概要	人間は、生まれてから死ぬまで体外から物質を摂取し、それを消化・吸収、合成・分解し生活力の維持や成長に必要なエネルギーの産生蓄積身体の構成成分の合成、排泄のための変換を絶えず繰り返す。この生命維持に不可欠な栄養の摂取と代謝をつかさどる器官の正常な構造と機能を理解した上で、栄養代謝機能の障害を起こす疾患を学ぶことにより、看護する上での身体的側面のアセスメント能力を養うことをねらいとする。			
到達目標	1. 栄養代謝疾患の病態生理・検査・治療について理解できる。 2. 消化器疾患の病態生理・検査・治療について理解できる。			
授業計画	<授業内容・テーマ等> <担当教員名> 【栄養代謝機能障害:10 時間】 第1回 :糖尿病の分類 富宿 明子 第2回 :糖尿病の検査 富宿 明子 第3回 :糖尿病の治療 富宿 明子 第4回 :糖尿病の病態生理 富宿 明子 第5回 :糖尿病性ケトアシドーシス 富宿 明子 第6回 :終講試験・まとめ 富宿 明子 【消化吸収障害:15 時間】 第1回 :消化器 構造と機能 症状 中村 彰 第2回 :検査・処置・治療 中村 彰 第3回 :手術 消化管 1 中村 彰 第4回 :消化管 2 肝臓、胆嚢、膵臓 1 中村 彰 第5回 :肝臓、胆嚢、膵臓 2 中村 彰 第6回 :患者の看護① 中村 彰 第7回 :患者の看護② 中村 彰 第8回 :終講試験・まとめ 中村 彰 【口腔内障害:5 時間】 第1回 :歯科学概論① 口腔ケアの定義について 川島 清美 第2回 :歯科学概論② 歯科疾患の看護の特殊性 川島 清美 第3回 :終講試験・まとめ 川島 清美			
評価方法	筆記試験(100%)			
指定図書	1. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 14 歯・口腔 医学書院 2. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 6 内分泌・代謝 医学書院 3. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 5 消化器 医学書院			
参考書	適宜プリント配布			
事前・事後学修	1. 授業は事前学習をして、積極的に臨む。 2. 解剖生理学、病態生理学、各疾病論の復習をして臨む。 3. 授業中は積極的に質問を行う。			
実務経験のある教員による実践的授業	医師・歯科医師として医業に携わり、豊富な実務経験をふまえた講義を行う。			

専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進

科目名	疾病論Ⅲ(生体防御機能障害)	単位 1	時間 30	開校年次 2 年次 後期
科目責任者	後山和彦 富宿 博隆 武田 浩一郎			
科目概要	人間には、異物から人体を守るための生体防御機能が備わっている。また、これによって人間は健康な生活を送ることができる。この人間の生命維持に重要な役割を持つ生体防御機能について理解し、それに障害が生じた際に生じる様々な健康問題とそれに対する検査・治療を学ぶことにより、患者に生じている苦痛と、必要な看護を理解することをねらいとする。			
到達目標	1. 生体防御機能障害について理解できる。			
授業計画	(授業内容・テーマ等) (担当教員名) 【血液・造血機能障害:12時間】 第1回 :血液の基本～血液疾患の症状 後山 和彦 第2回 :血液の検査・治療法 後山 和彦 第3回 :赤血球の疾患 後山 和彦 第4回 :白血球の疾患 後山 和彦 第5回 :リンパ球・異常蛋白・血小板・凝固因子の疾患 後山 和彦 第6回 :血液・造血器疾患の理解・振り返り 後山 和彦 第7回 :終講試験 後山 和彦 【アレルギー・膠原病機能障害:12時間】 第1回 :免疫のしくみ(非特異的、特異的) 富宿 博隆 第2回 :アレルギーについて 富宿 博隆 第3回 :膠原病(自己免疫疾患)総論① 富宿 博隆 第4回 :膠原病(自己免疫疾患)総論② 富宿 博隆 第5回 :感染症について 富宿 博隆 第6回 :血小板・凝固因子の疾患 富宿 博隆 第7回 :終講試験・まとめ 富宿 博隆 【皮膚機能障害:6 時間】 第1回 :皮膚疾患 総論 武田浩一郎 第2回 :皮膚疾患 各論 武田浩一郎 第3回 :皮膚疾患 各論 武田浩一郎 第4回 :終講試験 武田浩一郎			
評価方法	筆記試験(100%)			
指定図書	1. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学4 血液・造血器 医学書院 2. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学11 アレルギー/膠原病/感染症 医学書院 3. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学12 皮膚 医学書院			
参考書	適宜プリントを配布			
事前・事後学修	1. 授業は事前学習をして、積極的に臨む。 2. 解剖生理学、病態生理学、各疾病論の復習をして臨む。 3. 授業中は積極的に質問を行う。			
実務経験のある教員による実践的授業	本科目は、医師・歯科医師として豊富な実務経験をふまえた講義を行う。			

専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進

科目名	疾病論Ⅳ (脳神経・運動・感覚機能障害)	単位 1	時間 30	開校年次 1年次 後期
科目責任者	後藤哲哉 富宿明子 西山 圭介			
科目概要	脳神経領域は人間の生存・生活が個体の内外からの刺激に応答する機能をもって営まれる。これらの機能の疾病の成立の成り立ちを理解し、それに対する検査・治療を学ぶことにより、疾病を予防し、回復を促進する視点で看護を見出していくことをならいとする。 運動機能は日常生活行動を支える役割をもつ。疾患や症状、治療によってどのような影響を受けるか関連づけて学習していくことをねらいとする。			
到達目標	1. 運動機能障害の病態・検査・治療について理解できる。 2. 脳神経・感覚機能障害の病態・検査・治療について理解できる。			
授業計画	〈授業内容・テーマ等〉〈担当教員名〉 【運動機能障害:10 時間】 第1回 :運動機能障害と病態生理西山 圭介 第2回 :診断・検査と治療、処置西山 圭介 第3回 :疾患の理解(外傷性の運動器疾患)富宿 明子 第4回 :疾患の理解(外傷性、内因性の運動器疾患)富宿 明子 第5回 :疾患の理解(内因性の運動器疾患)富宿 明子 第6回 :終講試験富宿 明子 西山 圭介 【脳神経機能障害:10 時間】 第1回 :脳神経障害の症状と病態生理後藤 哲哉 第2回 :脳神経障害とその検査後藤 哲哉 第3回 :機能障害を起こす疾患と治療後藤 哲哉 第4回 :機能障害を起こす疾患と治療後藤 哲哉 第5回 :機能障害を起こす疾患と治療後藤 哲哉 第6回 :終講試験後藤 哲哉			
評価方法	筆記試験(100%)			
指定図書	1. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 10 運動器 医学書院 2. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 7 脳・神経 医学書院			
参考書	プリント配布			
事前・事後学修	1. 授業は事前学習をして、積極的に臨む。 2. 解剖生理学、病態生理学、各疾病論の復習をして臨む。 3. 授業中は積極的に質問を行う。			
実務経験のある教員による実践的授業				

専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進

科目名	疾病論Ⅳ (脳神経・運動・感覚機能障害)	単位 1	時間 30	開校年次 1年次 後期
科目責任者	伊東 小都子 上田平昌代			
科目概要	人間は、外界からの情報の多くを感覚機能により獲得している。そのため感覚機能の障害により、身体的・精神的・社会的にもさまざまな問題が生じる。眼疾患によって起こるさまざまな問題を理解した上でどのような援助が必要か看護につなげることができる。			
到達目標	1. 耳鼻咽喉機能障害の病態・検査・治療について理解できる。 2. 視機能機能障害の病態・検査・治療について理解できる。			
授業計画	〈授業内容・テーマ等〉 〈担当教員名〉 【感覚機能障害:10 時間】 【耳鼻咽喉機能障害:5 時間】 第 1 回 :耳鼻咽喉疾患の検査 聴力検査, 平衡機能検査, 耳管通気法 耳鼻咽喉疾患の病態生理・検査・治療 中耳炎, メニエール病, 突発性難聴 第 2 回 :耳鼻咽喉疾患の病態生理・検査・治療 鼻アレルギー, 副鼻腔炎, 喉頭がん 第 3 回 :終講試験 【視機能障害:5 時間】 第1回 :1.疾患の理解 1)屈折の異常;近視・遠視・乱 2)調節の異常 3)色覚の異常 4)弱視 5)眼位・眼球運動の異常 2.部位別の疾患 1)眼瞼の疾患;麦粒腫, 霰粒 2)結膜の疾患 3)角膜の疾患 第2回 :1.疾患の理解 1)網膜・硝子体の疾患 2)水晶体の疾患 第 3 回;終講試験			
評価方法	筆記試験(100%)			
指定図書	1. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 14 耳鼻咽喉 医学書院 2. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 13 眼 医学書院			
参考書	適宜プリント配布			
事前・事後学修	1. 授業は事前学習をして、積極的に臨む。 2. 解剖生理学、病態生理学、各疾病論の復習をして臨む。 3. 授業中は積極的に質問を行う。			
実務経験のある教員による実践的授業				

専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進

科目名	疾病論Ⅴ(内部環境調節機能障害)	単位 1	時間 30	開校年次 2年次 後期
科目責任者	鹿児島大学 糖尿病・内分泌内科医師 内田洋介			
科目概要	1. 内分泌機能障害とメカニズムとその検査・治療法について学ぶ。 2. 2. 体液機能障害とその検査・治療法を学ぶ			
到達目標	1. 内分泌機能障害の病態・検査・治療について理解できる。 2. 腎機能障害の病態・検査・治療について理解できる。			
授業計画	(授業内容・テーマ等) (担当教員名) 【内分泌機能障害:15時間】 第1回 : 内分泌総論(内分泌器官の構造と機能) 鹿児島大学糖尿病・内分泌内科医師 第2回 : 内分泌器官とホルモン機構 鹿児島大学糖尿病・内分泌内科医師 第3回 : 症状と病態生理 鹿児島大学糖尿病・内分泌内科医師 第4回 : 内分泌疾患の検査 鹿児島大学糖尿病・内分泌内科医師 第5回 : 疾患の理解① 鹿児島大学糖尿病・内分泌内科医師 第6回 : 疾患の理解② 鹿児島大学糖尿病・内分泌内科医師 第7回 : 疾患の理解③ 鹿児島大学糖尿病・内分泌内科医師 第8回 : 終講試験・まとめ 鹿児島大学糖尿病・内分泌内科医師 【体液調節機能障害:15時間】 第1回 : 腎・泌尿器の解剖生理の復習 内田洋介 第2回 : 症状とその病態生理① 内田洋介 第3回 : 症状とその病態生理② 内田洋介 第4回 : 検査と治療 内田洋介 第5回 : 疾患の理解① 内田洋介 第6回 : 疾患の理解② 内田洋介 第7回 : 疾患の理解③ 内田洋介 第8回 : 終講試験・まとめ 内田洋介			
評価方法	筆記試験(100%)			
指定図書	1. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学6 内分泌・代謝 医学書院 2. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学8 腎・泌尿器 医学書院			
参考書	適宜プリント配布			
事前・事後学修	1. 授業は事前学習をして、積極的に臨む。 2. 解剖生理学、病態生理学、各疾病論の復習をして臨む。 3. 授業中は積極的に質問を行う。			
実務経験のある教員による実践的授業	本科目は、医師として医業に携わり、豊富な実務経験をふまえた講義を行う。			

専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進

科目名	疾病論Ⅵ(小児疾患)	単位 1	時間 20	開校年次 2年次 後期																								
科目責任者	後山 和彦																											
科目概要	1. 看護で遭遇する看護問題・障害とその治療について学ぶ。 2. 小児とその家族に起こりやすい直面しやすい状況を知り、看護に必要な基本的な知識を学ぶ。																											
到達目標	1. 小児疾患の病態・検査・治療について理解できる。																											
授業計画	<table><thead><tr><th>〈授業内容・テーマ等〉</th><th>〈担当教員名〉</th></tr></thead><tbody><tr><td>第1回 : 染色体異常・体内環境により発症する先天代謝異常 代謝性疾患, 内分泌疾患</td><td>後山 和彦</td></tr><tr><td>第2回 : 免疫疾患・アレルギー疾患・リウマチ疾患</td><td>後山 和彦</td></tr><tr><td>第3回 : 感染症</td><td>後山 和彦</td></tr><tr><td>第4回 : 呼吸器疾患</td><td>後山 和彦</td></tr><tr><td>第5回 : 循環器疾患</td><td>後山 和彦</td></tr><tr><td>第6回 : 消化器疾患</td><td>後山 和彦</td></tr><tr><td>第7回 : 血液・造血器疾患 腎泌尿器および生殖器疾患</td><td>後山 和彦</td></tr><tr><td>第8回 : 神経疾患, 運動器疾患</td><td>後山 和彦</td></tr><tr><td>第9回 : 皮膚疾患, 眼疾患, 耳鼻咽喉疾患</td><td>後山 和彦</td></tr><tr><td>第10回 : 精神疾患, 事故・外傷</td><td>後山 和彦</td></tr><tr><td>第11回 : 終講試験</td><td>後山 和彦</td></tr></tbody></table>				〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉	第1回 : 染色体異常・体内環境により発症する先天代謝異常 代謝性疾患, 内分泌疾患	後山 和彦	第2回 : 免疫疾患・アレルギー疾患・リウマチ疾患	後山 和彦	第3回 : 感染症	後山 和彦	第4回 : 呼吸器疾患	後山 和彦	第5回 : 循環器疾患	後山 和彦	第6回 : 消化器疾患	後山 和彦	第7回 : 血液・造血器疾患 腎泌尿器および生殖器疾患	後山 和彦	第8回 : 神経疾患, 運動器疾患	後山 和彦	第9回 : 皮膚疾患, 眼疾患, 耳鼻咽喉疾患	後山 和彦	第10回 : 精神疾患, 事故・外傷	後山 和彦	第11回 : 終講試験	後山 和彦
〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉																											
第1回 : 染色体異常・体内環境により発症する先天代謝異常 代謝性疾患, 内分泌疾患	後山 和彦																											
第2回 : 免疫疾患・アレルギー疾患・リウマチ疾患	後山 和彦																											
第3回 : 感染症	後山 和彦																											
第4回 : 呼吸器疾患	後山 和彦																											
第5回 : 循環器疾患	後山 和彦																											
第6回 : 消化器疾患	後山 和彦																											
第7回 : 血液・造血器疾患 腎泌尿器および生殖器疾患	後山 和彦																											
第8回 : 神経疾患, 運動器疾患	後山 和彦																											
第9回 : 皮膚疾患, 眼疾患, 耳鼻咽喉疾患	後山 和彦																											
第10回 : 精神疾患, 事故・外傷	後山 和彦																											
第11回 : 終講試験	後山 和彦																											
評価方法	筆記試験(100%)																											
指定図書	1. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児臨床看護各論 小児看護学② 医学書院																											
参考書	プリント配布																											
事前・事後学修	1. 授業は事前学習をして、積極的に臨む。 2. 解剖生理学、病態生理学、各疾病論の復習をして臨む。 3. 授業中は積極的に質問を行う。																											
実務経験のある教員による実践的授業	本科目は、医師として医業に携わり、豊富な実務経験をふまえた講義を行う。																											

専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進

科目名	疾病論Ⅶ(性生殖機能障害・母性疾患)	単位 1	時間 30	開校年次 2年次 前期
科目責任者	原田 美由紀			
科目概要	1. 女性生殖器の解剖生理について想起させ、生殖器障害の症状、病態生理、診療検査の種類と方法について理解できる。また、女性の生殖器の障害の原因や疾患および治療について理解を深め看護に活かすことができることを目指す。 2. 妊娠中の偶発性器疾患について理解し母性看護学の基礎的知識の習得を目指す。			
到達目標	1. 性・生殖器機能障害の病態生理・検査・治療について理解できる。 2. 妊娠・分娩・産褥の異常について理解できる。			
授業計画	〈授業内容・テーマ等〉 【性生殖機能障害:13時間】 第1回 :性分泌疾患・外陰・膣の疾患 第2回 :子宮～筋腫・治療 第3回 :異所性妊娠 第4回 :卵巣がん、無月経、更年期 第5回 :STD、月経困難症 第6回 :不妊症、乳房疾患 第7回 :終講試験・まとめ 【母性疾患:17時間】 第1回 :ハイリスク妊娠～突発性血小板減少症 第2回 :感染症～PIH 第3回 :PIH～血液型不適合妊娠・多胎・流産 第4回 :早産・切迫早産～異常分娩の看護 第5回 :産道の異常～胎向・回旋の異常 第6回 :常位胎盤早期剥離 第7回 :臍帯の異常～ST値 第8回 :産褥の異常～新生児の異常 第9回 :終講試験・まとめ 〈担当教員名〉 原田美由紀 原田美由紀 原田美由紀 原田美由紀 原田美由紀 原田美由紀 原田美由紀 原田美由紀 原田美由紀 原田美由紀 原田美由紀 原田美由紀 原田美由紀 原田美由紀 原田美由紀			
評価方法	筆記試験(100%)			
指定図書	1. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学 2 母性看護学各論 医学書院			
参考書	プリント配布			
事前・事後学修	1. 授業は事前学習をして、積極的に臨む。 2. 解剖生理学、病態生理学、各疾病論の復習をして臨む。 3. 授業中は積極的に質問を行う。			
実務経験のある教員による実践的授業	本科目は、助産師として、豊富な実務経験をふまえた講義を行う。			

専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進

科目名	疾病論Ⅷ(精神機能障害)	単位 1	時間 15	開校年次 2年次 前期
科目責任者	川畑 孝美			
科目概要	精神科看護に必要な観察力、洞察力を修得するために必要な精神疾患の基礎的な知識を理解できる。			
到達目標	1. 精神機能障害の病態・検査・治療について理解できる。			
授業計画	〈授業内容・テーマ等〉 第1回 :精神障害の診断と検査の種類 第2回 :精神科の各種治療法 薬物療法 第3回 :精神科の各種治療法 精神療法 第4回 :精神科の主な疾患 1)症状精神病 2)アルコール依存 3)薬物依存 4)てんかん 第5回 :精神科の主な疾患 5)統合失調症 第6回 :精神科の主な疾患 6)気分障害 7)神経症 8)人格障害 第7回 :精神科の主な疾患 9)発達障害 10)ギャンブル依存, ゲーム障害 第8回 :終講試験・まとめ 〈担当教員名〉 川畑 孝美 川畑 孝美 川畑 孝美 川畑 孝美 川畑 孝美 川畑 孝美 川畑 孝美 川畑 孝美 川畑 孝美			
評価方法	筆記試験 100%			
指定図書	1. 専門分野 精神看護の基礎 精神看護学 1 医学書院 2. 専門分野 精神看護の展開 精神看護学 2 医学書院			
参考書	プリント配布			
事前・事後学修	1. 授業は事前学習をして、積極的に臨む。 2. 解剖生理学、病態生理学、各疾病論の復習をして臨む。 3. 授業中は積極的に質問を行う。			
実務経験のある教員による実践的授業	本科目は、精神科の看護師として精神科看護に携わり、豊富な経験をもとに講義を行う。			

専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進

科目名	臨床薬理学	単位 1	時間 30	開校年次 2 年次 前期																																
科目責任者	清水 隆雄																																			
科目概要	将来看護師として医療に携わる場合、薬物に関する知識は不可欠である。薬理学では薬理作用を理解するための基礎的知識の習得に重点を置くが、さらに医療従事者に関わる薬物関連の多さに鑑み看護業務に必要な薬の知識の習得を目指す。																																			
到達目標	1. 薬物の作用と薬理動態について理解できる。 2. 医薬品に関する正しい取り扱いについて理解できる。 3. 薬物療法の基本(薬理作用・副作用)を学ぶ。 4. 各消毒薬の特性と有用性を学ぶ。																																			
授業計画	<table><thead><tr><th>〈授業内容・テーマ等〉</th><th>〈担当教員名〉</th></tr></thead><tbody><tr><td>第1回 :薬理学概論:薬事法・毒劇薬・麻薬取締法</td><td>清水 隆雄</td></tr><tr><td>第2回 :総論:薬局方・薬理作用・薬理作用の機序・薬物受容体</td><td>清水 隆雄</td></tr><tr><td>第3回 :薬理作用に影響する因子・年齢・連用・併用・心理効果・心理効果 薬物動態:経口適応・初回通過効果”</td><td>清水 隆雄</td></tr><tr><td>第4回 :薬物動態:吸収・分布・生体反応・排泄・生物学的半減期</td><td>清水 隆雄</td></tr><tr><td>第5回 :自律神経作用・コリン作用・抗コリン作用薬</td><td>清水 隆雄</td></tr><tr><td>第6回 :自律神経作用薬・アドレナリン作用薬・抗アドレナリン薬 ・アドレナリン作用薬・アドレナリン作動性神経遮断薬・自律神経節遮断薬</td><td>清水 隆雄</td></tr><tr><td>第7回 :骨格筋弛緩薬 (自律神経小テスト)・局所麻酔薬</td><td>清水 隆雄</td></tr><tr><td>第8回 :全身麻酔薬・睡眠薬・抗けいれん薬</td><td>清水 隆雄</td></tr><tr><td>第9回 :抗けいれん薬・パーキンソン治療薬・麻薬性鎮痛薬</td><td>清水 隆雄</td></tr><tr><td>第10回 :向精神薬:抗精神病薬・抗うつ薬・抗不安薬・解熱鎮痛薬</td><td>清水 隆雄</td></tr><tr><td>第11回 :抗痛風薬・抗ヒスタミン薬・強心薬・抗不整脈薬</td><td>清水 隆雄</td></tr><tr><td>第12回 :抗不整脈薬(続き)・狭心症治療薬・高血圧治療薬</td><td>清水 隆雄</td></tr><tr><td>第13回 :貧血治療薬・抗凝血薬・抗潰瘍薬・高血圧症治療薬ホルモン 糖尿病治療薬・副腎皮質ホルモン剤・消毒薬</td><td>清水 隆雄</td></tr><tr><td>第14回 :消毒薬(各論) 化学療法:ペニシリン・作用機序”</td><td>清水 隆雄</td></tr><tr><td>第15回 :終講試験・まとめ</td><td>清水 隆雄</td></tr></tbody></table>				〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉	第1回 :薬理学概論:薬事法・毒劇薬・麻薬取締法	清水 隆雄	第2回 :総論:薬局方・薬理作用・薬理作用の機序・薬物受容体	清水 隆雄	第3回 :薬理作用に影響する因子・年齢・連用・併用・心理効果・心理効果 薬物動態:経口適応・初回通過効果”	清水 隆雄	第4回 :薬物動態:吸収・分布・生体反応・排泄・生物学的半減期	清水 隆雄	第5回 :自律神経作用・コリン作用・抗コリン作用薬	清水 隆雄	第6回 :自律神経作用薬・アドレナリン作用薬・抗アドレナリン薬 ・アドレナリン作用薬・アドレナリン作動性神経遮断薬・自律神経節遮断薬	清水 隆雄	第7回 :骨格筋弛緩薬 (自律神経小テスト)・局所麻酔薬	清水 隆雄	第8回 :全身麻酔薬・睡眠薬・抗けいれん薬	清水 隆雄	第9回 :抗けいれん薬・パーキンソン治療薬・麻薬性鎮痛薬	清水 隆雄	第10回 :向精神薬:抗精神病薬・抗うつ薬・抗不安薬・解熱鎮痛薬	清水 隆雄	第11回 :抗痛風薬・抗ヒスタミン薬・強心薬・抗不整脈薬	清水 隆雄	第12回 :抗不整脈薬(続き)・狭心症治療薬・高血圧治療薬	清水 隆雄	第13回 :貧血治療薬・抗凝血薬・抗潰瘍薬・高血圧症治療薬ホルモン 糖尿病治療薬・副腎皮質ホルモン剤・消毒薬	清水 隆雄	第14回 :消毒薬(各論) 化学療法:ペニシリン・作用機序”	清水 隆雄	第15回 :終講試験・まとめ	清水 隆雄
〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉																																			
第1回 :薬理学概論:薬事法・毒劇薬・麻薬取締法	清水 隆雄																																			
第2回 :総論:薬局方・薬理作用・薬理作用の機序・薬物受容体	清水 隆雄																																			
第3回 :薬理作用に影響する因子・年齢・連用・併用・心理効果・心理効果 薬物動態:経口適応・初回通過効果”	清水 隆雄																																			
第4回 :薬物動態:吸収・分布・生体反応・排泄・生物学的半減期	清水 隆雄																																			
第5回 :自律神経作用・コリン作用・抗コリン作用薬	清水 隆雄																																			
第6回 :自律神経作用薬・アドレナリン作用薬・抗アドレナリン薬 ・アドレナリン作用薬・アドレナリン作動性神経遮断薬・自律神経節遮断薬	清水 隆雄																																			
第7回 :骨格筋弛緩薬 (自律神経小テスト)・局所麻酔薬	清水 隆雄																																			
第8回 :全身麻酔薬・睡眠薬・抗けいれん薬	清水 隆雄																																			
第9回 :抗けいれん薬・パーキンソン治療薬・麻薬性鎮痛薬	清水 隆雄																																			
第10回 :向精神薬:抗精神病薬・抗うつ薬・抗不安薬・解熱鎮痛薬	清水 隆雄																																			
第11回 :抗痛風薬・抗ヒスタミン薬・強心薬・抗不整脈薬	清水 隆雄																																			
第12回 :抗不整脈薬(続き)・狭心症治療薬・高血圧治療薬	清水 隆雄																																			
第13回 :貧血治療薬・抗凝血薬・抗潰瘍薬・高血圧症治療薬ホルモン 糖尿病治療薬・副腎皮質ホルモン剤・消毒薬	清水 隆雄																																			
第14回 :消毒薬(各論) 化学療法:ペニシリン・作用機序”	清水 隆雄																																			
第15回 :終講試験・まとめ	清水 隆雄																																			
評価方法	筆記試験(100%)																																			
指定図書	1. わかりやすい薬理学(別冊整理ノート付) ヌーヴェルヒロカワ																																			
参考書	適宜プリント配布																																			
事前・事後学修	1. 授業は事前学習をして、積極的に臨む。 2. 解剖生理学、病態生理学、各疾病論の復習をして臨む。 3. 授業中は積極的に質問を行う。																																			
実務経験のある教員による実践的授業																																				

専門基礎分野 疾病の成り立ちと回復の促進

科目名	リハビリテーション論	単位 1	時間 15	開校年次 2 年次 前期
科目責任者	田川 知恵子 西山 圭介 立石 洋 藤村 勇人			
科目概要	リハビリテーションや障害の概念, 障害者にかかわる制度とリハビリテーション医療のシステムについて理解する。また, 障害者や家族の身体的・心理的・社会的特徴を理解し, 障害を抱えながらその人らしい生活を再構築していく過程を支援するための方法について学ぶ。			
到達目標	1. リハビリテーションや障害の概念について理解できる。 2. 障害者にかかわる制度とリハビリテーションのシステムについて理解できる。 3. 障害者や家族の身体的・心理的・社会的特徴を理解し, 障害を抱えながらその人らしい生活を再構築していく過程を支援するための方法について理解できる。			
授業計画	〈授業内容・テーマ等〉 第1回： リハビリテーション概念, リハビリテーションの領域 リハビリテーションにおけるチーム医療, リハビリテーション看護の歴史的背景, リハビリテーション看護の定義と役割 リハビリテーション看護の実践の場 第2回： リハビリテーション看護の対象 障害の概念, 障害をもつ人の法的定義 障害者の実態, リハビリテーション看護に関連する法制度 わが国の障害者施策の変遷 障害者をまもり支える法律・サービス ステージ別リハビリテーション看護 予防的リハビリテーションと看護 急性期リハビリテーションと看護 回復期リハビリテーションと看護 生活期リハビリテーションと看護 終末期リハビリテーション 第3回： 生活者として対象を支えるリハビリテーション看護 運動機能障害① 第4回： 生活者として対象を支えるリハビリテーション看護 運動機能障害② 第5回： 生活者として対象を支えるリハビリテーション看護 摂食嚥下障害, 排泄機能障害 第6回： 生活者として対象を支えるリハビリテーション看護 呼吸機能障害 第7回： 生活者として対象を支えるリハビリテーション看護 高次機能障害 第8回： 終講試験 〈担当教員名〉 田川知恵子 田川知恵子 西山 圭介 西山 圭介 立石 洋 立石 洋 藤村 勇人 田川知恵子・西山 圭介・立石 洋・藤村 勇人			
評価方法	筆記試験 100%(田川;30 点, 西山 20 点, 立石 30 点, 藤村 20 点)			
指定図書	系統看護学講座 別巻 リハビリテーション看護 医学書院			
参考書	適宜プリント配布			
事前・事後学修	1. 授業は事前学習をして、積極的に臨む。 2. 授業中は積極的に質問を行う。			
実務経験のある教員による実践的授業	本科目は, 理学療法士としてリハビリテーション治療に携わり, 豊富な経験をふまえた講義を行う。			

専門基礎分野 健康支援と社会保障制度

科目名	保健医療論(健康支援と制度)	単位 1	時間 15	開校年次 1年次 後期
科目責任者	上野 多吉子			
科目概要	公衆衛生と保健・医療・福祉を支える制度のしくみについて現在に至る歴史をふまえながら理解することができる。また環境と健康，生活とのつながりを知り，環境保全のあり方を学ぶ。			
到達目標	1. 公衆衛生活動の特徴や健康の概念について正しく理解できる。 2. これからの公衆衛生や各種医療制度について理解する。 3. 地域保健活動の概要について理解する。 2. さまざまなステージにおける健康について理解する。			
授業計画	〈授業内容・テーマ等〉 第1回 : 公衆衛生の理念, プライマリーヘルスケア 第2回 : 公衆衛生の活動の対象 公衆衛生における政策展開, 国と地方自治体の役割 第3回 : 専門職のはたらき 多職種との協働・住民との協働 第4回 : 公衆衛生の場での疫学 第5回 : 環境と健康-地球規模の環境と健康 第6回 : 感染症とその予防の基礎知識 わが国の感染症予防対策 第7回 : 公衆衛生上の重要な感染症とその対策 第8回 : 終講試験・まとめ 〈担当教員名〉 上野多吉子 上野多吉子 上野多吉子 上野多吉子 上野多吉子 上野多吉子 上野多吉子 上野多吉子			
評価方法	筆記試験(100%)			
指定図書	1. 系統看護学講座 専門基礎分野 公衆衛生 健康と社会保障制度[2]			
参考書	プリント配布			
事前・事後学修	1. 授業は事前学習をして、積極的に臨む。 2. 授業中は積極的に質問を行う。			
実務経験のある教員による実践的授業	本科目は、保健師として公衆衛生の分野に携わり、豊富な経験をふまえた講義を行う。			

科目名	医療倫理	単位 1	時間 15	開校年次 2 年次 前期																		
科目責任者	川島 清美																					
科目概要	1 年次に学習した哲学をもとに、医療現場で、看護師が直面するであろう脳死、生殖医療、臓器移植などの倫理的問題について考える。これらの倫理的問題を通して、患者や家族の意思を尊重するとともに看護師としての倫理や責任について学ぶ																					
到達目標	生命倫理に関する基礎的な知識を修得し、現代社会におけるさまざまな倫理的問題を通して、人間の命や尊厳について考えることで、看護専門職者としての倫理観について述べるができる。																					
授業計画	<table><thead><tr><th>〈授業内容・テーマ等〉</th><th>〈担当教員名〉</th></tr></thead><tbody><tr><td>第1回 :医療倫理とは</td><td>川島 清美</td></tr><tr><td>第2回 :医療倫理 医療行為における患者への説明と意思決定について</td><td>川島 清美</td></tr><tr><td>第3回 :生殖の医療倫理-体外受精と出生前診断</td><td>川島 清美</td></tr><tr><td>第4回 :新生児の医療倫理</td><td>川島 清美</td></tr><tr><td>第5回 :高齢者の医療倫理</td><td>川島 清美</td></tr><tr><td>第6回 :終末期の医療倫理</td><td>川島 清美</td></tr><tr><td>第7回 :移植と医療倫理</td><td>川島 清美</td></tr><tr><td>第8回 :終講試験・まとめ</td><td>川島 清美</td></tr></tbody></table>				〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉	第1回 :医療倫理とは	川島 清美	第2回 :医療倫理 医療行為における患者への説明と意思決定について	川島 清美	第3回 :生殖の医療倫理-体外受精と出生前診断	川島 清美	第4回 :新生児の医療倫理	川島 清美	第5回 :高齢者の医療倫理	川島 清美	第6回 :終末期の医療倫理	川島 清美	第7回 :移植と医療倫理	川島 清美	第8回 :終講試験・まとめ	川島 清美
〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉																					
第1回 :医療倫理とは	川島 清美																					
第2回 :医療倫理 医療行為における患者への説明と意思決定について	川島 清美																					
第3回 :生殖の医療倫理-体外受精と出生前診断	川島 清美																					
第4回 :新生児の医療倫理	川島 清美																					
第5回 :高齢者の医療倫理	川島 清美																					
第6回 :終末期の医療倫理	川島 清美																					
第7回 :移植と医療倫理	川島 清美																					
第8回 :終講試験・まとめ	川島 清美																					
評価方法	筆記試験(100%)																					
指定図書	系統看護学講座 別巻 看護倫理																					
参考書	プリント配布																					
事前・事後学修	1. 授業は事前学習をして、積極的に臨む。 2. 授業中は積極的に質問を行う。																					
実務経験のある教員による実践的授業																						

専門基礎分野 健康支援と社会保障制度

科目名	社会福祉論Ⅰ（社会保障と制度）	単位 1	時間 15	開校年次 2年次 前期
科目責任者	重久 晃一			
科目概要	社会保障制度の目的、機能、機能、体系、内容などについて学習し、社会保険・公的扶助・公衆衛生及び医療・老人保健などについても考察する。			
到達目標	1. 社会保障制度について理解する。 2. 介護保険制度について理解する。 3. これからの社会保障について考える。			
授業計画	〈授業内容・テーマ等〉 第1回 : 現代社会と社会保障の動向 第2回 : 社会保障の概念、目的、機能 第3回 : 社会保障の体系 第4回 : 社会保障の内容－所得保障、医療保障、福祉サービス－ 第5回 : 介護保障と介護保険制度 第6回 : 所得保障制度と年金保険制度 第7回 : 公的扶助 第8階 : これからの社会保障制度－課題と展望－ 終講試験・まとめ 〈担当教員名〉 重久 晃一 重久 晃一 重久 晃一 重久 晃一 重久 晃一 重久 晃一 重久 晃一 重久 晃一			
評価方法	筆記試験(100%)			
指定図書	系統看護学講座 専門基礎分野 社会保障・社会福祉 健康支援と社会保障制度[3]医学書院			
参考書	プリント配布			
事前・事後学修	1. 授業は事前学習をして、積極的に臨む。 2. 授業中は積極的に質問を行う。			
実務経験のある教員による実践的授業	社会福祉士として業務に携わり、豊富な経験をふまえた講義を行う。			

専門基礎分野 健康支援と社会保障制度

科目名	社会福祉論Ⅱ(社会福祉活動)	単位 1	時間 15	開校年次 2年次 後期
科目責任者	重久 晃一			
科目概要	社会福祉制度の現状と課題について体系的に学習し、看護の立場から現代の社会福祉の福祉・保健対策の現状を学ぶ。			
到達目標	1. 社会福祉制度を理解し看護につなげることができる。			
授業計画	〈授業内容・テーマ等〉 第1回 : 私たちの暮らしと社会福祉 第2回 : 社会福祉の法制度 第3回 : 生活問題と福祉 第4回 : 高齢者問題と福祉 第5回 : 障害者問題と福祉 第6回 : 児童問題と福祉 第7回 : 女性問題と福祉社会,福祉実践と医療・看護 第8回 : 終講試験 〈担当教員名〉 重久 晃一 重久 晃一 重久 晃一 重久 晃一 重久 晃一 重久 晃一 重久 晃一 重久 晃一			
評価方法	筆記試験(100%)			
指定図書	系統看護学講座 専門基礎分野 社会保障・社会福祉 健康支援と社会保障制度[3]医学書院			
参考書	プリント配布			
事前・事後学修	1. 授業は事前学習をして、積極的に臨む。 2. 授業中は積極的に質問を行う。			
実務経験のある教員による実践的授業	社会福祉士として業務に携わり、豊富な経験をふまえた講義を行う。			

専門基礎分野 健康支援と社会保障制度

科目名	関係法規Ⅰ（医療と法律）	単位 1	時間 15	開校年次 3年次 前期
科目責任者	安藤 哲夫			
科目概要	看護に関する主な法律について学び、生活者の健康を守る制度について学習し、医療従事者の職務と役割について理解できる。			
到達目標	1. 法律の概要と看護に関する主な法規について理解する。			
授業計画	〈授業内容・テーマ等〉 第1回 :保健医療法と法 第2回 :医療法規 第3回 :医師法、歯科医師法 第4回 :保健師助産師看護師法 第5回 :保健衛生法規、社会保険関連法規 第6回 :生活衛生法規、薬事法規 第7回 :社会福祉関連法規、労働関連法規 第8回 :終講試験・まとめ 〈担当教員名〉 安藤 哲夫 安藤 哲夫 安藤 哲夫 安藤 哲夫 安藤 哲夫 安藤 哲夫 安藤 哲夫 安藤 哲夫			
評価方法	筆記試験(100%)			
指定図書	系統看護学講座 専門基礎分野 看護関係法令 健康支援と社会保障制度[4] 医学書院			
参考書	プリント配布			
事前・事後学修	1. 授業は事前学習をして、積極的に臨む。 2. 授業中は積極的に質問を行う。			
実務経験のある教員による実践的授業				

専門基礎分野 健康支援と社会保障制度

科目名	関係法規Ⅱ（看護と医療過誤）	単位 1	時間 15	開校年次 2年次 後期																		
科目責任者	植屋 よしの																					
科目概要	1. 医療安全に対する考え方や知識を得て法的関連を踏まえて看護師の役割を理解できる。 2. 組織としての医療安全のあり方と医療過誤を防ぐ責務について理解できる。																					
到達目標	1. 看護活動をするうえで必要な法規を理解し事故防止を考える																					
授業計画	<table><thead><tr><th>〈授業内容・テーマ等〉</th><th>〈担当教員名〉</th></tr></thead><tbody><tr><td>第1回 :医療安全を学ぶことの大切さ 事故防止の考え方</td><td>植屋 よしの</td></tr><tr><td>第2回 :看護師の法的責任</td><td>植屋 よしの</td></tr><tr><td>第3回 :医療事故・看護事故より法的責任を考える①概論 投与する業務における事故事例</td><td>植屋 よしの</td></tr><tr><td>第4回 医療事故・看護事故より法的責任を考える② 危険な医行為の観察・管理</td><td>植屋 よしの</td></tr><tr><td>第5回 :医療事故・看護事故より法的責任を考える③ 療養上の世話における事故防止</td><td>植屋 よしの</td></tr><tr><td>第6回 :医療事故・看護事故より法的責任を考える④ 業務領域をこえて共通する間違い 医療安全とコミュニケーション”</td><td>植屋 よしの</td></tr><tr><td>第7回 :我が国の医療安全の展望</td><td>植屋 よしの</td></tr><tr><td>第8回 :終講試験・まとめ</td><td>植屋 よしの</td></tr></tbody></table>				〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉	第1回 :医療安全を学ぶことの大切さ 事故防止の考え方	植屋 よしの	第2回 :看護師の法的責任	植屋 よしの	第3回 :医療事故・看護事故より法的責任を考える①概論 投与する業務における事故事例	植屋 よしの	第4回 医療事故・看護事故より法的責任を考える② 危険な医行為の観察・管理	植屋 よしの	第5回 :医療事故・看護事故より法的責任を考える③ 療養上の世話における事故防止	植屋 よしの	第6回 :医療事故・看護事故より法的責任を考える④ 業務領域をこえて共通する間違い 医療安全とコミュニケーション”	植屋 よしの	第7回 :我が国の医療安全の展望	植屋 よしの	第8回 :終講試験・まとめ	植屋 よしの
〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉																					
第1回 :医療安全を学ぶことの大切さ 事故防止の考え方	植屋 よしの																					
第2回 :看護師の法的責任	植屋 よしの																					
第3回 :医療事故・看護事故より法的責任を考える①概論 投与する業務における事故事例	植屋 よしの																					
第4回 医療事故・看護事故より法的責任を考える② 危険な医行為の観察・管理	植屋 よしの																					
第5回 :医療事故・看護事故より法的責任を考える③ 療養上の世話における事故防止	植屋 よしの																					
第6回 :医療事故・看護事故より法的責任を考える④ 業務領域をこえて共通する間違い 医療安全とコミュニケーション”	植屋 よしの																					
第7回 :我が国の医療安全の展望	植屋 よしの																					
第8回 :終講試験・まとめ	植屋 よしの																					
評価方法	1. 筆記試験:70 点 2. グループワークへの参加状況、小テスト、文献検索など学習意欲を含む;30 点																					
指定図書	1. 系統看護学講座 専門基礎分野 看護関係法令 健康支援と社会保障制度④ 医学書院 2. 系統看護学講座 統合分野 医療安全 看護の統合と実践② 医学書院																					
参考書	プリント配布																					
事前・事後学修	1.教科書は必ず事前に読んで、講義に積極的に臨みましょう。 2.参考文献、課題など積極的に読み深められるようにしましょう。 3.基礎看護学、各疾病論等の復習をして臨みましょう。 4.授業中は積極的に質問をしましょう。 5.レポート等は提出期日を遵守しましょう。																					
実務経験のある教員による実践的授業	看護師として豊富な実務経験をふまえ、組織としての医療安全のあり方について講義を行う。																					

專門分野

専門分野 基礎看護学

科目名	看護学原論	単位 1	時間 30	開校年次 1 年次 前期
科目責任者	植屋 よしの			
科目概要	看護の歴史的変遷をふまえ、看護に関する概念を学び「看護とは何か」を考えることにより、看護の機能と役割の重要性を学ぶ。 根拠ある実践をするためにも主な看護理論を学ぶ。			
到達目標	1. 「看護とは何か」を学ぶことにより看護の目的・看護の対象・看護の方法について説明できる。 2. 看護の基本概念となる概念を学び、看護実践を行っていく上で基本的な考え方を身につける。			
授業計画	〈授業内容・テーマ等〉 第1回 : 看護学を学ぶにあたって 第2回 : 看護の基本となる概念「看護とは」① 看護の変遷 第3・4回 : 看護の基本となる概念「看護とは」② 看護の定義 第5回 : 看護の基本となる概念「看護とは」③ 看護の機能と役割 第6回 : 看護の基本となる概念「人間とは」① 統合体としての人間 第7回 : 看護の基本となる概念「人間とは」② 成長・発達しつつける存在 第8回 : 看護の基本となる概念「人間とは」③ 生活者としての人間の理解 第9回 : 看護の基本となる概念「健康とは」① 健康の概念、健康のとらえ方 第10回 : 看護の基本となる概念「健康とは」② 生活と健康の関係、予防について 第11回 : 看護の提供者: 職業としての看護、看護職のキャリアについて 第12・13回 : 看護の提供の場: サービスとしての看護、チーム医療における協働 第14・15回 : 看護における倫理 職業倫理、看護者の倫理綱領、患者の権利 第16回 : 終講試験・まとめ 〈担当教員名〉 植屋よしの 植屋よしの 植屋よしの 植屋よしの 植屋よしの 植屋よしの 植屋よしの 植屋よしの 植屋よしの 植屋よしの 植屋よしの 植屋よしの 植屋よしの 植屋よしの 植屋よしの			
評価方法	終講試験 80% 毎回の授業感想カードの提出 20% (出席点含む)			
指定図書	1. 系統看護学講座 専門分野 I 看護学概論 基礎看護学① 医学書院 2. 看護覚え書 本当の看護とそうでない看護 日本看護協会出版会 3. 看護の基本となるもの 日本看護協会出版会			
参考書	1. 看護者の基本的責務 2020 年版 定義・概念/基本法/倫理 日本看護協会出版会 2. 系統看護学講座 別巻 看護史 医学書院			
事前・事後学修	多くの概念を学びます。授業で紹介する参考図書を読む、用語の意味を調べ理解する、積極的に考えることをしてください。			
実務経験のある教員による実践的授業	看護師として豊富な実務経験をふまえ看護の基本概念及び看護の機能と役割について理解が深められるよう授業を行う。			

科目名	看護倫理	単位 1	時間 15	開校年次 2 年次 後期
科目責任者	植屋 よしの			
科目概要	看護専門職として、対象と向き合うことに伴う役割と責任、倫理観を養う。			
到達目標	1. 看護における倫理についての具体的な内容を知り、倫理的課題について理解する。 2. また、その倫理的意思決定で事例を用いて、看護実践で遭遇する問題や倫理的ジレンマを秩序立てて検討し、看護者としてのなすべきことを考え、看護介入について具体的に述べることができる。			
授業計画	〈授業内容・テーマ等〉 〈担当教員名〉 第1回:看護倫理の基礎知識 1. 倫理の基礎 2.看護倫理の基礎 3. 原則の倫理 第2回:看護実践上の倫理的概念 1. アドボカシー 2. 協力と協働 3. ケアリング 第3回:生命倫理と看護職の責務 1. 患者の権利 2. インフォームドコンセント 3. 情報プライバシーと守秘義務 第4回:看護職に求められる倫理 1. 看護専門職の役割 2. 看護職の倫理綱領 3. 専門職 4. 看護職者の責任(倫理的責任と法的責任) 第5回:看護の場で生じやすい倫理上の問題の特徴 第6回:看護の場で生じやすい倫理上の問題へのアプローチ① 倫理的意思決定におけるプロセス(がんの告知の事例をもとに検討) 第7回:看護の場で生じやすい倫理上の問題へのアプローチ② 倫理的意思決定におけるプロセス(尊厳死の事例をもとに検討) 第8回:終講試験			
評価方法	筆記試験(80%)演習の取り組み(20%)出席状況も含み総合的に評価する。			
指定図書	1. 系統看護学講座 別巻 看護倫理 第2版 医学書院			
参考書	1. 事例でまなぶケアの倫理第2版 メディカ出版			
事前・事後学修	看護実践の現場で倫理的問題に遭遇します。重要な言葉の理解をし、原則の倫理に基づき倫理的判断を考え倫理的行動の実践につながるよう予習・復習する。			
実務経験のある教員による実践的授業	看護師として豊富な実務経験をふまえ看護における倫理の考え方を深められるよう授業を行う。			

専門分野 基礎看護学

科目名	基礎看護技術Ⅰ (共通技術)	単位 1	時間 30	開講年次 1 年次 前期																										
科目責任者	西田 香織 有川 幸宏																													
科目概要	看護実践の基礎として、看護技術のとらえ方を考えるとともに、基本的技術についての知識と技術を 培い、看護の対象状況に応じた看護ケアを根拠に基づいて行うことができるよう、看護専門職の行為 を学習する。																													
到達目標	1. 現代の技術の理論について学び、看護技術の独自性について理解する 2. 科学的根拠に基づく看護実践の基盤となる基本的技術を習得する																													
授業計画	<table><tr><td>〈授業内容・テーマ等〉</td><td>〈担当教員名〉</td></tr><tr><td>第1回:看護技術とは何か 1.技術とは何か 2.看護技術の特徴・範囲 3.看護技術を適切に実践するための要素 4.看護技術の発展と修得のために</td><td>西田 香織</td></tr><tr><td>第2回、第3回、第4回:環境調整技術 1.援助の基礎知識、病室環境のアセスメントと調整</td><td>西田 香織</td></tr><tr><td>第5回:環境調整技術 2.援助の実際</td><td>西田 香織</td></tr><tr><td>第6回 :ベッドメイキング(リネン交換)(演習)</td><td>西田 香織</td></tr><tr><td>第7回 : 感染予防の定義、感染予防における看護師の責務と役割</td><td>有川 幸宏</td></tr><tr><td>第8回 : 感染予防対策の基本、感染経路別予防策</td><td>有川 幸宏</td></tr><tr><td>第9回 : 医療器具の取り扱い、感染性廃棄物の取り扱い、無菌操作、針刺し事故防止 カテーテル関連血流感染対針刺し事故防止</td><td>有川 幸宏</td></tr><tr><td>第10回、11回 : 感染予防:手洗い・無菌操作・ガウンテクニック(演習)</td><td>有川 幸宏</td></tr><tr><td>第12回 : 医療事故と医療過誤、看護における安全の意義、安全を守るための基礎知識</td><td>有川 幸宏</td></tr><tr><td>第13回 : 看護事故の内容と原因、看護事故を起こさないための対策</td><td>有川 幸宏</td></tr><tr><td>第14回 : 安全管理にむけての取り組み、看護師に求められる行動、看護師の法的責任</td><td>有川 幸宏</td></tr><tr><td>第15回 : 終講試験・まとめ</td><td>西田 香織 有川 幸宏</td></tr></table>				〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉	第1回:看護技術とは何か 1.技術とは何か 2.看護技術の特徴・範囲 3.看護技術を適切に実践するための要素 4.看護技術の発展と修得のために	西田 香織	第2回、第3回、第4回:環境調整技術 1.援助の基礎知識、病室環境のアセスメントと調整	西田 香織	第5回:環境調整技術 2.援助の実際	西田 香織	第6回 :ベッドメイキング(リネン交換)(演習)	西田 香織	第7回 : 感染予防の定義、感染予防における看護師の責務と役割	有川 幸宏	第8回 : 感染予防対策の基本、感染経路別予防策	有川 幸宏	第9回 : 医療器具の取り扱い、感染性廃棄物の取り扱い、無菌操作、針刺し事故防止 カテーテル関連血流感染対針刺し事故防止	有川 幸宏	第10回、11回 : 感染予防:手洗い・無菌操作・ガウンテクニック(演習)	有川 幸宏	第12回 : 医療事故と医療過誤、看護における安全の意義、安全を守るための基礎知識	有川 幸宏	第13回 : 看護事故の内容と原因、看護事故を起こさないための対策	有川 幸宏	第14回 : 安全管理にむけての取り組み、看護師に求められる行動、看護師の法的責任	有川 幸宏	第15回 : 終講試験・まとめ	西田 香織 有川 幸宏
〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉																													
第1回:看護技術とは何か 1.技術とは何か 2.看護技術の特徴・範囲 3.看護技術を適切に実践するための要素 4.看護技術の発展と修得のために	西田 香織																													
第2回、第3回、第4回:環境調整技術 1.援助の基礎知識、病室環境のアセスメントと調整	西田 香織																													
第5回:環境調整技術 2.援助の実際	西田 香織																													
第6回 :ベッドメイキング(リネン交換)(演習)	西田 香織																													
第7回 : 感染予防の定義、感染予防における看護師の責務と役割	有川 幸宏																													
第8回 : 感染予防対策の基本、感染経路別予防策	有川 幸宏																													
第9回 : 医療器具の取り扱い、感染性廃棄物の取り扱い、無菌操作、針刺し事故防止 カテーテル関連血流感染対針刺し事故防止	有川 幸宏																													
第10回、11回 : 感染予防:手洗い・無菌操作・ガウンテクニック(演習)	有川 幸宏																													
第12回 : 医療事故と医療過誤、看護における安全の意義、安全を守るための基礎知識	有川 幸宏																													
第13回 : 看護事故の内容と原因、看護事故を起こさないための対策	有川 幸宏																													
第14回 : 安全管理にむけての取り組み、看護師に求められる行動、看護師の法的責任	有川 幸宏																													
第15回 : 終講試験・まとめ	西田 香織 有川 幸宏																													
評価方法	終講試験 知識(筆記試験:西田 40%・有川 40%)80%、技術(技術到達確認:ベッドメイキング)20%を総合的 に評価する。																													
指定図書	1. 系統別看護学講座 専門分野 基礎看護学[2] 基礎看護技術Ⅰ 医学書院 2. 系統別看護学講座 専門分野 基礎看護学[3] 基礎看護技術Ⅱ 医学書院 3. 看護技術プラクティス 第4版 学研																													
参考書	1. 看護技術がみえる vol1・2 MEDIC MEDIA 2. 看護技術講義・演習ノート上巻・下巻 サイオ出版 3. 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 医学書院																													
事前・ 事後学修	看護技術は、反復することで修得へ繋がる。学んだことをしっかり復習するとともに、根拠を踏まえた 学習を行う。また、演習にも積極的に参加し、知識と共に技術を修得するよう吟味的視点を持つ。																													
実務経験のある 教員による 実践的授業	看護師として、豊富な実務経験をふまえ、看護実践の基盤となる基本的技術について授業・演習を 行う。																													

専門分野 基礎看護学

科目名	基礎看護技術Ⅱ (生活援助技術①)	単位 1	時間 30	開校年次 1 年次 通年
科目責任者	福丸 隼太 五反田聖子			
科目概要	一般的な人間関係の在り方から看護場面での専門的な援助関係において、コミュニケーションが円滑になるよう様々なコミュニケーション技術を学習する。また、それらのコミュニケーション技法を活かし、患者-看護師関係と看護師の関わりについて学ぶ。			
到達目標	1. コミュニケーションの概念について理解できる。 2. コミュニケーションの分類について学習し、コミュニケーションの特性について理解できる。 3. コミュニケーションのプロセスに影響する要因について理解できる。 4. コミュニケーション技術について理解し看護に活用できる。			
授業計画	〈授業内容・テーマ等〉 第 1 回 : コミュニケーションの概念 第 2 回 : コミュニケーションの分類 第 3 回 : コミュニケーションのプロセスに影響する要因 第 4 回 : コミュニケーションセンスを磨く技術(聴く・話す) 第 5 回 : コミュニケーションセンスを磨く技術(共感的理解) 第 6 回 : コミュニケーションセンスを磨く技術(読みとることと表現すること) 第 7 回 : コミュニケーションセンスを磨く技術(アサーション) 第 8 回 : コミュニケーションセンスを磨く技術(相手を知り、相手を活かす) 第 9 回 ; プロセスレコードの概要 第 10 回 ; プロセスレコードの活用方法 第 11 回 ; 看護におけるカンファレンスの意義 第 12 回 ; 臨地実習後のコミュニケーションの振り返り 第 13 回 ; 臨地実習における事例を通してのコミュニケーション【演習】 第 14 回 ; 臨地実習における事例を通してのコミュニケーション【演習】 第 15 回 ; 終講試験, まとめ 〈担当教員名〉 福丸 隼太 福丸 隼太 福丸 隼太 福丸 隼太 福丸 隼太 福丸 隼太 福丸 隼太 福丸 隼太 五反田聖子 五反田聖子 五反田聖子 福丸 隼太 五反田聖子 福丸 隼太 五反田聖子 福丸 隼太 五反田聖子 福丸 隼太 五反田聖子			
評価方法	評価の基準は、以下のとおりとする。 【筆記試験】 終講試験 80 点 【レポート】 授業内レポートおよび課題(臨地実習における事例を通して コミュニケーション演習) 20 点 ＊未提出、提出遅れ、内容が不足している場合は減点する			
指定図書	1. 系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護技術Ⅰ 基礎看護学Ⅱ 医学書院			
参考書	1. 看護実践のための根拠がわかる看護技術 メヂカルフレンド社			
事前・事後学修	基礎看護学実習Ⅰ-2 の実習終了後コミュニケーション演習を行うため、日常生活において机上で学習したコミュニケーション技法を意識しながらコミュニケーション能力の向上に努める。			
実務経験のある教員による実践的授業	看護師として、豊富な実務経験をふまえ、看護実践の基盤となるコミュニケーション技術について授業・演習を行う。			

専門分野 基礎看護学

科目名	基礎看護技術Ⅲ (生活援助技術②)	単位 1	時間 30	開校年次 1 年次 前期																																
科目責任者	五反田聖子 西崎 愛美																																			
科目概要	排泄援助の基礎知識として、「排泄の意義」と「排尿・排便のメカニズム」を確認し、対象者の状態に応じた援助を決定するための「アセスメント」「自然排尿・自然排便の援助の方法」を学び、さらに演習を通して、医療上必要な場合に行う「導尿」「浣腸」についても学習していく。 日常生活行動援助技術の食事援助の基礎知識を学び、演習を通して「食事介助」の方法を習得する。また、摂食・嚥下機能の低下や経口的に栄養摂取ができない場合の「摂食・嚥下訓練について」や「非経口的栄養摂取の援助」について学ぶ。																																			
到達目標	1. 排泄の意義・援助の方法について理解できる。 2. 排尿・排便に対する基本的技術を習得できる。 3. 食事の意義を理解し、安全・安楽を守るための基本的技術を習得できる。																																			
授業計画	<table><tr><td>〈授業内容・テーマ等〉</td><td>〈担当教員名〉</td></tr><tr><td>第1回：排泄の意義・メカニズムについて理解できる</td><td>五反田聖子</td></tr><tr><td>第2回：排泄の援助を実践するための基礎知識を理解できる</td><td>五反田聖子</td></tr><tr><td>第3回：排尿障害と排尿障害の援助の方法について理解できる</td><td>五反田聖子</td></tr><tr><td>第4回：排便障害と排便障害の援助の方法について理解できる</td><td>五反田聖子</td></tr><tr><td>第5回：排便障害と排便障害の援助の方法について理解できる</td><td>五反田聖子</td></tr><tr><td>第6回：演習：便器・尿器を用いた援助(自然排便・排尿)、浣腸、導尿</td><td>五反田聖子</td></tr><tr><td>第7回：演習：便器・尿器を用いた援助(自然排便・排尿)、浣腸、導尿</td><td>五反田聖子</td></tr><tr><td>第8回：食事における食事生活について理解できる</td><td>西崎 愛美</td></tr><tr><td>第9回：食生活の基本援助についての基礎知識について理解できる</td><td>西崎 愛美</td></tr><tr><td>第10回：疾病時の食事援助について</td><td>西崎 愛美</td></tr><tr><td>第11回：食事介助の方法について</td><td>西崎 愛美</td></tr><tr><td>第12回：非経口栄養法について</td><td>西崎 愛美</td></tr><tr><td>第13回：演習：患者への食事援助について</td><td>西崎 愛美</td></tr><tr><td>第14回：演習：視覚障害や体位が制限される患者の食事援助について</td><td>西崎 愛美</td></tr><tr><td>第15回：終講試験・まとめ</td><td>五反田聖子 西崎 愛美</td></tr></table>				〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉	第1回：排泄の意義・メカニズムについて理解できる	五反田聖子	第2回：排泄の援助を実践するための基礎知識を理解できる	五反田聖子	第3回：排尿障害と排尿障害の援助の方法について理解できる	五反田聖子	第4回：排便障害と排便障害の援助の方法について理解できる	五反田聖子	第5回：排便障害と排便障害の援助の方法について理解できる	五反田聖子	第6回：演習：便器・尿器を用いた援助(自然排便・排尿)、浣腸、導尿	五反田聖子	第7回：演習：便器・尿器を用いた援助(自然排便・排尿)、浣腸、導尿	五反田聖子	第8回：食事における食事生活について理解できる	西崎 愛美	第9回：食生活の基本援助についての基礎知識について理解できる	西崎 愛美	第10回：疾病時の食事援助について	西崎 愛美	第11回：食事介助の方法について	西崎 愛美	第12回：非経口栄養法について	西崎 愛美	第13回：演習：患者への食事援助について	西崎 愛美	第14回：演習：視覚障害や体位が制限される患者の食事援助について	西崎 愛美	第15回：終講試験・まとめ	五反田聖子 西崎 愛美
〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉																																			
第1回：排泄の意義・メカニズムについて理解できる	五反田聖子																																			
第2回：排泄の援助を実践するための基礎知識を理解できる	五反田聖子																																			
第3回：排尿障害と排尿障害の援助の方法について理解できる	五反田聖子																																			
第4回：排便障害と排便障害の援助の方法について理解できる	五反田聖子																																			
第5回：排便障害と排便障害の援助の方法について理解できる	五反田聖子																																			
第6回：演習：便器・尿器を用いた援助(自然排便・排尿)、浣腸、導尿	五反田聖子																																			
第7回：演習：便器・尿器を用いた援助(自然排便・排尿)、浣腸、導尿	五反田聖子																																			
第8回：食事における食事生活について理解できる	西崎 愛美																																			
第9回：食生活の基本援助についての基礎知識について理解できる	西崎 愛美																																			
第10回：疾病時の食事援助について	西崎 愛美																																			
第11回：食事介助の方法について	西崎 愛美																																			
第12回：非経口栄養法について	西崎 愛美																																			
第13回：演習：患者への食事援助について	西崎 愛美																																			
第14回：演習：視覚障害や体位が制限される患者の食事援助について	西崎 愛美																																			
第15回：終講試験・まとめ	五反田聖子 西崎 愛美																																			
評価方法	終講試験 80% (排泄 40%、食事 40%)、 技術 10% (演習)、態度 10% (提出物・取り組み)を総合的に評価する。																																			
指定図書	1. 系統別看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学[2]基礎看護技術Ⅰ 医学書院 2. 実践するヘルスアセスメント 身体の構造と機能からアセスメントを導く 学研																																			
参考書	1. 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 医学書院 2. 看護学生のためのヘルス・アセスメントハンドブック 改訂4版 メディカ出版																																			
事前・事後学修	演習にてグループワークや実際に技術演習を行います。講義での振り返りやグループ間での情報共有を行い、臨みましょう。																																			
実務経験のある教員による実践的授業	看護師として豊富な実務経験をふまえ、排泄・食事の基本的技術について授業・演習を行う。																																			

科目名	基礎看護技術Ⅳ (生活援助技術③)	単位 1	時間 30	開講年次 1年次 前期
科目責任者	福丸 隼太 西田 香織			
科目概要	活動・休息 看護技術における安全・安楽の意義を理解し効果的な動きのための技術を習得する。活動・運動・休息・睡眠の意義を学ぶ。運動を援助する技術の必要性を学び、体位変換における基本的技術を習得する。休息・睡眠を促す技術を学ぶ。 清潔・衣生活 人間にとっての「清潔」「衣生活」の意義を理解し、健康の充足・維持増進のために必要な基本的知識・技術を習得する。また、安全・安楽な援助を提供するための技術を習得する。			
到達目標	1. 活動・休息の意義を理解し、基本的な技術を習得できる。 2. 清潔の意義と衣生活を理解し、基本的な技術を習得する。			
授業計画	〈授業内容・テーマ等〉 〈担当教員名〉 活動・休息(15 時間) 第 1 回 : 活動 1. 安全・安楽で効果的な動きのための技術 福丸 隼太 1) ボディメカニクス 2) 重心と安定性 3) ボディメカニクスに影響を与える因子 4) 看護行為におけるボディメカニクス 5) 患者のボディメカニクス 第 2 回 : 活動 2. 人間と運動 福丸 隼太 1) 運動への援助の意味 2) 運動が人間に与える影響 3) 長期の臥床状態による影響 4) 長期の臥床状態による障害の評価 第 3 回 : 運動の援助 福丸 隼太 1) 姿勢・体位の保持 (1) 立位 (2) 座位 (3) 臥位(仰臥位・側臥位・腹臥位) 2) 体位変換と褥瘡予防 (1) 体位変換の目的と留意点 第 4 回 : 運動の援助 演習 福丸 隼太 2) 体位変換と褥瘡予防 (2) 水平移動 ① 仰臥位から側臥位 ② 仰臥位から座位 ③ 座位から端座位 (3) 褥瘡予防 第 5 回 : 運動の援助 演習 福丸 隼太 3) 移動 (1) 車いす及びストレッチャーの操作方法 (2) ベッドから車椅子への移動 (3) ベッドからストレッチャーへの移動 第 6 回 : 運動の援助 演習・まとめ 福丸 隼太 第 7 回 : 2. 休息 1. 睡眠を促すための技術 福丸 隼太 1) 休息・睡眠の意義 2) 休息・睡眠の与える影響・意味 3) 休息・睡眠を促す援助 第 8 回 : 終講試験 福丸 隼太 清潔・衣生活(15 時間) 第 1 回 : 清潔の基礎知識、清潔・衣服の意義、皮膚・粘膜の構造と機能 西田 香織 身体の清潔における看護師の役割 第 2 回 : 清潔の構成要素、清潔に関するフィジカルアセスメント 西田 香織 入浴・シャワー浴の援助方法 第 3 回 : 洗髪の方法・留意点・手順、口腔ケアの方法・留意点・手順 西田 香織 第 4 回 : 洗髪の方法・演習 第 5 回 : 全身清拭の方法・留意点・手順、寝衣交換の方法・留意点・手順 西田 香織 第 6 回 : 陰部洗浄の方法・留意点・手順 身だしなみ・整容援助の方法・留意点・手順 西田 香織 第 7 回 : 手浴・足浴の方法・留意点・手順 西田 香織 第 8 回 : 終講試験 西田 香織			

評価方法	終講試験 知識(筆記試験):50% 技術試験:40%(車椅子移乗・移送 20%、清拭・寝衣交換、洗髪、陰部洗浄、手浴・足浴 20%) 態度(取り組み、提出物、出席状況):10% を総合的に評価する。
指定図書	1. 系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[3] 基礎看護技術Ⅱ 医学書院 2. 看護技術プラクティス 第4版 学研 ※動画で技術の確認もできます。 ① iPad 内の動画の視聴も取り入れ、学習を行ってください ② 副読本はQRコードを読み取り、アクセスしてください
参考書	活動・休息 1. イラストで学ぶ 看護人間工学 東京電機大学出版局 2. 学ぶ・活かす・共有する看護ケアの根拠と技術 第3版 (株)医歯薬出版 清潔・衣生活 1. 看護学テキスト Nice 基礎看護技術 看護過程のなかで技術を理解する 改定第2版 南江堂 2. 看護が見えるvol.1 基礎看護技術 メディックメディア 3. 新改訂 看護技術 講義・演習ノート 第2版 下巻 診療に伴う看護技術篇 サイオ出版
事前・事後学修	活動・休息 第3回～第6回の基礎看護技術演習は、事例に沿って、学生各自が移動手順書を作成し事前学習を行う。そのうえで科学的根拠を基に、生活の場に即した日常生活行動援助についてグループワーク演習を行い活発な意見交換を行う。 清潔・衣生活 全身清拭・寝衣交換、洗髪、陰部洗浄、手浴・足浴は技術到達確認を行う。健康障害をもつ対象に安全で安楽な技術が提供できるよう、動画の視聴や、練習を重ね技術の習得に努める。
実務経験のある教員による実践的授業	看護師として豊富な実務経験をふまえ、活動・休息、清潔の基本的技術について授業・演習を行う。

専門分野 基礎看護学

科目名	基礎看護技術Ⅴ (ヘルスアセスメント)	単位 1	時間 30	開校年次 1 年次 通年																																
科目責任者	有川 幸宏 土門真理子																																			
科目概要	看護に必要となる対象者の身体的な情報を収集するため、正しいバイタルサイン測定技術を身に付け、正確な値を基に生命の兆候を捉える。また、フィジカルアセスメントにて五感を活用し、系統別に DVD 視聴やシミュレーターを活用し基本的な身体診査技術を学ぶ。さらに生活者の健康査定には身体面だけでなく精神面、社会面も含め事例演習を通して考えることでアセスメント能力を高める。																																			
到達目標	1. 対象の健康状態を評価する意義と方法を理解する。 2. 対象の健康状態を把握し、適切な看護を提供するために的確なアセスメント方法を修得する。 3. 看護における記録・方法・報告の意義と方法を理解し実践できる。																																			
授業計画	<table><tr><td>〈授業内容・テーマ等〉</td><td>〈担当教員名〉</td></tr><tr><td>第 1 回 :フィジカルアセスメントの実際 バイタルサイン測定の基礎知識① 体温測定</td><td>土門真理子</td></tr><tr><td>第 2 回 :バイタルサイン測定の基礎知識② 脈拍測定、呼吸測定</td><td>土門真理子</td></tr><tr><td>第 3 回 :バイタルサイン測定の基礎知識③ 血圧測定</td><td>土門真理子</td></tr><tr><td>第 4 回 :バイタルサイン測定の基礎知識④ 血圧測定、意識</td><td>土門真理子</td></tr><tr><td>第 5 回 :バイタルサイン測定の技術 DVD 視聴・演習</td><td>土門真理子</td></tr><tr><td>第 6 回 :ヘルスアセスメントの意義と目的 観察・測定・記録・報告</td><td>土門真理子</td></tr><tr><td>第 7 回 :フィジカルアセスメントの基礎知識</td><td>有川 幸宏</td></tr><tr><td>第 8 回 :フィジカルアセスメントの基本技術 視診、触診、打診、聴診</td><td>有川 幸宏</td></tr><tr><td>第 9 回 :フィジカルイグザミネーション(系統別)技術① 循環器系</td><td>有川 幸宏</td></tr><tr><td>第 10 回:フィジカルイグザミネーション(系統別)技術② 呼吸器系</td><td>有川 幸宏</td></tr><tr><td>第 11 回:フィジカルイグザミネーション(系統別)技術③ 消化器系</td><td>有川 幸宏</td></tr><tr><td>第 12 回:フィジカルイグザミネーション(系統別)技術④ 神経系</td><td>有川 幸宏</td></tr><tr><td>第 13 回:フィジカルイグザミネーション(系統別)技術⑤ DVD 視聴・演習</td><td>有川 幸宏</td></tr><tr><td>第 14 回:ヘルスアセスメントの実践 事例演習(身体計測、シミュレーター)</td><td>有川 幸宏 土門真理子</td></tr><tr><td>第 15 回:終講試験・まとめ</td><td>有川 幸宏 土門真理子</td></tr></table>				〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉	第 1 回 :フィジカルアセスメントの実際 バイタルサイン測定の基礎知識① 体温測定	土門真理子	第 2 回 :バイタルサイン測定の基礎知識② 脈拍測定、呼吸測定	土門真理子	第 3 回 :バイタルサイン測定の基礎知識③ 血圧測定	土門真理子	第 4 回 :バイタルサイン測定の基礎知識④ 血圧測定、意識	土門真理子	第 5 回 :バイタルサイン測定の技術 DVD 視聴・演習	土門真理子	第 6 回 :ヘルスアセスメントの意義と目的 観察・測定・記録・報告	土門真理子	第 7 回 :フィジカルアセスメントの基礎知識	有川 幸宏	第 8 回 :フィジカルアセスメントの基本技術 視診、触診、打診、聴診	有川 幸宏	第 9 回 :フィジカルイグザミネーション(系統別)技術① 循環器系	有川 幸宏	第 10 回:フィジカルイグザミネーション(系統別)技術② 呼吸器系	有川 幸宏	第 11 回:フィジカルイグザミネーション(系統別)技術③ 消化器系	有川 幸宏	第 12 回:フィジカルイグザミネーション(系統別)技術④ 神経系	有川 幸宏	第 13 回:フィジカルイグザミネーション(系統別)技術⑤ DVD 視聴・演習	有川 幸宏	第 14 回:ヘルスアセスメントの実践 事例演習(身体計測、シミュレーター)	有川 幸宏 土門真理子	第 15 回:終講試験・まとめ	有川 幸宏 土門真理子
〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉																																			
第 1 回 :フィジカルアセスメントの実際 バイタルサイン測定の基礎知識① 体温測定	土門真理子																																			
第 2 回 :バイタルサイン測定の基礎知識② 脈拍測定、呼吸測定	土門真理子																																			
第 3 回 :バイタルサイン測定の基礎知識③ 血圧測定	土門真理子																																			
第 4 回 :バイタルサイン測定の基礎知識④ 血圧測定、意識	土門真理子																																			
第 5 回 :バイタルサイン測定の技術 DVD 視聴・演習	土門真理子																																			
第 6 回 :ヘルスアセスメントの意義と目的 観察・測定・記録・報告	土門真理子																																			
第 7 回 :フィジカルアセスメントの基礎知識	有川 幸宏																																			
第 8 回 :フィジカルアセスメントの基本技術 視診、触診、打診、聴診	有川 幸宏																																			
第 9 回 :フィジカルイグザミネーション(系統別)技術① 循環器系	有川 幸宏																																			
第 10 回:フィジカルイグザミネーション(系統別)技術② 呼吸器系	有川 幸宏																																			
第 11 回:フィジカルイグザミネーション(系統別)技術③ 消化器系	有川 幸宏																																			
第 12 回:フィジカルイグザミネーション(系統別)技術④ 神経系	有川 幸宏																																			
第 13 回:フィジカルイグザミネーション(系統別)技術⑤ DVD 視聴・演習	有川 幸宏																																			
第 14 回:ヘルスアセスメントの実践 事例演習(身体計測、シミュレーター)	有川 幸宏 土門真理子																																			
第 15 回:終講試験・まとめ	有川 幸宏 土門真理子																																			
評価方法	終講試験: 知識(筆記試験:有川 40%・金丸 40%)80%、技術(実技試験 バイタルサイン測定)20%を総合的に評価する。																																			
指定図書	1. 系統別看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学[2]基礎看護技術Ⅰ 医学書院 2. 実践するヘルスアセスメント 身体の構造と機能からアセスメントを導く 学研																																			
参考書	1. 根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 医学書院 2. 看護学生のためのヘルス・アセスメントハンドブック 改訂 4 版 メディカ出版																																			
事前・事後学修	実践の基礎的知識と基本技術を学習する。講義と演習を繰り返しながら、実践を結び付け理解を深め、バイタルサイン測定技術やフィジカルアセスメント能力を身につけられることができる。予習・復習、課題の提出期限を遵守し、必要な器具や身だしなみを整えて授業に臨むこと。																																			
実務経験のある教員による実践的授業	看護師として豊富な実務経験をふまえ、フィジカルアセスメントの基本的技術について授業・演習を行う。																																			

専門分野 基礎看護学

科目名	基礎看護技術Ⅵ (診療・検査の援助①)	1 単位	30 時間	開校年次 2年次 後期																														
科目責任者	五反田聖子																																	
科目概要	看護師の役割である診療の補助について、治療・処置に伴う危険性、法的責任を理解し、安全・安楽な援助方法を学ぶ。侵襲のある治療・検査・処置における看護師の役割を学び、演習を通して、看護援助技術を学習する。																																	
到達目標	1. 検査・診療の基礎知識を理解し実施方法を学び演習を基に実践できる。 2. 治療・検査の種類とその内容を理解し、検査・治療を受ける患者への安全・安楽な看護援助を習得できる。																																	
授業計画	<table><tr><td>〈授業内容・テーマ等〉</td><td>〈担当教員名〉</td></tr><tr><td>第1回 : 診察・検査の意義、目的</td><td>五反田聖子</td></tr><tr><td>第2回 : 検査、処置における実施方法① (X 線撮影、上部消化管造影検査)</td><td>五反田聖子</td></tr><tr><td>第3回 : 検査、処置における実施方法② (CT 検査、MRI 検査)</td><td>五反田聖子</td></tr><tr><td>第4回 : 検査、処置における実施方法③ (上部消化管内視鏡検査・下部消化管内視鏡検査)</td><td>五反田聖子</td></tr><tr><td>第5回 : 検査、処置における実施方法④ (超音波検査、肺機能検査)</td><td>五反田聖子</td></tr><tr><td>第6回 : 穿刺における看護師の役割、診療時の補助①(胸腔穿刺・腹腔穿刺)</td><td>五反田聖子</td></tr><tr><td>第7回 : 穿刺における看護師の役割、診療時の補助②(腰椎穿刺・骨髄穿刺)</td><td>五反田聖子</td></tr><tr><td>第8回 : 検体検査・生体検査の基礎知識</td><td>五反田聖子</td></tr><tr><td>第9回 : 検体検査の方法、技術(尿検査・便検査・喀痰検査)</td><td>五反田聖子</td></tr><tr><td>第10・11 回: 検体検査の方法、技術(血液検査)</td><td>五反田聖子</td></tr><tr><td>第12回: 検体検査の方法、技術演習(血液検査)</td><td>五反田聖子</td></tr><tr><td>第13回: 生体検査の方法、技術(心電図検査)</td><td>五反田聖子</td></tr><tr><td>第14回: 生体検査の方法、技術演習(心電図検査)</td><td>五反田聖子</td></tr><tr><td>第15回: 終講試験・まとめ</td><td>五反田聖子</td></tr></table>				〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉	第1回 : 診察・検査の意義、目的	五反田聖子	第2回 : 検査、処置における実施方法① (X 線撮影、上部消化管造影検査)	五反田聖子	第3回 : 検査、処置における実施方法② (CT 検査、MRI 検査)	五反田聖子	第4回 : 検査、処置における実施方法③ (上部消化管内視鏡検査・下部消化管内視鏡検査)	五反田聖子	第5回 : 検査、処置における実施方法④ (超音波検査、肺機能検査)	五反田聖子	第6回 : 穿刺における看護師の役割、診療時の補助①(胸腔穿刺・腹腔穿刺)	五反田聖子	第7回 : 穿刺における看護師の役割、診療時の補助②(腰椎穿刺・骨髄穿刺)	五反田聖子	第8回 : 検体検査・生体検査の基礎知識	五反田聖子	第9回 : 検体検査の方法、技術(尿検査・便検査・喀痰検査)	五反田聖子	第10・11 回: 検体検査の方法、技術(血液検査)	五反田聖子	第12回: 検体検査の方法、技術演習(血液検査)	五反田聖子	第13回: 生体検査の方法、技術(心電図検査)	五反田聖子	第14回: 生体検査の方法、技術演習(心電図検査)	五反田聖子	第15回: 終講試験・まとめ	五反田聖子
〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉																																	
第1回 : 診察・検査の意義、目的	五反田聖子																																	
第2回 : 検査、処置における実施方法① (X 線撮影、上部消化管造影検査)	五反田聖子																																	
第3回 : 検査、処置における実施方法② (CT 検査、MRI 検査)	五反田聖子																																	
第4回 : 検査、処置における実施方法③ (上部消化管内視鏡検査・下部消化管内視鏡検査)	五反田聖子																																	
第5回 : 検査、処置における実施方法④ (超音波検査、肺機能検査)	五反田聖子																																	
第6回 : 穿刺における看護師の役割、診療時の補助①(胸腔穿刺・腹腔穿刺)	五反田聖子																																	
第7回 : 穿刺における看護師の役割、診療時の補助②(腰椎穿刺・骨髄穿刺)	五反田聖子																																	
第8回 : 検体検査・生体検査の基礎知識	五反田聖子																																	
第9回 : 検体検査の方法、技術(尿検査・便検査・喀痰検査)	五反田聖子																																	
第10・11 回: 検体検査の方法、技術(血液検査)	五反田聖子																																	
第12回: 検体検査の方法、技術演習(血液検査)	五反田聖子																																	
第13回: 生体検査の方法、技術(心電図検査)	五反田聖子																																	
第14回: 生体検査の方法、技術演習(心電図検査)	五反田聖子																																	
第15回: 終講試験・まとめ	五反田聖子																																	
評価方法	終講試験 80% 提出物・出席状況・態度など 20%を総合的に評価する。																																	
指定図書	1. 系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学[3]基礎看護技術Ⅱ 医学書院 2. 根拠と事故防止からみた 基礎・臨床看護技術 医学書院																																	
参考書	1.看護学テキスト NICE 基礎看護技術 看護過程のなかで技術を理解する 南江堂																																	
事前・事後学修	授業内容に関連した教科書の章を事前によく読んでから参加してください。 事前学習課題の実施、科目内容の把握、演習技術の動画視聴をして演習に臨んでください。																																	
実務経験のある教員による実践的授業	看護師として豊富な実務経験をふまえ、臨床で行う検査・処置および各検査の援助について授業・演習を行う。																																	

専門分野 基礎看護学

科目名	基礎看護技術Ⅶ (診療・検査の援助②)	1 単位	30 時間	開校年次 2 年次 前期																																
科目責任者	有川 幸宏																																			
科目概要	看護師の役割である診療の補助について、治療・処置に伴う危険性、法的責任を理解し、安全・安楽な援助方法を学ぶ。また与薬や輸血における看護援助や副作用を理解する。包帯法における看護師の役割を学び、演習を通して、看護援助技術を学習する。																																			
到達目標	1. 正しい与薬、薬剤の管理方法を理解できる。 2. 与薬経路の特徴を理解し援助の実際を学ぶ。 3. 注射の基礎知識を理解し実施方法を学び演習を基に実践できる。 4. 輸血管理の基礎知識を理解し、援助の実際を学ぶ。 5. 包帯法の基礎を理解し、巻軸法、三角巾を用いた方法を学び、実践できる。																																			
授業計画	<table><tr><td>〈授業内容・テーマ等〉</td><td>〈担当教員名〉</td></tr><tr><td>第1回：与薬の基本知識</td><td>有川 幸宏</td></tr><tr><td>第2回：与薬援助の基本知識(経口与薬、口腔内与薬、吸入、点眼)</td><td>有川 幸宏</td></tr><tr><td>第3回：与薬援助の基本知識(点鼻、経皮的与薬、直腸内与薬)</td><td>有川 幸宏</td></tr><tr><td>第4回：注射の基礎知識</td><td>有川 幸宏</td></tr><tr><td>第5回：注射の実施方法(皮下注射、皮内注射、筋肉注射、静脈内注射)</td><td>有川 幸宏</td></tr><tr><td>第6回：アンプル・バイアルの準備、滴下計算</td><td>有川 幸宏</td></tr><tr><td>第7回：翼状針、静脈留置針による点滴静脈内注射</td><td>有川 幸宏</td></tr><tr><td>第8回：中心静脈カテーテルの介助・カテーテル関連血流感染の基礎知識</td><td>有川 幸宏</td></tr><tr><td>第9回：輸液ポンプ・シリンジポンプの取り扱いの演習</td><td>有川 幸宏</td></tr><tr><td>第10回：ミキシング・プライミング・静脈内注射の演習</td><td>有川 幸宏</td></tr><tr><td>第11回：輸血管理・輸血による副作用</td><td>有川 幸宏</td></tr><tr><td>第12回：技術演習(アンプルカット・バイアルからの吸い上げ筋肉注射)</td><td>有川 幸宏</td></tr><tr><td>第13回：包帯法の基礎知識について</td><td>有川 幸宏</td></tr><tr><td>第14回：包帯法の技術演習</td><td>有川 幸宏</td></tr><tr><td>第15回：終講試験・まとめ</td><td>有川 幸宏</td></tr></table>				〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉	第1回：与薬の基本知識	有川 幸宏	第2回：与薬援助の基本知識(経口与薬、口腔内与薬、吸入、点眼)	有川 幸宏	第3回：与薬援助の基本知識(点鼻、経皮的与薬、直腸内与薬)	有川 幸宏	第4回：注射の基礎知識	有川 幸宏	第5回：注射の実施方法(皮下注射、皮内注射、筋肉注射、静脈内注射)	有川 幸宏	第6回：アンプル・バイアルの準備、滴下計算	有川 幸宏	第7回：翼状針、静脈留置針による点滴静脈内注射	有川 幸宏	第8回：中心静脈カテーテルの介助・カテーテル関連血流感染の基礎知識	有川 幸宏	第9回：輸液ポンプ・シリンジポンプの取り扱いの演習	有川 幸宏	第10回：ミキシング・プライミング・静脈内注射の演習	有川 幸宏	第11回：輸血管理・輸血による副作用	有川 幸宏	第12回：技術演習(アンプルカット・バイアルからの吸い上げ筋肉注射)	有川 幸宏	第13回：包帯法の基礎知識について	有川 幸宏	第14回：包帯法の技術演習	有川 幸宏	第15回：終講試験・まとめ	有川 幸宏
〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉																																			
第1回：与薬の基本知識	有川 幸宏																																			
第2回：与薬援助の基本知識(経口与薬、口腔内与薬、吸入、点眼)	有川 幸宏																																			
第3回：与薬援助の基本知識(点鼻、経皮的与薬、直腸内与薬)	有川 幸宏																																			
第4回：注射の基礎知識	有川 幸宏																																			
第5回：注射の実施方法(皮下注射、皮内注射、筋肉注射、静脈内注射)	有川 幸宏																																			
第6回：アンプル・バイアルの準備、滴下計算	有川 幸宏																																			
第7回：翼状針、静脈留置針による点滴静脈内注射	有川 幸宏																																			
第8回：中心静脈カテーテルの介助・カテーテル関連血流感染の基礎知識	有川 幸宏																																			
第9回：輸液ポンプ・シリンジポンプの取り扱いの演習	有川 幸宏																																			
第10回：ミキシング・プライミング・静脈内注射の演習	有川 幸宏																																			
第11回：輸血管理・輸血による副作用	有川 幸宏																																			
第12回：技術演習(アンプルカット・バイアルからの吸い上げ筋肉注射)	有川 幸宏																																			
第13回：包帯法の基礎知識について	有川 幸宏																																			
第14回：包帯法の技術演習	有川 幸宏																																			
第15回：終講試験・まとめ	有川 幸宏																																			
評価方法	終講試験 80% 技術 10%(演習)、態度 10%(出席・取り組み)を総合的に評価する。																																			
指定図書	1. 系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学[3]基礎看護技術Ⅱ 医学書院 2. 根拠と事故防止からみた 基礎・臨床看護技術 医学書院																																			
参考書	1. 看護学テキスト NICE 基礎看護技術 看護過程のなかで技術を理解する 南江堂																																			
事前・事後学修	授業内容に関連した教科書の章を事前によく読んでから参加してください。 事前学修課題の実施、科目内容の把握、演習技術の動画視聴をして演習に臨んでください。																																			
実務経験のある教員による実践的授業	看護師としての豊富な実務経験をふまえ、診療に伴う与薬の基礎について講義・演習を行う。																																			

専門分野 基礎看護学

科目名	看護過程論(看護過程・アセスメント技術)	単位 1	時間 30	開校年次 1 年次 通年																								
科目責任者	五反田 聖子 西田 香織																											
科目概要	看護の質向上を図る為、看護過程における概念、構成要素、看護上の問題を明確にする理由・方法を学習し、個別的な看護計画の立案、評価の視点の知識を得る。																											
到達目標	1. 看護過程の構成要素を理解する。 2. 模擬患者の看護過程を展開する。																											
授業計画	<table><thead><tr><th>〈授業内容・テーマ等〉</th><th>〈担当教員名〉</th></tr></thead><tbody><tr><td>第 1 回:看護過程の基になる考え方と理論 看護過程とは 1)看護過程とは何か 2)看護過程と問題解決技法 3)看護過程とクリティカルシンキング 4)看護過程と看護理論の関係 5)リフレクション</td><td>五反田聖子</td></tr><tr><td>第 2 回:看護過程の基になる考え方と理論 ヘンダーソン14項目 看護の基本となるもの</td><td>五反田聖子</td></tr><tr><td>第 3 回:看護過程の構成要素(情報収集、情報整理)</td><td>五反田聖子</td></tr><tr><td>第 4 回:看護過程の構成要素(アセスメント)</td><td>五反田聖子</td></tr><tr><td>第 5 回:看護過程の構成要素(全体関連図)</td><td>五反田聖子</td></tr><tr><td>第 6 回:看護過程の構成要素(看護診断)</td><td>西田 香織</td></tr><tr><td>第 7 回、第 8 回:看護過程の構成要素(看護計画)</td><td>西田 香織</td></tr><tr><td>第 9 回:看護過程の展開要素(実施、報告と記録)</td><td>西田 香織</td></tr><tr><td>第 10 回:看護過程の構成要素(評価・修正)</td><td>西田 香織</td></tr><tr><td>第 11 回、第 12 回、第 13 回、第 14 回:看護過程事例学習(模擬患者の看護過程)</td><td>五反田聖子 西田 香織</td></tr><tr><td>第 15 回:終講試験</td><td>五反田聖子 西田 香織</td></tr></tbody></table>				〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉	第 1 回:看護過程の基になる考え方と理論 看護過程とは 1)看護過程とは何か 2)看護過程と問題解決技法 3)看護過程とクリティカルシンキング 4)看護過程と看護理論の関係 5)リフレクション	五反田聖子	第 2 回:看護過程の基になる考え方と理論 ヘンダーソン14項目 看護の基本となるもの	五反田聖子	第 3 回:看護過程の構成要素(情報収集、情報整理)	五反田聖子	第 4 回:看護過程の構成要素(アセスメント)	五反田聖子	第 5 回:看護過程の構成要素(全体関連図)	五反田聖子	第 6 回:看護過程の構成要素(看護診断)	西田 香織	第 7 回、第 8 回:看護過程の構成要素(看護計画)	西田 香織	第 9 回:看護過程の展開要素(実施、報告と記録)	西田 香織	第 10 回:看護過程の構成要素(評価・修正)	西田 香織	第 11 回、第 12 回、第 13 回、第 14 回:看護過程事例学習(模擬患者の看護過程)	五反田聖子 西田 香織	第 15 回:終講試験	五反田聖子 西田 香織
〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉																											
第 1 回:看護過程の基になる考え方と理論 看護過程とは 1)看護過程とは何か 2)看護過程と問題解決技法 3)看護過程とクリティカルシンキング 4)看護過程と看護理論の関係 5)リフレクション	五反田聖子																											
第 2 回:看護過程の基になる考え方と理論 ヘンダーソン14項目 看護の基本となるもの	五反田聖子																											
第 3 回:看護過程の構成要素(情報収集、情報整理)	五反田聖子																											
第 4 回:看護過程の構成要素(アセスメント)	五反田聖子																											
第 5 回:看護過程の構成要素(全体関連図)	五反田聖子																											
第 6 回:看護過程の構成要素(看護診断)	西田 香織																											
第 7 回、第 8 回:看護過程の構成要素(看護計画)	西田 香織																											
第 9 回:看護過程の展開要素(実施、報告と記録)	西田 香織																											
第 10 回:看護過程の構成要素(評価・修正)	西田 香織																											
第 11 回、第 12 回、第 13 回、第 14 回:看護過程事例学習(模擬患者の看護過程)	五反田聖子 西田 香織																											
第 15 回:終講試験	五反田聖子 西田 香織																											
評価方法	終講試験:70 点 事例演習:30%(個人ワーク:20%、グループワーク:10%)総合的に評価する。																											
指定図書	1. 系統別看護学講座 専門分野 基礎看護学[2] 基礎看護技術 I 医学書院 2. 看護過程を使ったヘンダーソン看護論の実践 第 5 版 ヌーヴェルヒロカワ 3. ヘンダーソンの基本的看護に関する看護問題リスト 第 5 版 ヌーヴェルヒロカワ																											
事前・事後学修	患者理解における方法の 1 つとして、また全ての看護領域における看護実践の方法論として、学習を積み重ねていけるように自ら取り組むこと。																											
実務経験のある教員による実践的授業	看護師としての豊富な実務経験をふまえ、看護過程の基礎について講義・演習を行う。																											

専門分野 基礎看護学

科目名	臨床看護総論	単位 1	時間 30	開講年次 2 年次 前期
科目責任者	西田 香織			
科目概要	経過別の各期にある対象・家族の身体的、心理的、社会的特徴、それに伴う必要な看護を学ぶ。また、健康障害をもつ対象に必要な援助を学び、事例を通して対象に必要な援助を導く能力を養う。			
到達目標	健康障害を持つ対象を理解し、経過、主要症状および治療処置などの状態に応じて、患者の看護に活用できる能力を養う。			
授業計画	〈授業内容・テーマ等〉 第 1 回：疾病の経過と看護：急性期 第 2 回：疾病の経過と看護：回復期、慢性期 第 3 回：疾病の経過と看護：終末期 第 4 回：主要症状と看護：発熱、発熱を緩和する援助 第 5 回：主要症状と看護：演習 冷罨法・温罨法 第 6 回：主要症状と看護：呼吸困難、呼吸困難を緩和する援助 第 7 回：主要症状と看護：呼吸困難、呼吸困難を緩和する援助 第 8 回：主要症状と看護：浮腫、浮腫を緩和する援助 第 9 回：演習：酸素療法、吸引 第 10 回、第 11 回、第 12 回、第 13 回、第 14 回：総合演習 第 15 回：終講試験・まとめ 〈担当教員名〉 西田 香織 西田 香織 西田 香織 西田 香織 西田 香織 西田 香織 西田 香織 西田 香織 西田 香織 西田 香織 西田 香織			
評価方法	終講試験 70% 事例演習 30% (個人ワーク:20%、グループワーク:10%) 総合的に評価する。			
指定図書	1. 系統看護学講座 専門分野 基礎看護学[4] 臨床看護総論 医学書院 2. 看護過程に沿った対症看護 第4版 病態生理と看護のポイント 学研 3. 疾患別 看護過程の展開 第5版 学研			
参考書	対象者は、生活背景や個人因子がさまざま状況にあります。各専門分野や看護学分野の教科書、副読本等を参考に学習を行ってください。			
事前・事後学修	演習は、シナリオから情報を読み取り、根拠をもとに対象により良い看護を提供するために何が必要か考える。その考えた看護をもとにグループワークを行い、内容を援助案に繋げ、学内でロールプレイを用いた発表を行う。また、ロールプレイで行った援助について活発な意見交換を行う。			
実務経験のある教員による実践的授業	看護師としての豊富な実務経験をふまえ、主要症状と看護及び健康障害の各期における看護について講義・演習を行う。			

専門分野 地域・在宅看護論

科目名	地域・在宅援助概論Ⅰ	単位 1	時間 15	開校年次 1 年次 後期												
科目責任者	西田 香織															
科目概要	地域・在宅援助論の対象と看護の基盤となる地域やそこで暮らす人々、その人々を取り巻く環境、地域の特性を理解する。また、地域における保健・医療・福祉活動を知り、地域における社会資源の活用やネットワークの構築に向けての取り組みについて学ぶ。															
到達目標	1. 個人および家族の地域での暮らしを支援するために、暮らしの拠点である地域について学ぶ。 2. 訪問看護・福祉施設の 1 日体験に参加し、障がいや疾患をもちながら生活する人々の生活の場を理解する。															
授業計画	<table><thead><tr><th>〈授業内容・テーマ等〉</th><th>〈担当教員名〉</th></tr></thead><tbody><tr><td>第 1 回: いちき串木野市とそこで暮らす人々の特徴 1) 人口の変化 2) 暮らす人々の特徴 3) 暮らしが与える影響 4) いちき串木野市の食、観光、歴史、交通、産業、防災 5) 防災マップの作成</td><td>西田香織</td></tr><tr><td>第 2 回: いちき串木野市における地域の保健・医療・福祉活動 1) 地域包括ケアシステム 2) ころばん体操 3) 認知症サポーター 4) 徘徊見守り体制 5) 福祉施設 6) 在宅医療と地域連携 7) 市町村保健センター 8) 高齢者元気度アップポイント事業 9) 地域ボランティア活動</td><td>西田香織</td></tr><tr><td>第 3 回: 健康と暮らしを支える看護 1) 看護が提供される多様な場</td><td>西田香織</td></tr><tr><td>第 4 回・第 5 回・第 6 回・第 7 回: 訪問看護・福祉施設等の 1 日体験 1) 傷病や障がいをもちながら生活している場を知る</td><td>西田香織</td></tr><tr><td>第 8 回: 終講試験・まとめ</td><td>西田香織</td></tr></tbody></table>				〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉	第 1 回: いちき串木野市とそこで暮らす人々の特徴 1) 人口の変化 2) 暮らす人々の特徴 3) 暮らしが与える影響 4) いちき串木野市の食、観光、歴史、交通、産業、防災 5) 防災マップの作成	西田香織	第 2 回: いちき串木野市における地域の保健・医療・福祉活動 1) 地域包括ケアシステム 2) ころばん体操 3) 認知症サポーター 4) 徘徊見守り体制 5) 福祉施設 6) 在宅医療と地域連携 7) 市町村保健センター 8) 高齢者元気度アップポイント事業 9) 地域ボランティア活動	西田香織	第 3 回: 健康と暮らしを支える看護 1) 看護が提供される多様な場	西田香織	第 4 回・第 5 回・第 6 回・第 7 回: 訪問看護・福祉施設等の 1 日体験 1) 傷病や障がいをもちながら生活している場を知る	西田香織	第 8 回: 終講試験・まとめ	西田香織
〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉															
第 1 回: いちき串木野市とそこで暮らす人々の特徴 1) 人口の変化 2) 暮らす人々の特徴 3) 暮らしが与える影響 4) いちき串木野市の食、観光、歴史、交通、産業、防災 5) 防災マップの作成	西田香織															
第 2 回: いちき串木野市における地域の保健・医療・福祉活動 1) 地域包括ケアシステム 2) ころばん体操 3) 認知症サポーター 4) 徘徊見守り体制 5) 福祉施設 6) 在宅医療と地域連携 7) 市町村保健センター 8) 高齢者元気度アップポイント事業 9) 地域ボランティア活動	西田香織															
第 3 回: 健康と暮らしを支える看護 1) 看護が提供される多様な場	西田香織															
第 4 回・第 5 回・第 6 回・第 7 回: 訪問看護・福祉施設等の 1 日体験 1) 傷病や障がいをもちながら生活している場を知る	西田香織															
第 8 回: 終講試験・まとめ	西田香織															
評価方法	終講試験: 80% 学習態度: 20%															
指定図書	1. 系統看護学講座 統合分野 在宅看護論 医学書院 2. よくわかる在宅看護 学研															
参考書	対象者は、生活背景や個人因子がさまざま状況にあります。医療体制や社会保障制度についても各専門分野や看護学分野の教科書、副読本等を参考に活用してください。															
事前・事後学修	自分たちが看護を学んでいるいちき串木野市を知るために、地域の方々との交流を持ち、地域で行われている活動など積極的に参加してください。															
実務経験のある教員による実践的授業	看護師としての豊富な実務経験をふまえ、地域・在宅援助論の対象と看護の基盤となる地域やそこで暮らす人々、その人を取り巻く環境、地域の特性を理解するための授業を行う。また、訪問看護、福祉施設等 1 日体験を行う。															

専門分野 地域・在宅看護論

科目名	地域・在宅援助概論Ⅱ	単位 1	時間 15	開校年次 2 年次 前期																		
科目責任者	柳田 千草																					
科目概要	在宅療養の場における看護は、制度や地域包括ケアシステムを基盤とし、個のケアから地域システム全体を見渡し、ケアを展開する役割がある。このような役割を理解するためには、在宅看護の変遷やその社会背景をはじめ、在宅看護の目的・基本的な理念や関連する概念、対象特性と家族を含めた支援の在り方、並びにその基盤となる法制度を学ぶ。さらに、在宅ケアにおけるケアマネジメントや地域包括ケアシステムの基本、関係機関・職種との連携の必要性、社会資源を学んでいく。																					
到達目標	1. 在宅看護の必要性、活動の場と役割について理解できる。 2. 在宅看護にかかわる法令・制度、施策、社会資源について理解できる。																					
授業計画	<table><thead><tr><th>〈授業内容・テーマ等〉</th><th>〈担当教員名〉</th></tr></thead><tbody><tr><td>第 1 回:在宅看護の概念① 1)在宅看護の目的と特徴 2)在宅看護の対象者</td><td>柳田 千草</td></tr><tr><td>第 2 回:在宅看護の概念② 3)在宅療養の支援</td><td>柳田 千草</td></tr><tr><td>第 3 回:在宅看護の変遷 1)在宅看護における看護師の役割と機能</td><td>柳田 千草</td></tr><tr><td>第 4 回:在宅看護にかかわる法令・制度① 1)介護保険制度 2)医療保険制度 3)障害者総合支援法 4)難病法 5)医療介護総合確保支援法 6)医療法</td><td>柳田 千草</td></tr><tr><td>第 5 回:在宅看護にかかわる法令・制度② 1)介護保険制度</td><td>柳田 千草</td></tr><tr><td>第 6 回:在宅看護にかかわる法令・制度③ 1)訪問看護制度</td><td>柳田 千草</td></tr><tr><td>第 7 回:訪問看護サービスの提供、ケアマネジメントと社会資源の活用 地域における多職種連携</td><td>柳田 千草</td></tr><tr><td>第 8 回:終講試験</td><td>柳田 千草</td></tr></tbody></table>				〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉	第 1 回:在宅看護の概念① 1)在宅看護の目的と特徴 2)在宅看護の対象者	柳田 千草	第 2 回:在宅看護の概念② 3)在宅療養の支援	柳田 千草	第 3 回:在宅看護の変遷 1)在宅看護における看護師の役割と機能	柳田 千草	第 4 回:在宅看護にかかわる法令・制度① 1)介護保険制度 2)医療保険制度 3)障害者総合支援法 4)難病法 5)医療介護総合確保支援法 6)医療法	柳田 千草	第 5 回:在宅看護にかかわる法令・制度② 1)介護保険制度	柳田 千草	第 6 回:在宅看護にかかわる法令・制度③ 1)訪問看護制度	柳田 千草	第 7 回:訪問看護サービスの提供、ケアマネジメントと社会資源の活用 地域における多職種連携	柳田 千草	第 8 回:終講試験	柳田 千草
〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉																					
第 1 回:在宅看護の概念① 1)在宅看護の目的と特徴 2)在宅看護の対象者	柳田 千草																					
第 2 回:在宅看護の概念② 3)在宅療養の支援	柳田 千草																					
第 3 回:在宅看護の変遷 1)在宅看護における看護師の役割と機能	柳田 千草																					
第 4 回:在宅看護にかかわる法令・制度① 1)介護保険制度 2)医療保険制度 3)障害者総合支援法 4)難病法 5)医療介護総合確保支援法 6)医療法	柳田 千草																					
第 5 回:在宅看護にかかわる法令・制度② 1)介護保険制度	柳田 千草																					
第 6 回:在宅看護にかかわる法令・制度③ 1)訪問看護制度	柳田 千草																					
第 7 回:訪問看護サービスの提供、ケアマネジメントと社会資源の活用 地域における多職種連携	柳田 千草																					
第 8 回:終講試験	柳田 千草																					
評価方法	筆記試験:100%																					
指定図書	1.系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護の基盤 医学書院 2. 系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護の実践 地域・在宅看護論 2 医学書院 3. よくわかる在宅看護 学研																					
参考書	対象者は、生活背景や個人因子がさまざま状況にあります。医療体制や社会保障制度についても各専門分野や看護学分野の教科書、副読本等を参考に活用してください。																					
事前・事後学修	日頃から法令・制度、施策、社会資源に興味関心を持ち、予習復習を行ったうえで授業に参加してください。																					
実務経験のある教員による実践的授業	保健師として地域の訪問看護に携わる実務経験のある教員による授業を行う。																					

専門分野 地域・在宅看護論

科目名	地域・在宅援助方法論Ⅰ	単位 1	時間 15	開校年次 2 年次 前期																
科目責任者	上野 多吉子																			
科目概要	訪問看護を開始するまでの準備やマナー及び訪問の心構えを学び、対象と家族との円滑な関係を深めるための基本技術を修得する。在宅看護における対象の理解を深めアセスメントできる能力を養う。そして、相手を尊重した倫理的な看護について考える機会とする。合わせて在宅看護を支える多職種との連携、診療機関との確認や調整についても学ぶ。																			
到達目標	1. 訪問看護に必要な準備が理解できる。 2. 訪問看護のマナーが理解できる。 3. 在宅看護の展開方法を知り、在宅看護における対象理解、アセスメントできる基礎的知識を養う。																			
授業計画	<table><thead><tr><th>〈授業内容・テーマ等〉</th><th>〈担当教員名〉</th></tr></thead><tbody><tr><td>第1回:訪問看護の準備① 1) 情報収集と患者・家族の予測 2) 患者・家族の理解</td><td>上野多吉子</td></tr><tr><td>第2回・第3回:ケアマネジメントと社会資源の活用 1) 地域における多職種連携 2) 地域の社会資源との連携</td><td>上野多吉子</td></tr><tr><td>第4回:訪問看護の実際 1) 対応とマナー</td><td>上野多吉子</td></tr><tr><td>第5回:在宅看護過程の展開ポイント</td><td>上野多吉子</td></tr><tr><td>第6回:在宅看護過程の展開方法① 1) 在宅看護過程の特徴 2) 情報収集とアセスメント</td><td>上野多吉子</td></tr><tr><td>第7回:在宅看護過程の展開方法② 3) 目標の設定・計画 4) 実施と評価</td><td>上野多吉子</td></tr><tr><td>第8回:終講試験・まとめ</td><td>上野多吉子</td></tr></tbody></table>				〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉	第1回:訪問看護の準備① 1) 情報収集と患者・家族の予測 2) 患者・家族の理解	上野多吉子	第2回・第3回:ケアマネジメントと社会資源の活用 1) 地域における多職種連携 2) 地域の社会資源との連携	上野多吉子	第4回:訪問看護の実際 1) 対応とマナー	上野多吉子	第5回:在宅看護過程の展開ポイント	上野多吉子	第6回:在宅看護過程の展開方法① 1) 在宅看護過程の特徴 2) 情報収集とアセスメント	上野多吉子	第7回:在宅看護過程の展開方法② 3) 目標の設定・計画 4) 実施と評価	上野多吉子	第8回:終講試験・まとめ	上野多吉子
〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉																			
第1回:訪問看護の準備① 1) 情報収集と患者・家族の予測 2) 患者・家族の理解	上野多吉子																			
第2回・第3回:ケアマネジメントと社会資源の活用 1) 地域における多職種連携 2) 地域の社会資源との連携	上野多吉子																			
第4回:訪問看護の実際 1) 対応とマナー	上野多吉子																			
第5回:在宅看護過程の展開ポイント	上野多吉子																			
第6回:在宅看護過程の展開方法① 1) 在宅看護過程の特徴 2) 情報収集とアセスメント	上野多吉子																			
第7回:在宅看護過程の展開方法② 3) 目標の設定・計画 4) 実施と評価	上野多吉子																			
第8回:終講試験・まとめ	上野多吉子																			
評価方法	筆記試験:100%																			
指定図書	1.系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護の実践 地域・在宅看護論 2 医学書院 2. よくわかる在宅看護 学研																			
参考書	対象者は、生活背景や個人因子がさまざま状況にあります。医療体制や社会保障制度についても各専門分野や看護学分野の教科書、副読本等を参考に活用してください。																			
事前・事後学修	日頃から社会資源・在宅看護に興味関心を持ち、予習復習を行ったうえで授業に参加してください。また、社会生活を送る上でマナーに配慮した行動がとれるよう努めてください。																			
実務経験のある教員による実践的授業	保健師として地域の訪問看護に携わる実務経験のある教員による授業を行う。																			

専門分野 地域・在宅看護論

科目名	地域・在宅援助方法論Ⅱ	単位 1	時間 30	開校年次 2 年次 後期																										
科目責任者	萬福 恵子																													
科目概要	在宅で求められる基本的技術を習得する。また、障害または疾患をもちながら在宅で生活する人とその家族に応じた安全性、安楽性、経済性を考慮した在宅看護の援助技術を習得する。さらに、在宅看護における危険を知り、安全管理のあり方について学習する。																													
到達目標	1. 在宅看護に必要な基本的技術と、対象の状況や状態に応じた看護が理解できる。 2. 在宅生活をおくる上で予測される危険を知り、安全管理、リスクマネジメントについて考えることができる。																													
授業計画	<table><thead><tr><th>〈授業内容・テーマ等〉</th><th>〈担当教員名〉</th></tr></thead><tbody><tr><td>第 1 回:訪問看護の基本的技術① 1) 家庭訪問の技術 2) 療養者・家族の相談、カウンセリング技術</td><td>萬福 恵子</td></tr><tr><td>第 2 回:訪問看護の基本的技術② 3) 判断・意思決定技術 4) 各種の手技的技術</td><td>萬福 恵子</td></tr><tr><td>第 3 回:訪問看護の基本的技術③ 5) 多職種との調整技術 6) 在宅看護の活動を支えるコミュニケーション</td><td>萬福 恵子</td></tr><tr><td>第 4 回:生活を送るうえで必要な基本的援助① 1) 呼吸に関する援助 2) 食生活・嚥下に関する援助</td><td>萬福 恵子</td></tr><tr><td>第 5 回:生活を送るうえで必要な基本的援助② 3) 排泄に関する援助 4) 移乗・移送に関する援助</td><td>萬福 恵子</td></tr><tr><td>第 6 回:生活を送るうえで必要な基本的援助③ 5) 清潔に関する援助 6) 認知機能のアセスメントと評価</td><td>萬福 恵子</td></tr><tr><td>第 7 回・第 8 回:生活を送るうえで必要な基本的援助④⑤ 7) 環境調整の援助 8) 介護用品の作成</td><td>萬福 恵子</td></tr><tr><td>第 9 回:療養上のリスクマネジメント① 1) 在宅におけるリスクマネジメントとは 2) 環境の整備</td><td>萬福 恵子</td></tr><tr><td>第 10 回:療養上のリスクマネジメント② 3) 身体損傷の防止 4) 薬物による事故の防止</td><td>萬福 恵子</td></tr><tr><td>第 11 回・第 12 回:療養上のリスクマネジメント③④ 5) 感染の防止 6) 災害に対する準備と対応</td><td>萬福 恵子</td></tr><tr><td>第 13 回・第 14 回:療養上のリスクマネジメント⑤⑥ 川内原子力発電所・済生会川内病院被ばく医療施設見学</td><td>萬福 恵子</td></tr><tr><td>第 15 回:終講試験</td><td>萬福 恵子</td></tr></tbody></table>				〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉	第 1 回:訪問看護の基本的技術① 1) 家庭訪問の技術 2) 療養者・家族の相談、カウンセリング技術	萬福 恵子	第 2 回:訪問看護の基本的技術② 3) 判断・意思決定技術 4) 各種の手技的技術	萬福 恵子	第 3 回:訪問看護の基本的技術③ 5) 多職種との調整技術 6) 在宅看護の活動を支えるコミュニケーション	萬福 恵子	第 4 回:生活を送るうえで必要な基本的援助① 1) 呼吸に関する援助 2) 食生活・嚥下に関する援助	萬福 恵子	第 5 回:生活を送るうえで必要な基本的援助② 3) 排泄に関する援助 4) 移乗・移送に関する援助	萬福 恵子	第 6 回:生活を送るうえで必要な基本的援助③ 5) 清潔に関する援助 6) 認知機能のアセスメントと評価	萬福 恵子	第 7 回・第 8 回:生活を送るうえで必要な基本的援助④⑤ 7) 環境調整の援助 8) 介護用品の作成	萬福 恵子	第 9 回:療養上のリスクマネジメント① 1) 在宅におけるリスクマネジメントとは 2) 環境の整備	萬福 恵子	第 10 回:療養上のリスクマネジメント② 3) 身体損傷の防止 4) 薬物による事故の防止	萬福 恵子	第 11 回・第 12 回:療養上のリスクマネジメント③④ 5) 感染の防止 6) 災害に対する準備と対応	萬福 恵子	第 13 回・第 14 回:療養上のリスクマネジメント⑤⑥ 川内原子力発電所・済生会川内病院被ばく医療施設見学	萬福 恵子	第 15 回:終講試験	萬福 恵子
〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉																													
第 1 回:訪問看護の基本的技術① 1) 家庭訪問の技術 2) 療養者・家族の相談、カウンセリング技術	萬福 恵子																													
第 2 回:訪問看護の基本的技術② 3) 判断・意思決定技術 4) 各種の手技的技術	萬福 恵子																													
第 3 回:訪問看護の基本的技術③ 5) 多職種との調整技術 6) 在宅看護の活動を支えるコミュニケーション	萬福 恵子																													
第 4 回:生活を送るうえで必要な基本的援助① 1) 呼吸に関する援助 2) 食生活・嚥下に関する援助	萬福 恵子																													
第 5 回:生活を送るうえで必要な基本的援助② 3) 排泄に関する援助 4) 移乗・移送に関する援助	萬福 恵子																													
第 6 回:生活を送るうえで必要な基本的援助③ 5) 清潔に関する援助 6) 認知機能のアセスメントと評価	萬福 恵子																													
第 7 回・第 8 回:生活を送るうえで必要な基本的援助④⑤ 7) 環境調整の援助 8) 介護用品の作成	萬福 恵子																													
第 9 回:療養上のリスクマネジメント① 1) 在宅におけるリスクマネジメントとは 2) 環境の整備	萬福 恵子																													
第 10 回:療養上のリスクマネジメント② 3) 身体損傷の防止 4) 薬物による事故の防止	萬福 恵子																													
第 11 回・第 12 回:療養上のリスクマネジメント③④ 5) 感染の防止 6) 災害に対する準備と対応	萬福 恵子																													
第 13 回・第 14 回:療養上のリスクマネジメント⑤⑥ 川内原子力発電所・済生会川内病院被ばく医療施設見学	萬福 恵子																													
第 15 回:終講試験	萬福 恵子																													
評価方法	筆記試験:80% 課題学習:20%																													
指定図書	1.系統看護学講座 専門分野 地域・在宅看護の実践 地域・在宅看護論 2 医学書院 2. よくわかる在宅看護 学研																													
参考書	対象者は、生活背景や個人因子がさまざまな状況にあります。各専門分野や看護学分野の教科書、副読本等を参考に活用してください。																													
事前・事後学修	基礎看護技術で履修した内容を基に看護が展開されるため、教科書、副読本で復習したうえで授業に参加してください。																													
実務経験のある教員による実践的授業	看護師としての豊富な実務経験をふまえ、障がいや疾病をもちながら在宅で生活をする人と家族に応じた援助ができるように講義・演習を行う。																													

専門分野 地域・在宅看護論

科目名	地域・在宅援助方法論Ⅲ	単位 1	時間 30	開校年次 3 年次 前期																																				
科目責任者	土門 真理子																																							
科目概要	医療管理を必要とする診療の補助について基礎知識を深め、在宅で行われる特殊技術内容を学ぶ。また、事例演習を通して在宅における療養者と家族のニーズを考え、セルフケア機能が発揮される生活の場に即した看護援助の在り方を学習する。																																							
到達目標	在宅で療養を継続するために必要な医療的技術を、対象者の状態・状況に合わせて安全・安楽に提供する方法を理解できる。																																							
授業計画	<table><tr><td>〈授業内容・テーマ等〉</td><td>〈担当教員名〉</td></tr><tr><td>第 1 回:在宅看護の実際</td><td>土門 真理子</td></tr><tr><td>1) 病棟看護と在宅看護の比較 必要な技術の提供と指導</td><td></td></tr><tr><td>第 2 回:在宅看護と病棟看護の比較</td><td>土門 真理子</td></tr><tr><td>第 3 回:必要な技術の提供と指導</td><td>土門 真理子</td></tr><tr><td>1) 安全性、安楽性、経済性のある技術</td><td></td></tr><tr><td>2) 自立を考えた技術 3) 事故予防対策</td><td></td></tr><tr><td>第 4 回:排痰・吸引、吸入、気管カニューレの管理</td><td>土門 真理子</td></tr><tr><td>第 5 回:在宅人工呼吸療法、在宅酸素療法</td><td>土門 真理子</td></tr><tr><td>第 6 回:在宅酸素療法</td><td>土門 真理子</td></tr><tr><td>第 7 回:経管栄養法:(経鼻栄養法、胃瘻)</td><td>土門 真理子</td></tr><tr><td>第 8 回:在宅中心静脈栄養法、輸液の管理</td><td>土門 真理子</td></tr><tr><td>第 9 回:膀胱留置カテーテル、自己導尿</td><td>土門 真理子</td></tr><tr><td>第 10 回:摂食嚥下障害の援助、ストーマ(人工肛門、人工膀胱)</td><td>土門 真理子</td></tr><tr><td>第 11 回:褥瘡の予防とケア</td><td>土門 真理子</td></tr><tr><td>第 12 回:インスリン療法、疼痛緩和</td><td>土門 真理子</td></tr><tr><td>第 13 回・第 14 回:グループワーク・演習</td><td>土門 真理子</td></tr><tr><td>第 15 回:終講試験・まとめ</td><td>土門 真理子</td></tr></table>				〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉	第 1 回:在宅看護の実際	土門 真理子	1) 病棟看護と在宅看護の比較 必要な技術の提供と指導		第 2 回:在宅看護と病棟看護の比較	土門 真理子	第 3 回:必要な技術の提供と指導	土門 真理子	1) 安全性、安楽性、経済性のある技術		2) 自立を考えた技術 3) 事故予防対策		第 4 回:排痰・吸引、吸入、気管カニューレの管理	土門 真理子	第 5 回:在宅人工呼吸療法、在宅酸素療法	土門 真理子	第 6 回:在宅酸素療法	土門 真理子	第 7 回:経管栄養法:(経鼻栄養法、胃瘻)	土門 真理子	第 8 回:在宅中心静脈栄養法、輸液の管理	土門 真理子	第 9 回:膀胱留置カテーテル、自己導尿	土門 真理子	第 10 回:摂食嚥下障害の援助、ストーマ(人工肛門、人工膀胱)	土門 真理子	第 11 回:褥瘡の予防とケア	土門 真理子	第 12 回:インスリン療法、疼痛緩和	土門 真理子	第 13 回・第 14 回:グループワーク・演習	土門 真理子	第 15 回:終講試験・まとめ	土門 真理子
〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉																																							
第 1 回:在宅看護の実際	土門 真理子																																							
1) 病棟看護と在宅看護の比較 必要な技術の提供と指導																																								
第 2 回:在宅看護と病棟看護の比較	土門 真理子																																							
第 3 回:必要な技術の提供と指導	土門 真理子																																							
1) 安全性、安楽性、経済性のある技術																																								
2) 自立を考えた技術 3) 事故予防対策																																								
第 4 回:排痰・吸引、吸入、気管カニューレの管理	土門 真理子																																							
第 5 回:在宅人工呼吸療法、在宅酸素療法	土門 真理子																																							
第 6 回:在宅酸素療法	土門 真理子																																							
第 7 回:経管栄養法:(経鼻栄養法、胃瘻)	土門 真理子																																							
第 8 回:在宅中心静脈栄養法、輸液の管理	土門 真理子																																							
第 9 回:膀胱留置カテーテル、自己導尿	土門 真理子																																							
第 10 回:摂食嚥下障害の援助、ストーマ(人工肛門、人工膀胱)	土門 真理子																																							
第 11 回:褥瘡の予防とケア	土門 真理子																																							
第 12 回:インスリン療法、疼痛緩和	土門 真理子																																							
第 13 回・第 14 回:グループワーク・演習	土門 真理子																																							
第 15 回:終講試験・まとめ	土門 真理子																																							
	筆記試験 70% 事例演習 30%(事前学習 10%・グループワーク取り組み 10%・課題提出 10%)																																							
指定図書	1.系統看護学講座 統合分野 在宅看護論 医学書院 2. よくわかる在宅看護 学研																																							
参考書	対象者は、生活背景や個人因子がさまざま状況にあります。医療体制や社会保障制度についても各専門分野や看護学分野の教科書、副読本等を参考に活用してください。																																							
事前・事後学修	第 13 回・第 14 回の事例演習は、既習の看護技術を基に演習をすすめる。技術の振り返りをしっかり行い、そのうえで科学的根拠を基に、生活の場に即した日常生活行動援助についてグループワークを行い活発な意見交換を行う。																																							
実務経験のある教員による実践的授業	看護師としての豊富な実務経験をふまえ、障がいや疾病をもちながら在宅で生活をする人と家族に応じた援助ができるように講義・演習を行う。																																							

専門分野 地域・在宅看護論

科目名	地域・在宅援助方法論Ⅳ	単位 1	時間 30	開校年次 3 年次 前期																		
科目責任者	萬福 恵子																					
科目概要	在宅という生活の場において実践される在宅看護の特性を理解するために、事例演習を通して、在宅看護過程の展開を理解する。在宅看護の対象である療養者と家族のセルフケア機能が発揮される看護援助の在り方を学習する。																					
到達目標	在宅で療養している対象の状態に応じた看護の必要性が理解でき、展開ができる。																					
授業計画	<table><thead><tr><th>〈授業内容・テーマ等〉</th><th>〈担当教員名〉</th></tr></thead><tbody><tr><td>第 1 回:在宅看護における事例展開の方法</td><td>萬福 恵子</td></tr><tr><td>第 2 回・第 3 回:パーキンソン病で療養する対象の生活支援と看護展開 1)食の援助 2)移動の援助 3)清潔の援助</td><td>萬福 恵子</td></tr><tr><td>第 4 回:グループワーク(事例の振り返り)</td><td>萬福 恵子</td></tr><tr><td>第 5 回・第 6 回:精神疾患をもつ対象の在宅看護展開 1)ニーズのアセスメント 2)自立支援と QOL の維持 3)服薬管理</td><td>萬福 恵子</td></tr><tr><td>第 7 回・第 8 回・第 9 回・第 10 回:ALS で人工呼吸療法を要する療養者の事例展開 1)在宅難病療養を支える社会資源 2)難病在宅ケアシステム</td><td>萬福 恵子</td></tr><tr><td>第 11 回:グループワークの振り返り</td><td></td></tr><tr><td>第 12 回・第 13 回:終末期を自宅で迎える対象と家族の看護展開 1)社会資源とサポート 2)安全な住宅環境の構築 3)セルフケア能力に応じた生活の検討</td><td>萬福 恵子</td></tr><tr><td>第 14 回・第 15 回:終末期の療養者に対する事例展開 1)終末期の援助 2)死別後の家族への対応、グリーフケア 3)エンゼルケア</td><td>萬福 恵子</td></tr></tbody></table>				〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉	第 1 回:在宅看護における事例展開の方法	萬福 恵子	第 2 回・第 3 回:パーキンソン病で療養する対象の生活支援と看護展開 1)食の援助 2)移動の援助 3)清潔の援助	萬福 恵子	第 4 回:グループワーク(事例の振り返り)	萬福 恵子	第 5 回・第 6 回:精神疾患をもつ対象の在宅看護展開 1)ニーズのアセスメント 2)自立支援と QOL の維持 3)服薬管理	萬福 恵子	第 7 回・第 8 回・第 9 回・第 10 回:ALS で人工呼吸療法を要する療養者の事例展開 1)在宅難病療養を支える社会資源 2)難病在宅ケアシステム	萬福 恵子	第 11 回:グループワークの振り返り		第 12 回・第 13 回:終末期を自宅で迎える対象と家族の看護展開 1)社会資源とサポート 2)安全な住宅環境の構築 3)セルフケア能力に応じた生活の検討	萬福 恵子	第 14 回・第 15 回:終末期の療養者に対する事例展開 1)終末期の援助 2)死別後の家族への対応、グリーフケア 3)エンゼルケア	萬福 恵子
〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉																					
第 1 回:在宅看護における事例展開の方法	萬福 恵子																					
第 2 回・第 3 回:パーキンソン病で療養する対象の生活支援と看護展開 1)食の援助 2)移動の援助 3)清潔の援助	萬福 恵子																					
第 4 回:グループワーク(事例の振り返り)	萬福 恵子																					
第 5 回・第 6 回:精神疾患をもつ対象の在宅看護展開 1)ニーズのアセスメント 2)自立支援と QOL の維持 3)服薬管理	萬福 恵子																					
第 7 回・第 8 回・第 9 回・第 10 回:ALS で人工呼吸療法を要する療養者の事例展開 1)在宅難病療養を支える社会資源 2)難病在宅ケアシステム	萬福 恵子																					
第 11 回:グループワークの振り返り																						
第 12 回・第 13 回:終末期を自宅で迎える対象と家族の看護展開 1)社会資源とサポート 2)安全な住宅環境の構築 3)セルフケア能力に応じた生活の検討	萬福 恵子																					
第 14 回・第 15 回:終末期の療養者に対する事例展開 1)終末期の援助 2)死別後の家族への対応、グリーフケア 3)エンゼルケア	萬福 恵子																					
評価方法	下記の課題学習を総合的に評価する 1. 事前学習 2.グループワークへの取り組み 30 点 3.提出物 20 点 4.筆記試験 50 点 5. 課題提出、出席状況																					
指定図書	1.系統看護学講座 統合分野 在宅看護論 医学書院 2. よくわかる在宅看護 学研 3. 在宅看護体験学習ノート 医歯薬出版株式会社																					
参考書	対象者は、生活背景や個人因子がさまざま状況にあります。各専門分野や看護学分野の教科書、副読本等を参考に活用してください。																					
事前・事後学修	各疾患の既習学習をもとに授業をすすめる。疾患学習をしっかりと行ったうえで授業に参加してください。																					
実務経験のある教員による実践的授業	看護師としての豊富な実務経験をふまえ、障がいや疾病をもちながら在宅で生活をする人と家族に応じた援助ができるように講義・演習を行う。																					

専門分野 成人看護学

科目名	成人看護学総論	単位 1	時間 30	開校年次 1 年次 後期
科目責任者	辻本 あゆみ			
科目概要	ライフサイクルにおける成人期の特徴を生活や健康や労働に関する最新のデータに着目しながら、身体的・心理的・社会的側面を理解し、健康障害をもつ成人期の看護を考える上で基本的な看護の理論や人々の健康の状態、保健の動向と看護の関係性を知り、健康管理の理論とそれに伴う指導方法について学ぶ			
到達目標	1.発達段階に沿って成人期の対象とその家族について理解できる 2.成人期にある対象の発達段階を理解できる。 3.成人看護の目的と看護の役割について理解できる 4.成人保健の動向を把握し、成人の健康問題の特徴と健康問題となる諸因子を理解できる。 5.期の対象の健康問題の保健対策、保険活動の意義と重要性を理解できる。 6.期の理論を考え、健康問題を踏まえた、パンフレット指導が理解できる。			
授業計画	〈授業内容・テーマ等〉 第 1～2回:成人の特徴 第 3 回:成人期の役割 第 4 回:成人期にある人の健康問題 第 5 回:成人期にある人の保健行動 第6回:成人看護の役割 第7回:うつ病と自殺対策 出生、死亡の状況 グループワーク 第8回:職業性疾病について 第9回:保健、医療、福祉のシステム 医療に関わる対策 第 10 回:ゴールドプラン 21 健康日本 21 グループワーク 薩摩川内市・鹿児島市、沖縄市、熊本市、鹿屋市、いちき串木野市 第 11 回 :グループワーク発表 第 12 回:生活習慣病の予防と対策、特定健康診査と特定保健指導 第 13 回 :定期健康診断と保健指導(脂質異常症)個人ワーク 第 14回:定期健康診断と保健指導(脂質異常症)個人ワーク 発表 第 15 回:終講試験 〈担当教員名〉			
評価方法	終講試験 70% 各疾患課題提出(事前学習 10% 課題提出 10% 出席率・授業態度 10%)			
指定図書	小松浩子:専門分野Ⅱ 成人看護学総論 成人看護学 医学書院 国民衛生の動向 厚生労働統計協会			
事前・事後学習	各授業前のプリント・課題は進めておいてください			
事前・事後学修	多くの概念を学びます。参考図書を読む、用語の意味を調べ理解する、積極的に考えることをしてください。家族から健康観の聴取レポート・私の健康観(原稿用紙 600～800 字) パンフレット製作。(脂質異常症について事前学習しておいてください)			
実務経験のある 員による実践的 業	看護師として豊富な実務経験をふまえ、成人期にある健康問題と保健指導についての基礎的知識を養うための講義を行う。			

科目名	成人看護方法論Ⅰ (急性期・周手術期の看護)	単位 1	時間 30	開校年次 2 年次 前期
科目責任者	有川 幸宏			
科目概要	クリティカルケア看護について学び、生命の危機的状態にある患者と家族を理解し看護の実際を事例を通して深める。周術期においては手術侵襲による生体反応や術前・術中・術後の看護を行うことで重要となることを学ぶ。手術を受ける患者・家族の看護について事例展開を通して学びを深める。			
到達目標	1.生命の危機的状態にある対象の特徴及び看護を理解できる。 2.手術による生体反応と各機能への影響を理解する。 3.周術期にある対象の特徴及び看護について理解し、患者への安全・安楽な看護援助を習得できる。			
授業計画	〈授業内容・テーマ等〉 〈担当教員名〉 第1回:クリティカルケア看護の特徴 有川 幸宏 第2回:クリティカルケア看護の実践に必要なマネジメント、倫理・法律 有川 幸宏 第3回:クリティカルな患者の病態の理解と看護(侵襲を受けた患者の生体反応) 有川 幸宏 第4回:クリティカルな患者の病態の理解と看護(呼吸機能障害・循環機能障害) 有川 幸宏 第5回:クリティカルケア看護に必要な看護技術(心肺蘇生法・呼吸管理) 有川 幸宏 第6回:クリティカルケア看護に必要な看護技術(体液・循環管理) 有川 幸宏 第7回:外科医療の基礎 有川 幸宏 第8回:外科治療を要す疾患・症状 有川 幸宏 第9回:外科治療を支える分野(麻酔法・呼吸管理・体液管理・栄養管理) 有川 幸宏 第10回:術前患者の看護 有川 幸宏 第11回:術中患者の看護 有川 幸宏 第12回:術後患者の看護 有川 幸宏 第13 回:事例提示 (心筋梗塞・胃がん) 有川 幸宏 第14回:胃切除術・心筋梗塞の手術を受ける対象の看護(事例展開・演習) 有川 幸宏 第15回:終講試験・まとめ 有川 幸宏			
評価方法	終講試験 70% 事例演習(事前学習 10%・グループワークの取り組み 10%、課題提出 10%)			
指定図書	系統看護学講座 別巻 救急看護学 医学書院 系統看護学講座 別巻 クリティカルケア 医学書院 系統看護学講座 別巻 臨床外科看護各論 医学書院 系統看護学講座 専門分野 循環器 医学書院 系統看護学講座 専門分野 消化器 医学書院 基礎看護技術Ⅱ 医学書院			
事前・事後学習	各疾患患者の看護を参考にして病態、症状、治療、検査、看護を各自学習してください。第7回と第14回の事例展開においては授業資料やワークシートに沿って、学生各自が事前学習を行う。そのうえで科学的根拠に基づいた看護援助をグループワークにて意見交換を行う。			
実務経験のある教員による実践的授業	看護師として豊富な実務経験をふまえ、周手術期の看護について授業を行う。			

専門分野 成人看護学

科目名	成人看護方法論Ⅱ (身体の一部を損傷した人の看護)	単位 1	時間 30	開校年次 2 年次 前期
科目責任者	辻本 あゆみ			
科目概要	成人期の特徴をふまえ、家庭や職場・地域社会でさまざまな役割をもつ人々の生活および健康、障害をもつ人の自然回復力を最大限に引き出し、その回復過程に当事者が適応できる看護の役割、健康障害に対する理解を深め、成人期にある人々を支援する看護について学修する。			
到達目標	1. 成人期にある対象の健康問題に応じた看護の方法を理解できる。 2. 身体の一部を喪失した人の理解及び看護について理解できる。			
授業計画	〈授業内容・テーマ等〉 第 1 回:身体の一部を喪失した人のある人の看護と理解 第 2 回:患者家族が社会的資源を有効に活用できるための援助 第 3 回:人工肛門を増設する人の理解 事例提示(大腸がん) 第 4 回:個人ワーク アセスメント 関連図 看護計画 2 回以上 添削しますので グループごとに提出してください 第 5 回:グループワーク アセスメント 関連図 看護計画 まとめ 第 6 回:人工肛門 演習(手順書は事前に個人で作成) 第 7 回:演習 振り返り 看護計画に追加 第 8 回:グループ発表 第 9 回:咽頭摘出を受けた人の看護 (咽頭がん) 第 10 回:四肢切断を受けた人の看護 第 11 回:女性生殖器を喪失した人の看護(乳がん 事例提示) 第 12 回:個人ワーク アセスメント 看護計画 パンフレット 指導案作成 第 13 回:2 人ペアでパンフレット指導 第 14 回:子宮がん 講義 第 15 回:終講試験 〈担当教員名〉			
評価方法	終講試験 70% 各疾患課題提出 30%(事前学習 15% 課題提出 15%)			
指定図書	系統看護学講座 別巻 クリティカルケア 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学9 女性生殖器医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学10 運動器 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学概論			
参考書	薬理、症状別看護、など関連した教科書がたくさんありますので参考にしてください			
事前・事後学修	各授業の前までに疾患の事前学習はしておいてください。それをもとに授業をすすめていきます。 事前学習(大腸がん・乳がん・咽頭がん・子宮がん)			
実務経験のある教員による実践的授業	看護師として豊富な実務経験をふまえ、身体の一部を損傷した人の看護について講義・演習を行う。			

専門分野 成人看護学

科目名	成人看護学方法論Ⅲ (生涯にわたり疾病コントロールを必要とする人の看護)	単位 1	時間 30	開校年次 2 年次 後期
科目責任者	池田 沙耶佳			
科目概要	近年増加している慢性疾患を有する患者が折り合いをつけながら疾病コントロールを行っていく看護を学びます。			
到達目標	1. 成人期にある対象の健康問題に応じた看護の方法を理解できる。 2. 生涯にわたり疾病コントロールを必要とする患者の看護を理解できる			
授業計画	<授業内容・テーマ等> 第 1 回 : 慢性疾患について概要 第 2 回 : 慢性疾患の特徴 看護の特徴 第 3 回 : 糖尿病の患者の看護 第 4 回 : 特尿病の患者の看護:3側面から理解 第 5 回 : 糖尿病の患者の看護:教育的アプローチ 第 6 回 : 自己血糖測定の実際 (指導案の作成) 第 7 回 : 事例演習:自己血糖測定の実際 第 8 回 ; 事例演習:自己血糖測定の実際 第 9 回 : 腎機能障害のある患者の看護 第 10 回 :事例演習:透析導入の対象の看護 第 11 回 :事例演習:統制導入の対象の看護 第 12 回 :肝機能障害のある対象の看護 第 13 回 :事例演習:肝硬変のある対象の看護 第 14 回 :事例演習:肝硬変のある対象の看護 第 15 回 :終講試験, まとめ <担当教員名> 池田沙耶佳 池田沙耶佳 池田沙耶佳 池田沙耶佳 池田沙耶佳 池田沙耶佳 池田沙耶佳 池田沙耶佳 池田沙耶佳 池田沙耶佳 池田沙耶佳 池田沙耶佳 池田沙耶佳 池田沙耶佳			
評価方法	評価の基準は、以下のとおりとする。 【筆記試験】 終講試験 70% 【レポート】 授業内レポートおよび課題 30%(未提出, 提出遅れ, 内容が不足している場合は減点する)			
指定図書	1 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学概論 2 系統看護学講座専門分野Ⅱ成人看護学6 内分泌・代謝 3 系統看護学講座専門分野Ⅱ成人看護学5 消化器 4 系統看護学講座専門分野Ⅱ成人看護学8 腎泌尿器			
参考書	1 看護学テキストNICE 成人看護学 慢性期看護 南江堂			
事前・事後学修	糖尿病・腎不全・肝硬変については既習しているため、自己にて再度疾患学習を行う事で学びを深める。(レポートを提出してもらいます)また看護過程の基礎的知識を見直しておく。実習でも受け持つ事が多い疾患です。興味をもって患者理解に努めて下さい。			
実務経験のある教員による実践的授業	看護師として豊富な実務経験をふまえ、生涯にわたり疾病コントロールを必要とする患者の看護を理解について看護について講義・演習を行う。			

専門分野 成人看護学

科目名	成人看護方法論Ⅳ (リハビリテーション看護)	単位 1	時間 30	開校年次 2年次 後期																																
科目責任者	辻本 あゆみ																																			
科目概要	一次的、長期的に生活行動の障害がある人の理解と看護を学ぶ。COPD 患者の看護をはじめ、様々な障害をもつ人への看護を学ぶ。																																			
到達目標	1. 成人期にある対象の健康問題に応じた看護の方法を理解できる。 2. 生活行動に障害のある人の看護について理解できる。																																			
授業計画	<table><thead><tr><th>〈授業内容・テーマ等〉</th><th>〈担当教員名〉</th></tr></thead><tbody><tr><td>第1回：生活行動に障害がある人への看護の定義 生活行動に障害がある疾患の特徴</td><td>辻本 あゆみ</td></tr><tr><td>第2回：一時的に生活行動の障がいがある対象の理解</td><td>辻本 あゆみ</td></tr><tr><td>第3回：一時的に生活行動の障がいがある人の看護・理論</td><td>辻本 あゆみ</td></tr><tr><td>第4回：1. 長期にわたり生活行動に障がいのある人の理解 1) 身体的特徴 2) 心理・社会的特徴 3) 社会保障制度</td><td>辻本 あゆみ</td></tr><tr><td>第5回：2. 長期にわたり生活行動に障がいのある人の看護 1) 急性期・回復期におけるケア</td><td>辻本 あゆみ</td></tr><tr><td>第6回：事例提示 ①COPD(慢性閉塞性肺疾患)②クモ膜下出血</td><td>辻本 あゆみ</td></tr><tr><td>第7回：個人ワーク</td><td>辻本 あゆみ</td></tr><tr><td>第8回：演習</td><td>辻本 あゆみ</td></tr><tr><td>第9回：事例演習 辻本 あゆみ</td><td></td></tr><tr><td>第10回：事例演習 事例演習振り返り</td><td>辻本 あゆみ</td></tr><tr><td>第11回：長期にわたり生活行動に障がいのある人の看護 1. 日常生活方法の維持及び拡大 個人ワーク</td><td>辻本 あゆみ</td></tr><tr><td>第12回：演習</td><td>辻本 あゆみ</td></tr><tr><td>第13回：演習</td><td>辻本 あゆみ</td></tr><tr><td>第14回：振り返り・まとめ</td><td>辻本 あゆみ</td></tr><tr><td>第15回：終講試験・まとめ</td><td>辻本 あゆみ</td></tr></tbody></table>				〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉	第1回：生活行動に障害がある人への看護の定義 生活行動に障害がある疾患の特徴	辻本 あゆみ	第2回：一時的に生活行動の障がいがある対象の理解	辻本 あゆみ	第3回：一時的に生活行動の障がいがある人の看護・理論	辻本 あゆみ	第4回：1. 長期にわたり生活行動に障がいのある人の理解 1) 身体的特徴 2) 心理・社会的特徴 3) 社会保障制度	辻本 あゆみ	第5回：2. 長期にわたり生活行動に障がいのある人の看護 1) 急性期・回復期におけるケア	辻本 あゆみ	第6回：事例提示 ①COPD(慢性閉塞性肺疾患)②クモ膜下出血	辻本 あゆみ	第7回：個人ワーク	辻本 あゆみ	第8回：演習	辻本 あゆみ	第9回：事例演習 辻本 あゆみ		第10回：事例演習 事例演習振り返り	辻本 あゆみ	第11回：長期にわたり生活行動に障がいのある人の看護 1. 日常生活方法の維持及び拡大 個人ワーク	辻本 あゆみ	第12回：演習	辻本 あゆみ	第13回：演習	辻本 あゆみ	第14回：振り返り・まとめ	辻本 あゆみ	第15回：終講試験・まとめ	辻本 あゆみ
〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉																																			
第1回：生活行動に障害がある人への看護の定義 生活行動に障害がある疾患の特徴	辻本 あゆみ																																			
第2回：一時的に生活行動の障がいがある対象の理解	辻本 あゆみ																																			
第3回：一時的に生活行動の障がいがある人の看護・理論	辻本 あゆみ																																			
第4回：1. 長期にわたり生活行動に障がいのある人の理解 1) 身体的特徴 2) 心理・社会的特徴 3) 社会保障制度	辻本 あゆみ																																			
第5回：2. 長期にわたり生活行動に障がいのある人の看護 1) 急性期・回復期におけるケア	辻本 あゆみ																																			
第6回：事例提示 ①COPD(慢性閉塞性肺疾患)②クモ膜下出血	辻本 あゆみ																																			
第7回：個人ワーク	辻本 あゆみ																																			
第8回：演習	辻本 あゆみ																																			
第9回：事例演習 辻本 あゆみ																																				
第10回：事例演習 事例演習振り返り	辻本 あゆみ																																			
第11回：長期にわたり生活行動に障がいのある人の看護 1. 日常生活方法の維持及び拡大 個人ワーク	辻本 あゆみ																																			
第12回：演習	辻本 あゆみ																																			
第13回：演習	辻本 あゆみ																																			
第14回：振り返り・まとめ	辻本 あゆみ																																			
第15回：終講試験・まとめ	辻本 あゆみ																																			
評価方法	終講試験 70% 事例演習 30%(事前学習 10%・グループワーク取り組み 10%・課題提出 10%)																																			
指定図書	1. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学概論 2. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 10 運動器 医学書院 3. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 脳・神経 4. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 呼吸器																																			
参考書	対象者は、生活背景や個人因子がさまざま状況にあります。医療体制や社会保障制度についても各専門分野や看護学分野の教科書、副読本等を参考に活用してください。																																			
事前・事後学修	第11回～第14回の実例演習は、あらかじめ配布されたワークシートに沿って、学生各自が事前学習を行う。そのうえで科学的根拠を基に、生活の場に即した日常生活行動援助についてグループワークを行い活発な意見交換を行う。 事前学習(①COPD(慢性閉塞性肺疾患)②クモ膜下出血)																																			
実務経験のある教員による実践的授業	看護師として豊富な実務経験をふまえ、生活行動に障害がある人の看護について講義・演習を行う。																																			

専門分野 成人看護学

科目名	成人看護方法論Ⅴ (感染・治療困難な人・終末期の看護)	単位 1	時間 30	開校年次 2年次 後期
科目責任者	萬福 恵子 池田沙耶佳			
科目概要	終末期にある人とその家族について学ぶ。終末期における QOL を維持、向上させるための援助、生活上のニーズを充足させるための援助(身体的・精神的・霊的)な苦痛を除去、緩和するための援助について学習する。			
到達目標	1.成人期にある対象の健康問題に応じた看護の方法について理解できる。 2.成人期にある人が感染を受けたことにより、発達課題やライフスタイルへの影響を知り、必要な看護を理解できる。 3.治癒困難な状態にある人の QOL が高まるような援助の方法を理解できる。			
授業計画	<授業内容・テーマ等> <担当教員名> 第1回 :感染症と成人期 池田沙耶佳 第2回 :感染症患者の看護の役割 池田沙耶佳 第3回 :感染症により障害を受けた人の看護:MRSA 池田沙耶佳 第4回 :感染により障害を受けた人の看護:HIV 池田沙耶佳 第5回 :他者への感染予防と予防教育 池田沙耶佳 第6回 :ターミナル期とは 定義 萬福 恵子 第7回 :ターミナルケア:心理 (死の体験旅行) 萬福 恵子 第8回 :緩和ケアとは アドバンスケアプランニング 萬福 恵子 第9回 :医療倫理について考える 事例提示 萬福 恵子 第10回:緩和ケア 痛み(ペインコントロール)(2)呼吸困難 (3)消化器症状(嘔気、嘔吐、腹部膨満感、便秘)(4)倦怠感 (5)浮腫(6)睡眠障害(7)不安・うつ・せん妄(8)スピリチュアルケア 萬福 恵子 第11回:看取りのケア・人間の死と生き方の関わる看護師の役割 (1)人間の死について (2)告知に関する看護師の役割(3)死の臨み方とリビングウィル (4)家族のトータルペイン(5)家族が対象の死を受容する過程(悲嘆) 萬福 恵子 第12回:事例展開(肺がん)個人での事前学習(アセスメント、看護計画、関連図) 萬福 恵子 第13回:グループでの事例分析 萬福 恵子 第14回:事例発表 萬福 恵子 第15回:終講試験 萬福 恵子 池田沙耶佳			
評価方法	終講試験 70%、提出物 30%(個人 10%・グループ 10%・事前学習 10%)			
指定図書	1. 系統看護学講座 別巻 緩和ケア 医学書院 2. 系統看護学講座 専門Ⅱ アレルギー膠原病 感染症 成人看護学⑪ 医学書院 3・系統看護学講座 専門Ⅱ 呼吸器② 成人看護学 医学書院 4・系統看護学講座 別巻 家族看護学 医学書院			
参考書	症状別看護や薬理、キューブラ・ロスの理論など読んで理解しましょう 林 章敏 はじめての緩和ケア ナツメ社 2020 年 初版			
実務経験のある教員による実践的授業	看護師として豊富な実務経験をふまえ、終末期にある人、感染症により障害を受けた人の看護について講義・演習を行う。			

専門分野 老年看護学

科目名	老年看護学概論	単位 1	時間 15	開校年次 1 年次 後期
科目責任者	福丸 隼太			
科目概要	高齢社会である現代の現状を理解し高齢者についての理解を深めます。 高齢者を看護する上で自己の老年観を構築します。			
到達目標	1. 老年期を生きる人々の理解し老化に伴う高齢者の健康状態の理解を深め、老年看護の役割と機能を理解する。 2. 高齢者の生命と人格を尊重する態度を養う自己の老年観を養う。			
授業計画	〈授業内容・テーマ等〉 第1回：老年看護を学ぶ意義 超高齢社会の現状 第2回：老年期の対象にインタビューを一通して知ろう(生活史・身体的特徴) 第3回：学びの発表会を通して高齢者の多様性を理解しよう 第4回：老年期の健康について 第5回：老年看護における倫理的な問題 第6回：加齢に伴う変化を三側面から理解する 第7回：高齢者体験を通してその実際を理解しよう 第8回：終講試験・まとめ 〈担当教員名〉 福丸 隼太 福丸 隼太 福丸 隼太 福丸 隼太 福丸 隼太 福丸 隼太 福丸 隼太 福丸 隼太			
評価方法	終講試験 70% 提出物・出席点・態度 30%			
指定図書	1. 系統別看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 2. 系統別看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護病態・疾病論 3. 国民衛生の動向			
参考書	高齢者に対する図書や映画は、多々あります。自己にて興味のあるところからでも構いませんので、できるだけ高齢者がイメージできるよう視聴覚物にふれて下さい。 公衆衛生が見える(メディックメディア)			
事前・事後学修	超高齢社会の実際については、日頃から新聞やニュースなどで関心をもつようにしよう。また身近な高齢者とできるだけコミュニケーションを取ることで学びを深めましょう。インタビューをするときは、五感を使いながら観察しましょう。観察したことを詳細に記入することでその後の学習での気付きにつながります。			
実務経験のある教員による実践的授業	看護師として豊富な実務経験をふまえ、老年期にある人々を三側面から理解し、老年看護師の役割について講義を行う。			

専門分野 老年看護学

科目名	老年保健	単位 1	時間 15	開校年次 1 年次 後期
科目責任者	福丸 隼太			
科目概要	保健医療福祉の現状を知り、老年看護に与える影響や看護師の役割と看護の特徴を理解する。			
到達目標	1. 老年期の対象を取り巻く社会と保健福祉制度を理解する。 2. 高齢者を介護する家族への介護を理解する。 3. 高齢者の健康状態と受療状況を理解する。 4. 地域包括ケアセンターについて理解する。			
授業計画	〈授業内容・テーマ等〉 第1回：人口学的指標・健康指標からの老年期の理解 第2回：高齢者の医療福祉の関連施設における看護 第3回：高齢者の医療福祉の関連施設における看護 第4回：介護家族の生活と健康と看護 第5回：介護保険について 第6回：介護保険について 第7回：地域包括ケアシステムについて 第8回：終講試験・まとめ 〈担当教員名〉 福丸 隼太 福丸 隼太 福丸 隼太 福丸 隼太 福丸 隼太 福丸 隼太 福丸 隼太 福丸 隼太			
評価方法	終講試験 70% 提出物・出席点・態度 30%			
指定図書	1. 系統別看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護学 2. 系統別看護学講座 専門分野Ⅱ 老年看護病態・疾病論 3. 国民衛生の動向			
参考書	1. 公衆衛生がみえる(メディックメディア)			
事前・事後学修	自分の居住している市町村にも高齢者を支える施設がたくさんあります。興味をもって観察できるようにしましょう。			
実務経験のある教員による実践的授業	看護師として豊富な実務経験をふまえ、老年期の対象を取り巻く社会と保健福祉制度について講義を行う。			

専門分野 老年看護学

科目名	老年看護方法論Ⅰ	単位 1	時間 30	開校年次 2年次 前期
科目責任者	土門 真理子			
科目概要	1. 老年期の看護において、高齢者の生理的特徴を学び、障害・疾病もつ高齢者の看護について学習する。			
到達目標	1. 老年期にある対象の老化と疾病・障害の程度に応じた看護の方法を理解する。			
授業計画	〈授業内容・テーマ等〉 第1回 : 障害・疾病をもつ高齢者の看護:せん妄 第2回 : 障害・疾病をもつ高齢者の看護:認知症 第3回 : 障害・疾病をもつ高齢者の看護:うつ病・発熱・熱中症 第4回 : 障害・疾病をもつ高齢者の看護:脱水症・誤嚥性肺炎 第5回 : 障害・疾病をもつ高齢者の看護:嚥下障害・低栄養状態 第6回 : 障害・疾病をもつ高齢者の看護:褥瘡,スキンケア 搔痒症(白癬・疥癬) 排尿障害・便秘 第7回 : 障害・疾病をもつ高齢者の看護:感覚機能障害・睡眠障害 第8回 : 障害・疾病をもつ高齢者の看護:骨粗鬆症・腰椎圧迫骨折 大腿骨近位部骨折 第9回 : 高齢者の生理的特徴、加齢に伴う変化とアセスメント 第10回 : 介護老人福祉施設の概要、入所している高齢者の特徴 第11回 : 事例演習:経管栄養(経鼻胃管チューブの挿入と確認、観察) 第12回 : 事例演習:経管栄養(経鼻胃管チューブの挿入と確認、観察) 第13回 : 事例演習:排泄支援(おむつ交換、陰部洗浄、失禁のケア) 第14回 : 事例演習:排泄支援(おむつ交換、陰部洗浄、失禁のケア) 第15回 : 終講試験・まとめ 〈担当教員名〉			
評価方法	筆記試験、授業への出席状況、小テスト、事例演習、課題レポートの全てで評価			
指定図書	1. 系統看護学講座 老年看護学:医学書院 2. 系統看護学講座 老年看護 病態・疾患論:医学書院			
参考書	生活機能から見た老年看護過程+病態・生活機能関連図 (株)医学書院 他の参考書に関しては使用時に配布、または説明をします			
事前・事後学習	演習にてグループワークや実際に技術演習を行います。 講義での振り返りやグループ間での情報共有を行い、臨みましょう。			
実務経験のある教員による実践的授業	看護師として豊富な実務経験をふまえ、障害・疾病をもつ高齢者の講義・演習を行う。			

専門分野 老年看護学

科目名	老年看護方法論Ⅱ	単位 1	時間 30	開校年次 2年次 後期																																
科目責任者	五反田 聖子																																			
科目概要	1. 既習した薬理学・薬物動態を基に高齢者における薬物動態、服薬管理について学び、高齢者の特徴からそれぞれの場面での看護について学習する。 2. 1の学習を基に老年期における終末期について考え、家族を含めた終末期看護、また看取りを終えた家族への看護について学習する。 3. 高齢者に多い疾患について事例をもとに看護展開を行う。																																			
到達目標	1. 老年期にある対象の老化と疾病・障害の程度に応じた看護の方法を理解する。																																			
授業計画	<table><thead><tr><th>〈授業内容・テーマ等〉</th><th>〈担当教員名〉</th></tr></thead><tbody><tr><td>第1回：薬物療法を受ける高齢者の看護</td><td>五反田聖子</td></tr><tr><td>第2回：手術療法を受ける高齢者の看護</td><td>五反田聖子</td></tr><tr><td>第3回：リハビリテーションを受ける高齢者の看護</td><td>五反田聖子</td></tr><tr><td>第4回：入院治療を受ける高齢者の看護</td><td>五反田聖子</td></tr><tr><td>第5回：終末期にある高齢者への看護</td><td>五反田聖子</td></tr><tr><td>第6回：看取りを終えた家族への看護</td><td>五反田聖子</td></tr><tr><td>第7回：看護過程の展開:「大腿骨頸部骨折」「パーキンソン病」患者の看護</td><td>五反田聖子</td></tr><tr><td>第8回：看護過程の展開:「大腿骨頸部骨折」「パーキンソン病」患者の看護</td><td>五反田聖子</td></tr><tr><td>第9回：看護過程の展開:「大腿骨頸部骨折」「パーキンソン病」患者の看護</td><td>五反田聖子</td></tr><tr><td>第10回：看護過程の展開:「大腿骨頸部骨折」「パーキンソン病」患者の看護</td><td>五反田聖子</td></tr><tr><td>第11回：看護過程の展開:「大腿骨頸部骨折」「パーキンソン病」患者の看護</td><td>五反田聖子</td></tr><tr><td>第12回：看護過程の展開:「大腿骨頸部骨折」「パーキンソン病」患者の看護</td><td>五反田聖子</td></tr><tr><td>第13回：看護過程の展開:「大腿骨頸部骨折」「パーキンソン病」患者の看護</td><td>五反田聖子</td></tr><tr><td>第14回：看護過程の展開:「大腿骨頸部骨折」「パーキンソン病」患者の看護</td><td>五反田聖子</td></tr><tr><td>第15回 終講試験・まとめ</td><td>五反田聖子</td></tr></tbody></table>				〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉	第1回：薬物療法を受ける高齢者の看護	五反田聖子	第2回：手術療法を受ける高齢者の看護	五反田聖子	第3回：リハビリテーションを受ける高齢者の看護	五反田聖子	第4回：入院治療を受ける高齢者の看護	五反田聖子	第5回：終末期にある高齢者への看護	五反田聖子	第6回：看取りを終えた家族への看護	五反田聖子	第7回：看護過程の展開:「大腿骨頸部骨折」「パーキンソン病」患者の看護	五反田聖子	第8回：看護過程の展開:「大腿骨頸部骨折」「パーキンソン病」患者の看護	五反田聖子	第9回：看護過程の展開:「大腿骨頸部骨折」「パーキンソン病」患者の看護	五反田聖子	第10回：看護過程の展開:「大腿骨頸部骨折」「パーキンソン病」患者の看護	五反田聖子	第11回：看護過程の展開:「大腿骨頸部骨折」「パーキンソン病」患者の看護	五反田聖子	第12回：看護過程の展開:「大腿骨頸部骨折」「パーキンソン病」患者の看護	五反田聖子	第13回：看護過程の展開:「大腿骨頸部骨折」「パーキンソン病」患者の看護	五反田聖子	第14回：看護過程の展開:「大腿骨頸部骨折」「パーキンソン病」患者の看護	五反田聖子	第15回 終講試験・まとめ	五反田聖子
〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉																																			
第1回：薬物療法を受ける高齢者の看護	五反田聖子																																			
第2回：手術療法を受ける高齢者の看護	五反田聖子																																			
第3回：リハビリテーションを受ける高齢者の看護	五反田聖子																																			
第4回：入院治療を受ける高齢者の看護	五反田聖子																																			
第5回：終末期にある高齢者への看護	五反田聖子																																			
第6回：看取りを終えた家族への看護	五反田聖子																																			
第7回：看護過程の展開:「大腿骨頸部骨折」「パーキンソン病」患者の看護	五反田聖子																																			
第8回：看護過程の展開:「大腿骨頸部骨折」「パーキンソン病」患者の看護	五反田聖子																																			
第9回：看護過程の展開:「大腿骨頸部骨折」「パーキンソン病」患者の看護	五反田聖子																																			
第10回：看護過程の展開:「大腿骨頸部骨折」「パーキンソン病」患者の看護	五反田聖子																																			
第11回：看護過程の展開:「大腿骨頸部骨折」「パーキンソン病」患者の看護	五反田聖子																																			
第12回：看護過程の展開:「大腿骨頸部骨折」「パーキンソン病」患者の看護	五反田聖子																																			
第13回：看護過程の展開:「大腿骨頸部骨折」「パーキンソン病」患者の看護	五反田聖子																																			
第14回：看護過程の展開:「大腿骨頸部骨折」「パーキンソン病」患者の看護	五反田聖子																																			
第15回 終講試験・まとめ	五反田聖子																																			
評価方法	筆記試験:70% グループ演習、出席状況、授業態度、提出物など:30%																																			
指定図書	1. 系統看護学講座 老年看護学:医学書院 2. 系統看護学講座 老年看護 病態・疾患論:医学書院																																			
参考書	各専門分野や看護学分野の教科書、副読本等を参考に活用してください。																																			
事前・事後学修	演習にてグループワークや実際に技術演習を行います。講義での振り返りやグループ間での情報共有を行い、臨みましょう。																																			
実務経験のある教員による実践的授業	看護師として豊富な実務経験をふまえ、障害・疾病をもつ高齢者の講義・演習を行う。																																			

専門分野 小児看護学

科目名	小児看護学概論	単位 1	時間 30	開校年次 2 年次 前期
科目責任者	上田平 昌代			
科目概要	看護の対象である小児の特性について学ぶ。また、小児を取り巻く環境が小児にどのような影響を与えているかを理解し、子どもにとってよりよい環境とは何かについて学ぶ。さらに、子どもの権利について学習することで、子どもの最善の利益にかなう医療・看護について学習する。小児の成長発達を理解し、発達段階に応じた日常生活の支援について学習する。また、現在小児が抱える健康問題にも着目し、健康の保持増進のための支援についても学習する。			
到達目標	1. 看護の対象である小児とその特性について理解できる。 2. 現代の小児を取り巻く環境を理解し、小児にとってよりよい環境について理解できる。 3. 子どもの権利について理解する。 4. 子どもの成長発達を理解し、発達段階に応じた日常生活の支援について理解する。また、各発達段階における小児の健康問題について学習し、健康を増進するための支援について理解する。 5. 小児とその家族を援護するための保健制度について理解する。			
授業計画	〈授業内容・テーマ等〉 第 1 回 : 発達段階からみた小児の区分 第 2 回 : 小児を取り巻く環境(小児と家族) 第 3 回 : 小児を取り巻く環境(子どもにとってよりよい環境とは) 第 4 回 : 小児看護における倫理 第 5 回 : 子どもの成長発達:形態的成長 第 6 回 : 子どもの成長発達:形態的成長 第 7 回 : 子どもの成長発達:機能的発達 第 8 回 : 子どもの成長発達:機能的発達 第 9 回 : 子どもの成長発達:精神運動・心理社会的発達・性の発達 第 10 回 : 小児の発達段階に応じた日常生活の援助と健康増進のための看護 第 11 回 : 小児の発達段階に応じた日常生活の援助と健康増進のための看護 第 12 回 : 小児の発達段階に応じた日常生活の援助と健康増進のための看護 第 13 回 : 母子保健と医療援護 第 14 回 : 小児保健の動向と小児保健統計 第 15 回 : まとめ・終講試験 〈担当教員名〉 上田平昌代 上田平昌代 上田平昌代 上田平昌代 上田平昌代 上田平昌代 上田平昌代 上田平昌代 上田平昌代 上田平昌代 上田平昌代 上田平昌代 上田平昌代 上田平昌代 上田平昌代			
評価方法	評価の基準は、以下のとおりとする 【筆記試験】 終講試験 90% 【レポート】 授業内レポートおよび課題 10%(未提出、提出遅れ、内容が不足している場合は減点する)			
指定図書	1. 系統看護学講座 小児看護学概論 小児臨床看護総論 小児看護学① 医学書院			
参考書	1. 国民衛生の動向 厚生統計協会			
事前・事後学修	子どもにとってよりよい環境について、現代の状況を踏まえながら考えていきましょう。また、成長・発達については、周囲の子どもを観察したり、自己の子ども時代を振り返りながら、小児の身体的・精神的・社会的特徴について捉えていきましょう。			
実務経験のある教員による実践的授業	看護師として豊富な実務経験をふまえ、看護の対象である小児の特性、子どもの権利、小児の成長発達、小児の発達段階に応じた日常生活の援助と健康増進のための看護について講義・演習を行う。			

専門分野 小児看護学

科目名	小児看護方法論Ⅰ	単位 1	時間 30	開校年次 2 年次 後期
科目責任者	上田平 昌代			
科目概要	健康問題や入院が小児と家族に与える影響を学習し、健康障害をもつ小児と家族に適切な看護について学ぶ。			
到達目標	健康問題や入院および治療が小児と家族に与える影響を理解し、事例を通して看護過程の展開(情報収集, アセスメント, 問題点の抽出, 看護計画の立案)ができる。			
授業計画	〈授業内容・テーマ等〉 第 1 回 : 小児看護の対象と目標, 快適な病院環境に向けての看護 第 2 回 : 快適な病院環境に向けての看護(安全管理) 第 3 回 : 小児看護の場と看護の特徴(外来看護) 第 4 回 : 小児看護の場と看護の特徴(在宅看護) 第 5 回 : 健康問題/障害および入院が小児と家族に及ぼす影響 第 6 回 : 健康問題/障害および入院が小児と家族に及ぼす影響 第 7 回 : 小児にみられる主な症状と看護 第 8 回 : 小児にみられる主な症状と看護 第 9 回 : 小児にみられる主な症状と看護 第 10 回 : 小児にみられる主な症状と看護 第 11 回 : 急性的経過をたどる健康問題/看護 第 12 回 : 慢性的経過をたどる健康問題/看護 第 13 回 : ターミナル期に至る健康問題/障害と看護 第 14 回 : 急性期/慢性期における事例展開 第 15 回 : 終講試験, まとめ 〈担当教員名〉 上田平昌代 上田平昌代 上田平昌代 上田平昌代 上田平昌代 上田平昌代 上田平昌代 上田平昌代 上田平昌代 上田平昌代 上田平昌代 上田平昌代 上田平昌代 上田平昌代 上田平昌代			
評価方法	レポート 20% 終講試験 100%			
指定図書	系統看護学講座 専門分野Ⅱ小児看護学概論 小児臨床看護総論 小児看護学① 医学書院			
参考書	1. 「新体系看護学28 小児看護学①」「小児看護概論・小児保健」メヂカルフレンド社 2. はやく元気になーれ 医学書院			
事前・事後学修	積極的に子どもの書いた手記を読み、健康障害をもつ小児の心理面を理解すること。主要症状の看護や経過別看護については、第 14 回の事例展開や臨地実習で活用できるように小児の解剖学的特徴を踏まえた上で理解するように努める。			
実務経験のある教員による実践的授業	看護師として豊富な実務経験をふまえ、健康障害をもつ小児と家族の看護について講義・演習を行う。			

専門分野 小児看護学

専門分野 小児看護学 科目名	小児看護方法論Ⅱ (健康障害をもつ患児と家族の看護)	単位 1	時間 30	開校年次 2 年次 後期
科目責任者	上田平 昌代			
科目概要	小児や家族が健康問題や障害により、直面しやすい状況について学ぶ。また、小児の成長・発達における特徴や看護、特に母親の心理的状況を踏まえながら健康問題・障害をもつ小児の発達段階に応じた看護について学ぶ。			
到達目標	小児や家族が健康問題や障害により、直面しやすい状況について理解する。また、小児の成長・発達における特徴や看護、特に母親の心理的状況を踏まえながら健康問題・障害をもつ小児の発達段階に応じた看護についても理解する。			
授業計画	〈授業内容・テーマ等〉 第 1 回： 治療処置、検査を受ける小児と家族 第 2 回： 救急処置を要する小児と家族 第 3 回： 活動制限を必要とする小児と家族 第 4 回： クリティカルな状況にある小児と家族 第 5 回： 救急処置を要する小児と家族 第 6 回： 感染防止の必要のある小児と家族 第 7 回： 手術を受ける小児と家族 第 8 回： 障害のある小児と家族 第 9 回： 先天的な問題をもつ小児と家族 第 10 回： 聴覚障害のある小児と家族 心の問題を抱えている小児と家族 第 11 回： 子どもの虐待と看護 第 12 回： 災害を受けた小児と家族 第 13 回： 検査・処置を受ける小児と家族への看護(演習) 第 14 回： 検査・処置を受ける小児と家族への看護(演習) 第 15 回： 終講テスト 筆記試験 〈担当教員名〉 上田平昌代 上田平昌代 上田平昌代 上田平昌代 上田平昌代 上田平昌代 上田平昌代 上田平昌代 上田平昌代 上田平昌代 上田平昌代 上田平昌代 上田平昌代 上田平昌代 上田平昌代 上田平昌代 上田平昌代 上田平昌代 上田平昌代			
評価方法	筆記試験			
指定図書	系統看護学講座 専門分野Ⅱ小児看護学概論 小児臨床看護総論 小児看護学① 医学書院			
参考書	適時紹介します。			
事前・事後学修	1. 健康障害をもつ子どもの手記など積極的に読み、健康障害が子ども、その家族に与える影響を理解するようにしましょう。 2. 小児看護技術に関しては、自主的にビデオを視聴しましょう。臨地実習前に積極的に自己演習を行い技術の向上に努めていきましょう。			
実務経験のある教員による実践的授業	看護師として豊富な実務経験をふまえ、さまざまな状況小児と家族の看護について講義・演習を行う。			

専門分野 小児看護学

科目名	小児看護方法論Ⅲ (小児看護技術)	単位 1	時間 15	開校年次 3 年次 前期																		
科目責任者	原 園 伸 子																					
科目概要	小児看護概論、小児保健、小児看護学方法論Ⅰで学習した知識・技術を、事例展開や演習を活用して実践し、小児と家族のより適切な援助や養護の重要性の理解を深める。																					
到達目標	1. 小児期にある対象の健康問題の解決に必要な基礎的知識を理解する。 2. 小児看護の基本的技術を習得する。																					
授業計画	<table><thead><tr><th>〈授業内容・テーマ等〉</th><th>〈担当教員名〉</th></tr></thead><tbody><tr><td>第1回：コミュニケーション技術</td><td>原 園 伸 子</td></tr><tr><td>第2回：フィジカルアセスメント 小児の系統的アセスメント, 身体計測, バイタルサインの測定</td><td>原 園 伸 子</td></tr><tr><td>第3回：診療に伴う技術 輸液管理・与薬</td><td>原 園 伸 子</td></tr><tr><td>第4回：診療に伴う技術 呼吸管理(吸引・体位ドレナージ・吸入・酸素療法)</td><td>原 園 伸 子</td></tr><tr><td>第5回：診療に伴う技術 経管栄養法, 検体採取(採血・採尿)腰椎穿刺・骨髄穿刺</td><td>原 園 伸 子</td></tr><tr><td>第6回：技術演習 身体計測, 採血時の固定, 酸素療法, 持続点滴時の固定</td><td>原 園 伸 子</td></tr><tr><td>第7回：外来看護演習</td><td>原 園 伸 子</td></tr><tr><td>第8回：終講試験</td><td>原 園 伸 子</td></tr></tbody></table>				〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉	第1回：コミュニケーション技術	原 園 伸 子	第2回：フィジカルアセスメント 小児の系統的アセスメント, 身体計測, バイタルサインの測定	原 園 伸 子	第3回：診療に伴う技術 輸液管理・与薬	原 園 伸 子	第4回：診療に伴う技術 呼吸管理(吸引・体位ドレナージ・吸入・酸素療法)	原 園 伸 子	第5回：診療に伴う技術 経管栄養法, 検体採取(採血・採尿)腰椎穿刺・骨髄穿刺	原 園 伸 子	第6回：技術演習 身体計測, 採血時の固定, 酸素療法, 持続点滴時の固定	原 園 伸 子	第7回：外来看護演習	原 園 伸 子	第8回：終講試験	原 園 伸 子
〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉																					
第1回：コミュニケーション技術	原 園 伸 子																					
第2回：フィジカルアセスメント 小児の系統的アセスメント, 身体計測, バイタルサインの測定	原 園 伸 子																					
第3回：診療に伴う技術 輸液管理・与薬	原 園 伸 子																					
第4回：診療に伴う技術 呼吸管理(吸引・体位ドレナージ・吸入・酸素療法)	原 園 伸 子																					
第5回：診療に伴う技術 経管栄養法, 検体採取(採血・採尿)腰椎穿刺・骨髄穿刺	原 園 伸 子																					
第6回：技術演習 身体計測, 採血時の固定, 酸素療法, 持続点滴時の固定	原 園 伸 子																					
第7回：外来看護演習	原 園 伸 子																					
第8回：終講試験	原 園 伸 子																					
評価方法	筆記試験																					
指定図書	系統看護学講座 専門分野Ⅱ小児看護学概論 小児臨床看護総論 小児看護学❶ 医学書院																					
参考書	適時紹介します。																					
事前・事後学修	小児看護技術については、自主的にビデオを視聴しましょう。臨地実習前に積極的に自己演習を行い技術の向上に努めていきましょう。																					
実務経験のある教員による実践的授業	小児科の看護師として豊富な実務経験をふまえ、小児看護の基本的技術について講義・演習を行う。																					

専門分野 母性看護学

科目名	母性看護学概論	単位 1	15 時間	開校年次 1 年次 後期
科目責任者	松元 蘭子			
科目概要	母性の概念と母性看護の役割を理解し性と生殖に関する基礎的知識を基に事例演習を通して性の価値観と看護者としての倫理観を養う。			
到達目標	1. 母性とはなにか、親になる事の意味を生物学的・発達心理学的・社会文化的に考えることを通して母性について幅広く考えることができる。 2. 母性をめぐるさまざまな定義(セクシュアリティの概念・リプロダクティブヘルス/ライツ)を理解することができる。 3. 性と生殖に関する権利「生む性・生まない性・産めない性」について考え関係法規の視点で考えることができる。			
授業計画	〈授業内容・テーマ等〉 第 1 回 : 母性の概念 1) 母性とは 2) 母子関係と家族発達 3) セクシュアリティ(人間の性) 4) ヘルスプロモーション 第 2 回 : 母性看護の対象理解 1) 形態・機能の変化 2) 女性の外性器・内性器、月経・子宮内膜の周期的変化、妊娠 第 3 回 : 母性看護の歴史的変化 第 4 回 : 母子保健統計の動向 1) 出生、出産年齢、妊娠期間、出生時体重、出生場所 2) 妊産婦死亡、死産、周産期死亡、乳児死亡 3) 人工妊娠中絶 第 5 回 : 母性看護の役割 第 6 回 : 母性看護と生命倫理 いのち・性に対して考える 第 7 回 : まとめ 第 8 回 : 終講試験 〈担当教員名〉 松元 蘭子 松元 蘭子 松元 蘭子 松元 蘭子 松元 蘭子 松元 蘭子 松元 蘭子 松元 蘭子			
評価方法	終講試験 80% 事例演習 10%(グループワーク取り組み 10% ・ ディベート評価 10%)			
指定図書	1.系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学概論 母性看護学① 医学書院			
参考書	1.新体系 看護学全書 母性看護学① 母性看護学概論 ウイメンズヘルスと看護 2.NICU 母性看護学Ⅰ 概論・ライフサイクル 生涯を通じた性と生殖の健康を支える 南江堂			
事前・事後学修	第 5 回～第 6 回の事例演習はあらかじめ配布されたキーワードを基に各自が事前学習を行う。そのうえでグループワークを行い活発な意見交換を行う。			
実務経験のある教員による実践的授業	助産師として豊富な実務経験をふまえ、母性の概念について講義・演習を行う。			

専門分野 母性看護学

科目名	母性保健	単位 1	30 時間	開校年次 2 年次 前期
科目責任者	原田 美由紀			
科目概要	女性の一生を通じた母性の健康の保持・増進を目指した看護を基盤として、次世代の健全育成を目指す看護について学習する。			
到達目標	1. 母性の健康を維持・増進するための基礎的知識を学ぶ。 2. 母子を取り巻く現状と対策を理解する。 3. 女性のライフサイクルにおける各期の特徴を理解し、母性保健活動の役割を学ぶ。 4. 思春期の時期である対象に対して保健指導を行うことが出来る。			
授業計画	〈授業内容・テーマ等〉 〈担当教員名〉 第 1 回 : 母子保健・福祉(女性就労と母性保護に関する法律) 原田美由紀 第 2 回 : 母性看護に関わる施策 原田美由紀 第 3 回 : 母性看護に関わる機関・職種と女性のライフサイクル 原田美由紀 第 4 回 : 思春期の健康問題とその看護 原田美由紀 第 5 回 : 成熟期の健康問題とその看護 原田美由紀 第 6 回 : 更年期・老年期の健康問題とその看護 原田美由紀 第 7 回 : 妊娠期の保健指導・健康管理について 原田美由紀 第 8 回 : 産褥・育児期の保健指導・健康管理について 原田美由紀 第 9 回 : 家族計画・受胎調節(グループ 学習) 原田美由紀 第 10 回 : 家族計画・受胎調節(グループ 発表), 性感染症 原田美由紀 第 11 回 : 人工妊娠中絶と看護 原田美由紀 第 12 回 : 喫煙女性に対する健康の援助 原田美由紀 第 13 回 : HIV-1 感染の妊・産・褥婦への援助 原田美由紀 第 14 回 : 練習問題 原田美由紀 第 15 回 : 終講試験・まとめ 原田美由紀			
評価方法	終講試験 80% 演習 20%(事前レポート 10%・グループワークに取り組み姿勢 10%)			
指定図書	1. 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学概論 母性看護学① 医学書院 2. 国民衛生の動向 2022/2023 一般財団法人 厚生労働統計協会			
参考書	1. ナーシング・グラフィカ 母性看護学① 母性看護実践の基本			
事前・事後学修	第 9 回～第 10 回の演習は、学生各自が事前学習を行いその上グループワークを行い活発な意見交換を行う。			
実務経験のある教員による実践的授業	助産師として豊富な実務経験をふまえ母性の健康の保持・増進を目指した看護について講義・演習を行う。			

専門分野 母性看護学

科目名	母性看護方法論Ⅰ	単位 1	30 時間	開校年次 2 年次 前期																																
科目責任者	岩元 妙子 山下 百恵																																			
科目概要	正常経過にある妊産婦の看護について学ぶ。また、対象のニーズや対象を取り巻く家族も含めた看護援助について学習する。																																			
到達目標	1.妊娠・分娩の正常な経過を知り、その維持・促進のための看護を学ぶことができる。 2. 正常からの逸脱を予測してその予防と看護について学ぶことができる。 3.子どもの誕生を迎える家族の役割への援助について学ぶことができる。																																			
授業計画	<table><thead><tr><th>〈授業内容・テーマ等〉</th><th>〈担当教員名〉</th></tr></thead><tbody><tr><td>第 1 回：正常妊娠の経過と看護①妊娠の成立と正常な経過</td><td>岩元 妙子</td></tr><tr><td>第 2 回：正常妊娠の経過と看護②妊娠の身体的特徴</td><td>岩元 妙子</td></tr><tr><td>第 3 回：正常妊娠の経過と看護③妊娠の心理・社会的特徴</td><td>岩元 妙子</td></tr><tr><td>第 4 回：正常妊娠の経過と看護④妊婦の健康管理の方法</td><td>岩元 妙子</td></tr><tr><td>第 5 回：正常妊娠の経過と看護⑤妊婦の日常生活とセルフケア(妊婦体操)</td><td>岩元 妙子</td></tr><tr><td>第 6 回：正常妊娠の経過と看護⑥妊婦の診察とその介助の実際 (腹囲、子宮底測定、レオポルド四段診察法)</td><td>岩元 妙子</td></tr><tr><td>第 7 回：産婦の特徴とその状況に応じた看護① 分娩の機序と経過</td><td>山下 百恵</td></tr><tr><td>第 8 回：産婦の特徴とその状況に応じた看護②産婦の看護(分娩の方法・産痛緩和など)</td><td>山下 百恵</td></tr><tr><td>第 9 回：産婦の特徴とその状況に応じた看護③産婦の看護(産婦の特徴と看護のアセスメント)</td><td>山下 百恵</td></tr><tr><td>第 10 回：産婦の特徴とその状況に応じた看護④産婦の看護(産婦の特徴と看護のアセスメント)</td><td>山下 百恵</td></tr><tr><td>第 11 回：産婦の特徴とその状況に応じた看護⑤胎児心音の観察</td><td>山下 百恵</td></tr><tr><td>第 12 回：妊娠中に起こりやすい異常の看護①(流産・早産・妊娠高血圧症候群)</td><td>岩元 妙子</td></tr><tr><td>第 13 回：妊娠中に起こりやすい異常の看護②(常位単盤早期剥離、前置胎盤など)</td><td>岩元 妙子</td></tr><tr><td>第 14 回：ハイリスク妊娠と看護</td><td>岩元 妙子</td></tr><tr><td>第 15 回：終講試験・まとめ</td><td>岩元 妙子 山下 百恵</td></tr></tbody></table>				〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉	第 1 回：正常妊娠の経過と看護①妊娠の成立と正常な経過	岩元 妙子	第 2 回：正常妊娠の経過と看護②妊娠の身体的特徴	岩元 妙子	第 3 回：正常妊娠の経過と看護③妊娠の心理・社会的特徴	岩元 妙子	第 4 回：正常妊娠の経過と看護④妊婦の健康管理の方法	岩元 妙子	第 5 回：正常妊娠の経過と看護⑤妊婦の日常生活とセルフケア(妊婦体操)	岩元 妙子	第 6 回：正常妊娠の経過と看護⑥妊婦の診察とその介助の実際 (腹囲、子宮底測定、レオポルド四段診察法)	岩元 妙子	第 7 回：産婦の特徴とその状況に応じた看護① 分娩の機序と経過	山下 百恵	第 8 回：産婦の特徴とその状況に応じた看護②産婦の看護(分娩の方法・産痛緩和など)	山下 百恵	第 9 回：産婦の特徴とその状況に応じた看護③産婦の看護(産婦の特徴と看護のアセスメント)	山下 百恵	第 10 回：産婦の特徴とその状況に応じた看護④産婦の看護(産婦の特徴と看護のアセスメント)	山下 百恵	第 11 回：産婦の特徴とその状況に応じた看護⑤胎児心音の観察	山下 百恵	第 12 回：妊娠中に起こりやすい異常の看護①(流産・早産・妊娠高血圧症候群)	岩元 妙子	第 13 回：妊娠中に起こりやすい異常の看護②(常位単盤早期剥離、前置胎盤など)	岩元 妙子	第 14 回：ハイリスク妊娠と看護	岩元 妙子	第 15 回：終講試験・まとめ	岩元 妙子 山下 百恵
〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉																																			
第 1 回：正常妊娠の経過と看護①妊娠の成立と正常な経過	岩元 妙子																																			
第 2 回：正常妊娠の経過と看護②妊娠の身体的特徴	岩元 妙子																																			
第 3 回：正常妊娠の経過と看護③妊娠の心理・社会的特徴	岩元 妙子																																			
第 4 回：正常妊娠の経過と看護④妊婦の健康管理の方法	岩元 妙子																																			
第 5 回：正常妊娠の経過と看護⑤妊婦の日常生活とセルフケア(妊婦体操)	岩元 妙子																																			
第 6 回：正常妊娠の経過と看護⑥妊婦の診察とその介助の実際 (腹囲、子宮底測定、レオポルド四段診察法)	岩元 妙子																																			
第 7 回：産婦の特徴とその状況に応じた看護① 分娩の機序と経過	山下 百恵																																			
第 8 回：産婦の特徴とその状況に応じた看護②産婦の看護(分娩の方法・産痛緩和など)	山下 百恵																																			
第 9 回：産婦の特徴とその状況に応じた看護③産婦の看護(産婦の特徴と看護のアセスメント)	山下 百恵																																			
第 10 回：産婦の特徴とその状況に応じた看護④産婦の看護(産婦の特徴と看護のアセスメント)	山下 百恵																																			
第 11 回：産婦の特徴とその状況に応じた看護⑤胎児心音の観察	山下 百恵																																			
第 12 回：妊娠中に起こりやすい異常の看護①(流産・早産・妊娠高血圧症候群)	岩元 妙子																																			
第 13 回：妊娠中に起こりやすい異常の看護②(常位単盤早期剥離、前置胎盤など)	岩元 妙子																																			
第 14 回：ハイリスク妊娠と看護	岩元 妙子																																			
第 15 回：終講試験・まとめ	岩元 妙子 山下 百恵																																			
評価方法	終講試験 80%、出席状況および提出物 20%																																			
指定図書	1.系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学各論 医学書院																																			
参考書	1.看護実践のための根拠がわかる 母性看護技術 メジカルフレンド社																																			
事前・事後学修	事前学習は、授業の最後に、次回授業までの課題を提示する。 事後学修は、授業内容を問うミニテスト出題し振り返りを行う。																																			
実務経験のある教員による実践的授業	助産師として豊富な実務経験をふまえ正常経過にある妊産婦の看護について講義・演習を行う。																																			

専門分野 母性看護学

科目名	母性看護方法論Ⅱ	単位 1	30 時間	開校年次 2 年次 後期																																
科目責任者	松元 蘭子																																			
科目概要	褥婦および新生児の正常を理解し、対象者のアセスメントを行い看護援助に必要な基礎的な知識・技術を学習する。																																			
到達目標	1.褥婦の特徴を理解し、その状況に応じた看護を学ぶ。 2.新生児の生理的变化、正常な経過を理解し母子に対する看護を学ぶ。 3.産褥期・新生児期の異常における看護を学ぶ。																																			
授業計画	<table><thead><tr><th>〈授業内容・テーマ等〉</th><th>〈担当教員名〉</th></tr></thead><tbody><tr><td>第 1 回：産褥の定義・生理</td><td>松元 蘭子</td></tr><tr><td>第 2 回：産褥期の身体的変化、母親になることへの適応過程</td><td>松元 蘭子</td></tr><tr><td>第 3 回：産褥経過の診断</td><td>松元 蘭子</td></tr><tr><td>第 4 回：褥婦のセルフケア不足に対する看護</td><td>松元 蘭子</td></tr><tr><td>第 5 回：家族計画・避妊方法、マタニティーブルーズ・産後うつ病</td><td>松元 蘭子</td></tr><tr><td>第 6 回：新生児の定義・特徴</td><td>松元 蘭子</td></tr><tr><td>第 7 回：子宮外適応現象、呼吸・循環・体温</td><td>松元 蘭子</td></tr><tr><td>第 8 回：新生児の消化と吸収、生理的体重減少、生理的黄疸、原始反射</td><td>松元 蘭子</td></tr><tr><td>第 9 回：新生児の皮膚、感覚機能(聴覚・視覚)、新生児期に実施される検査、 ビタミン K</td><td>松元 蘭子</td></tr><tr><td>第 10 回：出生直後から退院時の看護</td><td>松元 蘭子</td></tr><tr><td>第 11 回：医療事故、医療安全、感染予防・母乳育児</td><td>松元 蘭子</td></tr><tr><td>第 12 回：NST(ノンストレステスト)、分娩監視装置、胎児機能不全(徐脈)</td><td>松元 蘭子</td></tr><tr><td>第 13 回：ハイリスク新生児、低出生体重児の看護</td><td>松元 蘭子</td></tr><tr><td>第 14 回：異 常産褥の看護</td><td>松元 蘭子</td></tr><tr><td>第 15 回：終講試験・まとめ</td><td>松元 蘭子</td></tr></tbody></table>				〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉	第 1 回：産褥の定義・生理	松元 蘭子	第 2 回：産褥期の身体的変化、母親になることへの適応過程	松元 蘭子	第 3 回：産褥経過の診断	松元 蘭子	第 4 回：褥婦のセルフケア不足に対する看護	松元 蘭子	第 5 回：家族計画・避妊方法、マタニティーブルーズ・産後うつ病	松元 蘭子	第 6 回：新生児の定義・特徴	松元 蘭子	第 7 回：子宮外適応現象、呼吸・循環・体温	松元 蘭子	第 8 回：新生児の消化と吸収、生理的体重減少、生理的黄疸、原始反射	松元 蘭子	第 9 回：新生児の皮膚、感覚機能(聴覚・視覚)、新生児期に実施される検査、 ビタミン K	松元 蘭子	第 10 回：出生直後から退院時の看護	松元 蘭子	第 11 回：医療事故、医療安全、感染予防・母乳育児	松元 蘭子	第 12 回：NST(ノンストレステスト)、分娩監視装置、胎児機能不全(徐脈)	松元 蘭子	第 13 回：ハイリスク新生児、低出生体重児の看護	松元 蘭子	第 14 回：異 常産褥の看護	松元 蘭子	第 15 回：終講試験・まとめ	松元 蘭子
〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉																																			
第 1 回：産褥の定義・生理	松元 蘭子																																			
第 2 回：産褥期の身体的変化、母親になることへの適応過程	松元 蘭子																																			
第 3 回：産褥経過の診断	松元 蘭子																																			
第 4 回：褥婦のセルフケア不足に対する看護	松元 蘭子																																			
第 5 回：家族計画・避妊方法、マタニティーブルーズ・産後うつ病	松元 蘭子																																			
第 6 回：新生児の定義・特徴	松元 蘭子																																			
第 7 回：子宮外適応現象、呼吸・循環・体温	松元 蘭子																																			
第 8 回：新生児の消化と吸収、生理的体重減少、生理的黄疸、原始反射	松元 蘭子																																			
第 9 回：新生児の皮膚、感覚機能(聴覚・視覚)、新生児期に実施される検査、 ビタミン K	松元 蘭子																																			
第 10 回：出生直後から退院時の看護	松元 蘭子																																			
第 11 回：医療事故、医療安全、感染予防・母乳育児	松元 蘭子																																			
第 12 回：NST(ノンストレステスト)、分娩監視装置、胎児機能不全(徐脈)	松元 蘭子																																			
第 13 回：ハイリスク新生児、低出生体重児の看護	松元 蘭子																																			
第 14 回：異 常産褥の看護	松元 蘭子																																			
第 15 回：終講試験・まとめ	松元 蘭子																																			
評価方法	終講試験 80%、出席状況・提出物 20%																																			
指定図書	1.系統看護学講座 専門分野Ⅱ 母性看護学各論 医学書院 2.看護の実践のための根拠がわかる 母性看護技術 メヂカルフレンド社																																			
参考書	1. ウエルネスからみた 母子看護過程 第 2 版 医学書院 2. 看護実践のための根拠がわかる 母性看護技術 メヂカルフレンド社																																			
事前・事後学修	第 12 回～第 13 回の事例展開は各自で事前学習や既習内容を踏まえて行う。また、第 14 回の演習は事前に技術の手順書を作成し演習に臨む。																																			
実務経験のある教員による実践的授業	助産師として豊富な実務経験をふまえ正常経過にある褥婦および新生児の看護について講義・演習を行う。																																			

専門分野 精神看護学

科目名	精神看護学概論	単位 1	時間 15	開校年次 1年次 後期																		
科目責任者	福丸 隼太																					
科目概要	精神疾患を抱えながら生きる対象者を理解し、当事者の主観的体験をふまえた 看護を行うための基本的な視点および知識について学修する。																					
到達目標	1. 精神看護の対象について学ぶ。 2. 精神看護学に関連する理論や、精神看護の変遷を知り、現状の問題点を把握し、今後の課題について学ぶ。																					
授業計画	<table><thead><tr><th>〈授業内容・テーマ等〉</th><th>〈担当教員名〉</th></tr></thead><tbody><tr><td>第1回 : 精神看護学の特徴 1)精神看護の対象とは 2)精神看護学の基本的考え方 3)入院形態</td><td>福丸 隼太</td></tr><tr><td>第2回 : 精神保健医療の歴史的変遷</td><td>福丸 隼太</td></tr><tr><td>第3回 : 精神看護学の関連理論 1)対人関係論</td><td>福丸 隼太</td></tr><tr><td>第4回 : 精神看護学の関連理論 2)コミュニケーション論</td><td>福丸 隼太</td></tr><tr><td>第5回 : 精神疾患とその症状について 1)知覚の障害 2)思考障害 3)自我意識の障害 4)感情障害</td><td>福丸 隼太</td></tr><tr><td>第6回 : 精神疾患とその症状について 1)意欲(欲動+意志)・行動の障害 2)意識の障害 3)知能の障害</td><td>福丸 隼太</td></tr><tr><td>第7回 : これからの精神看護学 1)リエゾン精神看護患者の権利擁護</td><td>福丸 隼太</td></tr><tr><td>第8回 : 終講試験・まとめ</td><td>福丸 隼太</td></tr></tbody></table>				〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉	第1回 : 精神看護学の特徴 1)精神看護の対象とは 2)精神看護学の基本的考え方 3)入院形態	福丸 隼太	第2回 : 精神保健医療の歴史的変遷	福丸 隼太	第3回 : 精神看護学の関連理論 1)対人関係論	福丸 隼太	第4回 : 精神看護学の関連理論 2)コミュニケーション論	福丸 隼太	第5回 : 精神疾患とその症状について 1)知覚の障害 2)思考障害 3)自我意識の障害 4)感情障害	福丸 隼太	第6回 : 精神疾患とその症状について 1)意欲(欲動+意志)・行動の障害 2)意識の障害 3)知能の障害	福丸 隼太	第7回 : これからの精神看護学 1)リエゾン精神看護患者の権利擁護	福丸 隼太	第8回 : 終講試験・まとめ	福丸 隼太
〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉																					
第1回 : 精神看護学の特徴 1)精神看護の対象とは 2)精神看護学の基本的考え方 3)入院形態	福丸 隼太																					
第2回 : 精神保健医療の歴史的変遷	福丸 隼太																					
第3回 : 精神看護学の関連理論 1)対人関係論	福丸 隼太																					
第4回 : 精神看護学の関連理論 2)コミュニケーション論	福丸 隼太																					
第5回 : 精神疾患とその症状について 1)知覚の障害 2)思考障害 3)自我意識の障害 4)感情障害	福丸 隼太																					
第6回 : 精神疾患とその症状について 1)意欲(欲動+意志)・行動の障害 2)意識の障害 3)知能の障害	福丸 隼太																					
第7回 : これからの精神看護学 1)リエゾン精神看護患者の権利擁護	福丸 隼太																					
第8回 : 終講試験・まとめ	福丸 隼太																					
評価方法	終講試験 100%																					
指定図書	1. 系統看護学講座 専門Ⅱ 精神看護学① (株)医学書院 2. 系統看護学講座 専門Ⅱ 精神看護学② (株)医学書院																					
参考書	1. 看護学テキスト NiCE 精神看護学Ⅰ・Ⅱ (株)南江堂 2. 精神看護学精神保健 医歯薬出版																					
事前・事後学修	指定図書を活用して毎回の授業内容に関連したページを具体的に指示します。その指示された部分を事前事後学習としてよく読んで授業に出席してください。																					
実務経験のある教員による実践的授業	精神科看護としての豊富な実務経験をふまえ精神看護の対象と精神看護学に関連する理論や、精神看護の変遷看護について講義・演習を行う。																					

専門分野 精神看護学

科目名	精神保健	単位 1	時間 30	開校年次 1年次 後期																																
科目責任者	山下 みどり																																			
科目概要	ライフサイクル各期における精神保健の課題および地域で暮らす精神障害者への精神保健指導、生活支援に必要な基本的な知識と方法を学修する。																																			
到達目標	人間の精神の健康と発達について知り、精神の健康保持・増進のための知識と方法について学ぶ。																																			
授業計画	<table><thead><tr><th>〈授業内容・テーマ等〉</th><th>〈担当教員名〉</th></tr></thead><tbody><tr><td>第 1回：精神保健とは</td><td>山下 みどり</td></tr><tr><td>第 2回：心の発達①</td><td>山下 みどり</td></tr><tr><td>第 3回：心の発達②</td><td>山下 みどり</td></tr><tr><td>第 4回：性の発達</td><td>山下 みどり</td></tr><tr><td>第 5回：家族と精神の健康</td><td>山下 みどり</td></tr><tr><td>第 6回：学校と精神の健康</td><td>山下 みどり</td></tr><tr><td>第 7回：仕事と精神の健康</td><td>山下 みどり</td></tr><tr><td>第 8回：地域における生活と精神の健康</td><td>山下 みどり</td></tr><tr><td>第 9回：危機理論・危機モデル</td><td>山下 みどり</td></tr><tr><td>第10回：ストレスとコーピング</td><td>山下 みどり</td></tr><tr><td>第11回：セルフマネジメント</td><td>山下 みどり</td></tr><tr><td>第12回：現代社会における精神保健の主な問題① いじめ、虐待、ひきこもり</td><td>山下 みどり</td></tr><tr><td>第13回：現代社会における精神保健の主な問題② 自殺</td><td>山下 みどり</td></tr><tr><td>第14回：現代社会における精神保健の主な問題③ (アルコール、薬物、ギャンブル、ゲーム 他)</td><td>山下 みどり</td></tr><tr><td>第15回：終講試験・まとめ</td><td>山下 みどり</td></tr></tbody></table>				〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉	第 1回：精神保健とは	山下 みどり	第 2回：心の発達①	山下 みどり	第 3回：心の発達②	山下 みどり	第 4回：性の発達	山下 みどり	第 5回：家族と精神の健康	山下 みどり	第 6回：学校と精神の健康	山下 みどり	第 7回：仕事と精神の健康	山下 みどり	第 8回：地域における生活と精神の健康	山下 みどり	第 9回：危機理論・危機モデル	山下 みどり	第10回：ストレスとコーピング	山下 みどり	第11回：セルフマネジメント	山下 みどり	第12回：現代社会における精神保健の主な問題① いじめ、虐待、ひきこもり	山下 みどり	第13回：現代社会における精神保健の主な問題② 自殺	山下 みどり	第14回：現代社会における精神保健の主な問題③ (アルコール、薬物、ギャンブル、ゲーム 他)	山下 みどり	第15回：終講試験・まとめ	山下 みどり
〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉																																			
第 1回：精神保健とは	山下 みどり																																			
第 2回：心の発達①	山下 みどり																																			
第 3回：心の発達②	山下 みどり																																			
第 4回：性の発達	山下 みどり																																			
第 5回：家族と精神の健康	山下 みどり																																			
第 6回：学校と精神の健康	山下 みどり																																			
第 7回：仕事と精神の健康	山下 みどり																																			
第 8回：地域における生活と精神の健康	山下 みどり																																			
第 9回：危機理論・危機モデル	山下 みどり																																			
第10回：ストレスとコーピング	山下 みどり																																			
第11回：セルフマネジメント	山下 みどり																																			
第12回：現代社会における精神保健の主な問題① いじめ、虐待、ひきこもり	山下 みどり																																			
第13回：現代社会における精神保健の主な問題② 自殺	山下 みどり																																			
第14回：現代社会における精神保健の主な問題③ (アルコール、薬物、ギャンブル、ゲーム 他)	山下 みどり																																			
第15回：終講試験・まとめ	山下 みどり																																			
評価方法	終講試験 90% 課題提出 10%																																			
指定図書	1. 系統看護学講座 専門Ⅱ 精神看護学① (株)医学書院 2. 系統看護学講座 専門Ⅱ 精神看護学② (株)医学書院																																			
参考書	1. 看護学テキスト NiCE 精神看護学Ⅰ・Ⅱ (株)南江堂 2. 精神看護学精神保健 医歯薬出版																																			
事前・事後学修	指定図書を活用して毎回の授業内容に関連したページを具体的に指示します。その指示された部分を事前事後学習としてよく読んで授業に出席してください。																																			
実務経験のある教員による実践的授業	カウンセラーとして豊富な実務経験をふまえ、精神障害者への精神保健指導、生活支援に必要な基本的な知識と方法について講義を行う。																																			

専門分野 精神看護学

科目名	精神看護方法論Ⅰ	単位 1	時間 30	開校年次 2 年次前期																																
科目責任者	川畑 孝美																																			
科目概要	精神の健康に障害をもつ対象の心の理解と、対人関係の成立のための技術について学修する。																																			
到達目標	1. 精神の危機的状況や精神を障害された個人とその家族への援助方法を、人間関係及び問題解決過程の両側面から学習する。																																			
授業計画	<table><thead><tr><th>〈授業内容・テーマ等〉</th><th>〈担当教員名〉</th></tr></thead><tbody><tr><td>第1回：精神疾患の看護(統合失調症)</td><td>川畑 孝美</td></tr><tr><td>第2回：精神疾患の看護(気分障害)</td><td>川畑 孝美</td></tr><tr><td>第3回：精神疾患の看護(気分障害)</td><td>川畑 孝美</td></tr><tr><td>第4回：精神疾患の看護(神経症)</td><td>川畑 孝美</td></tr><tr><td>第5回：精神疾患の看護(行動障害、症状性精神病)</td><td>川畑 孝美</td></tr><tr><td>第6回：精神疾患の看護(アルコール・薬物障害)</td><td>川畑 孝美</td></tr><tr><td>第7回：精神疾患の看護(人格障害)</td><td>川畑 孝美</td></tr><tr><td>第8回：精神疾患の看護(器質性精神障害)</td><td>川畑 孝美</td></tr><tr><td>第9回：精神疾患の看護(自閉スペクトラム症)</td><td>川畑 孝美</td></tr><tr><td>第10回：精神疾患の看護(心身症)</td><td>川畑 孝美</td></tr><tr><td>第11回：検査を受ける患者の看護</td><td>川畑 孝美</td></tr><tr><td>第12回：薬物療法と看護</td><td>川畑 孝美</td></tr><tr><td>第13回：身体療法、精神療法と看護</td><td>川畑 孝美</td></tr><tr><td>第14回：生活療法と看護</td><td>川畑 孝美</td></tr><tr><td>第15回：終講試験・まとめ</td><td>川畑 孝美</td></tr></tbody></table>				〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉	第1回：精神疾患の看護(統合失調症)	川畑 孝美	第2回：精神疾患の看護(気分障害)	川畑 孝美	第3回：精神疾患の看護(気分障害)	川畑 孝美	第4回：精神疾患の看護(神経症)	川畑 孝美	第5回：精神疾患の看護(行動障害、症状性精神病)	川畑 孝美	第6回：精神疾患の看護(アルコール・薬物障害)	川畑 孝美	第7回：精神疾患の看護(人格障害)	川畑 孝美	第8回：精神疾患の看護(器質性精神障害)	川畑 孝美	第9回：精神疾患の看護(自閉スペクトラム症)	川畑 孝美	第10回：精神疾患の看護(心身症)	川畑 孝美	第11回：検査を受ける患者の看護	川畑 孝美	第12回：薬物療法と看護	川畑 孝美	第13回：身体療法、精神療法と看護	川畑 孝美	第14回：生活療法と看護	川畑 孝美	第15回：終講試験・まとめ	川畑 孝美
〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉																																			
第1回：精神疾患の看護(統合失調症)	川畑 孝美																																			
第2回：精神疾患の看護(気分障害)	川畑 孝美																																			
第3回：精神疾患の看護(気分障害)	川畑 孝美																																			
第4回：精神疾患の看護(神経症)	川畑 孝美																																			
第5回：精神疾患の看護(行動障害、症状性精神病)	川畑 孝美																																			
第6回：精神疾患の看護(アルコール・薬物障害)	川畑 孝美																																			
第7回：精神疾患の看護(人格障害)	川畑 孝美																																			
第8回：精神疾患の看護(器質性精神障害)	川畑 孝美																																			
第9回：精神疾患の看護(自閉スペクトラム症)	川畑 孝美																																			
第10回：精神疾患の看護(心身症)	川畑 孝美																																			
第11回：検査を受ける患者の看護	川畑 孝美																																			
第12回：薬物療法と看護	川畑 孝美																																			
第13回：身体療法、精神療法と看護	川畑 孝美																																			
第14回：生活療法と看護	川畑 孝美																																			
第15回：終講試験・まとめ	川畑 孝美																																			
評価方法	終講試験 100%																																			
指定図書	1. 系統看護学講座 専門Ⅱ 精神看護学① (株)医学書院 2. 系統看護学講座 専門Ⅱ 精神看護学② (株)医学書院																																			
参考書	1. 看護学テキスト NiCE 精神看護学Ⅰ・Ⅱ (株)南江堂 2. 精神看護学精神保健 医歯薬出版																																			
事前・事後学修	指定図書を活用して毎回の授業内容に関連したページを具体的に指示します。その指示された部分を事前事後学習としてよく読んで授業に出席してください。																																			
実務経験のある教員による実践的授業	精神科看護師としての豊富な実務経験をふまえ、精神の健康に障がいをもつ対象の心の理解と、対人関係の成立のための看護について講義・演習を行う。																																			

専門分野 精神看護学

科目名	精神看護方法論Ⅱ	単位 1	時間 30	開校年次 2 年次 後期
科目責任者	川畑 孝美			
科目概要	精神障害者の看護問題の特徴及び治療方法を理解し、精神活動に障害のある対象の看護について学修する。			
到達目標	1. 心を病む人への援助を理解し、また精神疾患患者の各治療過程における看護について学ぶ。			
授業計画	〈授業内容・テーマ等〉 〈担当教員名〉 〈授業内容・テーマ等〉 第1回：看護再構成① 川畑 孝美 第2回：看護再構成② 川畑 孝美 第3回：看護再構成③ 川畑 孝美 第4回：治療環境とその看護 川畑 孝美 第5回：薬物療法の実際 川畑 孝美 第6回：精神療法の実際 川畑 孝美 第7回：事例演習 統合失調症患者の看護① 川畑 孝美 第8回：事例演習 統合失調症患者の看護② 川畑 孝美 第9回：事例演習 双極性障害の看護 川畑 孝美 第10回：事例演習 神経症の看護 川畑 孝美 第11回：事例演習 パーソナリティ障害の看護 川畑 孝美 第12回：事例演習 アルコール依存症の看護 川畑 孝美 第13回：社会復帰の看護 川畑 孝美 第14回：地域における継続看護 川畑 孝美 第15回：終講試験・まとめ 川畑 孝美			
評価方法	終講試験 100%			
指定図書	1. 系統看護学講座 専門Ⅱ 精神看護学① (株)医学書院 2. 系統看護学講座 専門Ⅱ 精神看護学② (株)医学書院			
参考書	1. 看護学テキスト NiCE 精神看護学Ⅰ・Ⅱ (株)南江堂 2. 精神看護学精神保健 医歯薬出版			
事前・事後学修	指定図書を活用して毎回の授業内容に関連したページを具体的に指示します。その指示された部分を事前事後学習としてよく読んで授業に出席してください。			
実務経験のある教員による実践的授業	精神科看護師としての豊富な実務経験をふまえ、精神に障がいをもつ対象の看護について講義・演習を行う。			

専門分野 看護の統合と実践

科目名	看護管理と研究	単位 1	時間 30	開校年次 3 年次 通年
科目責任者	植屋 よしの 萬福 恵子			
科目概要	看護組織のなかで重要な看護管理とは何かについて基礎を学ぶ。組織における看護サービス・看護の質の保証、安全管理、情報管理の中で看護師の役割を理解し多職種との協働について学ぶ。看護研究では、研究の意義と方法、研究のプロセスについて教授する。学生は、体験した看護を振り返り、ケーススタディをまとめるなかで、研究の意義と方法を理解し、問題解決への科学的思考力を養い、研究的態度を身につける。			
到達目標	1. 看護管理の概念とマネジメントの基礎が理解できる。 2. 組織の中での看護師の役割を理解できる。 3. 看護体験を通して、問題解決への科学的思考力を養い、研究的態度を身につけることができる。			
授業計画	(授業内容・テーマ等) (担当教員名) 【看護管理:15 時間】 第1回 : 看護におけるマネジメント:看護管理とは、看護とマネジメント 植屋よしの 第2回 : 看護ケアとマネジメント①: 看護管理と倫理、安全管理、多職種連携 植屋よしの 第3回 : 看護ケアとマネジメント②:看護の日常業務のマネジメント、チーム医療 植屋よしの 第4回 : マネジメントに必要な知識と技術:組織構造、看護管理システム 植屋よしの 第5回 : 看護サービスのマネジメント:看護の組織化、看護提供のシステム :看護単位、看護方式、看護必要度 植屋よしの 第6回 : ヒト、モノ、情報、コストの資源とその活用①:継続教育、労働管理 植屋よしの 第7回 : ヒト、モノ、情報、コストの資源とその活用②:物品管理、医療制度と診療報酬保証 植屋よしの 第8回 : 終講試験・まとめ 植屋よしの 【看護研究:15 時間】 第1回 : 研究とは 序章:看護研究を学ぶ前に 萬福 恵子 第2回 : 看護研究とは 萬福 恵子 第3回 : 情報の探索と吟味・研究における倫理的配慮 萬福 恵子 第4回 : 研究デザイン(質的研究と量的研究) 萬福 恵子 第5回 : 筆記試験 萬福 恵子 第6回 : ケーススタディについて①研究計画書について 萬福 恵子 第7回 : ケーススタディについて②レポート作成について 萬福 恵子 第 8 回 : ケーススタディ発表 萬福 恵子			
評価方法	看護管理:終講試験 80 点、小テスト 10 点、学習態度 10 点 総合的に評価する。 看護研究:筆記試験 40 点、ケーススタディ発表 60 点(ルーブリック評価に基準を示す)			
指定図書	1. 系統看護学講座 専門分野 看護管理 看護の統合と実践1 医学書院 2. 系統看護学講座 別巻 看護研究 医学書院			
参考書	1.看護課題とクイズで学ぶ看護マネジメント入門 日本看護協会出版社			
事前・事後学修	毎回の授業テーマに対する指定図書を熟読し、自身の考えをまとめて発言できるようにする。 これまでの学修や臨地実習体験を通して、関心を持ったことが文献検索や研究のテーマになりますので、何について追及していくのか自分の考えを整理しておく。			
実務経験のある教員による実践的授業	看護師として業務に携わり、豊富な経験をふまえ講義を行う。			

専門分野 看護の統合と実践

科目名	災害看護と国際看護	単位 1	時間 20	開校年次 2 年次 後期																																												
科目責任者	中村 幸司																																															
科目概要	近年頻発する災害に対応できる看護の基礎的知識を養うために、災害サイクルに応じた看護の役割を学ぶ。また、災害看護における特殊な技術として、トリアージの方法、救命救急時の看護や応急処置、こころのケアについて演習を通し学習する。 さらにグローバル化している現在、災害看護・国際看護の基礎知識を学ぶことによって看護活動について理解を深める。																																															
到達目標	1.災害医療・災害看護の概念を理解できる 2.災害発生時の社会の活動やしぐみを知り、看護活動を理解できる 3.災害時に必要なケアの実際を理解できる 4.国際的な視野から健康課題や看護問題を考えることができ、国際社会における看護活動の知見を広げる。																																															
授業計画	<table><tr><td></td><td>〈授業内容・テーマ等〉</td><td>〈担当教員名〉</td></tr><tr><td rowspan="11"></td><td>第 1 回:災害看護学・国際看護学を学ぶにあたって 1.看護とグローバル化した社会 2.看護職者に求められるグローバルな視点 3.災害看護学と国際看護学を学ぶ意義 4.災害看護の定義・役割・対象・特徴 5.災害看護・国際看護の原則 6.看護行為の判断の基盤になるもの</td><td>中村 幸司</td></tr><tr><td>第 2 回:災害医療の基礎知識 1.災害看護のあゆみ 2.災害の定義、種類と健康障害</td><td>中村 幸司</td></tr><tr><td>第 3・4 回:災害医療の基礎知識 3.災害の種類と健康被害 4.災害看護の特徴と法律</td><td>中村 幸司</td></tr><tr><td>第 5・6 回:災害サイクルとその看護 1.災害サイクルに応じた活動現場別の災害看護 2.被災者特性に応じた災害看護の展開 3.災害とこころのケア</td><td>中村 幸司</td></tr><tr><td>第 7・8 回:災害時に必要なケアの実践(演習)</td><td>中村 幸司</td></tr><tr><td>第 9 回:1.国際看護とは、2.グローバルヘルス</td><td></td></tr><tr><td>第 10 回:1.国際協力の諸機関と役割 2. 異文化理解と看護活動</td><td>中村 幸司</td></tr><tr><td>第 11 回:終講試験</td><td>中村 幸司</td></tr><tr><td>評価方法</td><td colspan="3">終講試験 90%、授業・演習態度(出席状況) 10%</td></tr><tr><td>指定図書</td><td colspan="3">1.医学書院 系統別看護学講座 統合分野 災害看護学・国際看護学</td></tr><tr><td>参考書</td><td colspan="3">1.いのちとこころを救う災害看護 学研 2.災害看護 心得ておきたい基本的な知識 南山堂 3.演習で学ぶ災害看護 南山堂</td></tr><tr><td>事前・事後学修</td><td colspan="3">日頃より、「災害看護」・「国際看護」を意識し、マスメディアを活用し情報収集を行う。</td></tr><tr><td>実務経験のある教員による実践的授業</td><td colspan="3">看護師として業務に携わり、豊富な経験をふまえ講義を行う。</td></tr><tr><td>実務経験のある教員による実践的授業</td><td colspan="3">看護師として業務に携わり、豊富な経験をふまえ講義を行う。特に、演習においては、災害支援ナースとして日本内外で活躍し、自己の経験をふまえ実践的な演習を行う。</td></tr></table>					〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉		第 1 回:災害看護学・国際看護学を学ぶにあたって 1.看護とグローバル化した社会 2.看護職者に求められるグローバルな視点 3.災害看護学と国際看護学を学ぶ意義 4.災害看護の定義・役割・対象・特徴 5.災害看護・国際看護の原則 6.看護行為の判断の基盤になるもの	中村 幸司	第 2 回:災害医療の基礎知識 1.災害看護のあゆみ 2.災害の定義、種類と健康障害	中村 幸司	第 3・4 回:災害医療の基礎知識 3.災害の種類と健康被害 4.災害看護の特徴と法律	中村 幸司	第 5・6 回:災害サイクルとその看護 1.災害サイクルに応じた活動現場別の災害看護 2.被災者特性に応じた災害看護の展開 3.災害とこころのケア	中村 幸司	第 7・8 回:災害時に必要なケアの実践(演習)	中村 幸司	第 9 回:1.国際看護とは、2.グローバルヘルス		第 10 回:1.国際協力の諸機関と役割 2. 異文化理解と看護活動	中村 幸司	第 11 回:終講試験	中村 幸司	評価方法	終講試験 90%、授業・演習態度(出席状況) 10%			指定図書	1.医学書院 系統別看護学講座 統合分野 災害看護学・国際看護学			参考書	1.いのちとこころを救う災害看護 学研 2.災害看護 心得ておきたい基本的な知識 南山堂 3.演習で学ぶ災害看護 南山堂			事前・事後学修	日頃より、「災害看護」・「国際看護」を意識し、マスメディアを活用し情報収集を行う。			実務経験のある教員による実践的授業	看護師として業務に携わり、豊富な経験をふまえ講義を行う。			実務経験のある教員による実践的授業	看護師として業務に携わり、豊富な経験をふまえ講義を行う。特に、演習においては、災害支援ナースとして日本内外で活躍し、自己の経験をふまえ実践的な演習を行う。		
	〈授業内容・テーマ等〉	〈担当教員名〉																																														
	第 1 回:災害看護学・国際看護学を学ぶにあたって 1.看護とグローバル化した社会 2.看護職者に求められるグローバルな視点 3.災害看護学と国際看護学を学ぶ意義 4.災害看護の定義・役割・対象・特徴 5.災害看護・国際看護の原則 6.看護行為の判断の基盤になるもの	中村 幸司																																														
	第 2 回:災害医療の基礎知識 1.災害看護のあゆみ 2.災害の定義、種類と健康障害	中村 幸司																																														
	第 3・4 回:災害医療の基礎知識 3.災害の種類と健康被害 4.災害看護の特徴と法律	中村 幸司																																														
	第 5・6 回:災害サイクルとその看護 1.災害サイクルに応じた活動現場別の災害看護 2.被災者特性に応じた災害看護の展開 3.災害とこころのケア	中村 幸司																																														
	第 7・8 回:災害時に必要なケアの実践(演習)	中村 幸司																																														
	第 9 回:1.国際看護とは、2.グローバルヘルス																																															
	第 10 回:1.国際協力の諸機関と役割 2. 異文化理解と看護活動	中村 幸司																																														
	第 11 回:終講試験	中村 幸司																																														
	評価方法	終講試験 90%、授業・演習態度(出席状況) 10%																																														
	指定図書	1.医学書院 系統別看護学講座 統合分野 災害看護学・国際看護学																																														
	参考書	1.いのちとこころを救う災害看護 学研 2.災害看護 心得ておきたい基本的な知識 南山堂 3.演習で学ぶ災害看護 南山堂																																														
事前・事後学修	日頃より、「災害看護」・「国際看護」を意識し、マスメディアを活用し情報収集を行う。																																															
実務経験のある教員による実践的授業	看護師として業務に携わり、豊富な経験をふまえ講義を行う。																																															
実務経験のある教員による実践的授業	看護師として業務に携わり、豊富な経験をふまえ講義を行う。特に、演習においては、災害支援ナースとして日本内外で活躍し、自己の経験をふまえ実践的な演習を行う。																																															

専門分野 看護の統合と実践

科目名	診療の補助技術における安全	単位 1	時間 30	開校年次 3 年次 前期
科目責任者	西田 香織 有川 幸宏			
科目概要	看護師は医療事故を未然に防ぐ重要性を認識し、対象者への説明力と、正確性・安全性・安楽性を考えた看護の提供が求められる。そのため、看護技術の原理原則を踏まえた基礎知識を活用し正確・安全・安楽を考えた援助を学ぶ。			
到達目標	新卒が関わったヒヤリハット、医療事故(診療の補助技術)事例をふまえ、発生要因を認識し、対象の生命を守るために安全に看護を提供する方法を学び、看護師としての責任があることを認識できる。			
授業計画	〈授業内容・テーマ等〉 第 1 回:医療安全を学ぶことの大切さ 1. 医療事故の発生のメカニズムと防止策 1)事故発生のメカニズム(医療事故と看護業務) 2)事故分析と防止策を考える 第 2 回:医療安全を学ぶことの大切さ 1. 医療事故の発生のメカニズムと防止策 3)医療安全とコミュニケーション 第 3 回:医療安全を学ぶことの大切さ 1. 医療事故の発生のメカニズムと防止策 4)間違いを誘発させる多重課題、タイムプレッシャー 第 4 回:医療安全を学ぶことの大切さ 2. 継続中の危険な医療行為の観察・管理における事故防止 (チューブ管理と事故防止、療養上の世話の事故防止) 第 5 回:注射業務と事故防止 1. 安全で確実な点滴静脈内注射の実施 第 6 回:注射業務と事故防止 2. 輸液ポンプ・シリンジポンプの正しい取り扱い 第 7 回:注射業務と事故防止 3. 与薬のエラーと危険性への認識 第 8 回:注射業務と事故防止 4. 注射業務プロセスからみた事故防止 第 9 回:注射業務と事故防止 5. 薬剤からみた事故防止 第 10 回:注射業務と事故防止 6. 輸血時の事故防止 第 11 回:負荷状況での点滴静脈内注射 1. 業務プロセスでの演習とタイムプレッシャー下の演習 第 12 回:負荷状況での点滴静脈内注射 2. 注射の指示受けー準備ー実施ー実施後の観察 3. 事故発生時の対処 第 13 回:グループ討議 第 14 回:安全に関する知識の確認(筆記試験) 第 15 回:点滴静脈内注射の管理(タスクトレーニングによる習得)			〈担当教員名〉 西田香織 有川幸弘 西田香織 有川幸宏
評価方法	筆記試験:50% 技術試験:50%(領域実習開始前までに)			
指定図書	1. 系統看護学講座 専門分野 看護の統合と実践[2] 医療安全 医学書院 2. 医療安全ワークブック 第 4 版 医学書院			
参考書	1.医療安全とリスクマネジメント ノーヴェルヒロカワ			
事前・事後学修	1. 看護技術は、反復することで修得へ繋がる。学んだことをしっかりと復習する。 2. 看護技術を行うなかで根拠を踏まえた学習を行う。 3. 演習にも積極的に参加し、知識と共に技術を修得するよう吟味的視点を持つ。			
実務経験のある教員による実践的授業	看護師として業務に携わり、豊富な経験をふまえ講義を行う。			

専門分野 看護の統合と実践

科目名	臨床看護の実践	単位 1	時間 30	開校年次 3 年次 通年																																																																
科目責任者	辻本あゆみ 福丸 隼太 萬福 恵子																																																																			
科目概要	様々な事例を基に患者の状態や危険の予測・安全・安楽・自立を考慮し援助計画の立案を行う。 看護実践を通して振り返り、評価を行い看護実践能力の向上につなげる。																																																																			
到達目標	事例をもとに、既習の知識・技術を統合し複数の対象への看護を実践する能力を養う。そのうえ、リスクマネジメント能力、倫理的判断能力を養うとともに、卒業時に求められる能力を習得し、対象の状態に応じた総合的な判断や対応する看護実践能力を養う。																																																																			
授業計画	<table><tr><td colspan="3">〈授業内容・テーマ等〉</td><td>〈担当教員名〉</td></tr><tr><td colspan="3">第1回:客観的臨床能力試験 (OSCE) オリエンテーション 状況に応じた看護の実際:視床出血のある対象の看護</td><td>辻本あゆみ</td></tr><tr><td colspan="3">第2回:シナリオ看護のための学力試験</td><td>辻本あゆみ</td></tr><tr><td colspan="3">第3回:看護の実際 (OSCE 演習)・振り返り(リフレクション)・評価</td><td>辻本あゆみ</td></tr><tr><td colspan="3">第4回:状況に応じた看護の実際: 心不全患者の看護</td><td>福丸 隼太</td></tr><tr><td colspan="3">第5回:シナリオ看護のための学力試験</td><td>福丸 隼太</td></tr><tr><td colspan="3">第6回:看護の実際 (OSCE 演習) 振り返り(リフレクション)・評価</td><td>福丸 隼太</td></tr><tr><td colspan="3">第7回:状況に応じた看護の実際:複数受け持ちの看護実践(課題提示)</td><td>萬福 恵子</td></tr><tr><td colspan="3">第8回:状況に応じた看護の実際:複数受け持ちの看護実践(計画立案)</td><td>萬福 恵子</td></tr><tr><td colspan="3">第9回:状況に応じた看護の実際:複数受け持ちの看護実践(計画立案)</td><td>萬福 恵子</td></tr><tr><td colspan="3">第10回:状況に応じた看護の実際:複数受け持ちの看護実践(計画実践)</td><td>萬福 恵子</td></tr><tr><td colspan="3">第11回:看護の実際 (OSCE 演習)・振り返り(リフレクション)・評価</td><td>萬福 恵子</td></tr><tr><td colspan="3">第12回:看護の実際・評価後改善計画立案</td><td>萬福 恵子</td></tr><tr><td colspan="3">第13回:看護技術の総合評価:脳梗塞・イレウスのある患者の看護</td><td>辻本あゆみ</td></tr><tr><td colspan="3">第14回:シナリオ看護のための学力試験</td><td>辻本あゆみ</td></tr><tr><td colspan="3">第15回:看護の実際 (OSCE 演習)・振り返り(リフレクション)・評価</td><td>辻本あゆみ</td></tr></table>				〈授業内容・テーマ等〉			〈担当教員名〉	第1回:客観的臨床能力試験 (OSCE) オリエンテーション 状況に応じた看護の実際:視床出血のある対象の看護			辻本あゆみ	第2回:シナリオ看護のための学力試験			辻本あゆみ	第3回:看護の実際 (OSCE 演習)・振り返り(リフレクション)・評価			辻本あゆみ	第4回:状況に応じた看護の実際: 心不全患者の看護			福丸 隼太	第5回:シナリオ看護のための学力試験			福丸 隼太	第6回:看護の実際 (OSCE 演習) 振り返り(リフレクション)・評価			福丸 隼太	第7回:状況に応じた看護の実際:複数受け持ちの看護実践(課題提示)			萬福 恵子	第8回:状況に応じた看護の実際:複数受け持ちの看護実践(計画立案)			萬福 恵子	第9回:状況に応じた看護の実際:複数受け持ちの看護実践(計画立案)			萬福 恵子	第10回:状況に応じた看護の実際:複数受け持ちの看護実践(計画実践)			萬福 恵子	第11回:看護の実際 (OSCE 演習)・振り返り(リフレクション)・評価			萬福 恵子	第12回:看護の実際・評価後改善計画立案			萬福 恵子	第13回:看護技術の総合評価:脳梗塞・イレウスのある患者の看護			辻本あゆみ	第14回:シナリオ看護のための学力試験			辻本あゆみ	第15回:看護の実際 (OSCE 演習)・振り返り(リフレクション)・評価			辻本あゆみ
〈授業内容・テーマ等〉			〈担当教員名〉																																																																	
第1回:客観的臨床能力試験 (OSCE) オリエンテーション 状況に応じた看護の実際:視床出血のある対象の看護			辻本あゆみ																																																																	
第2回:シナリオ看護のための学力試験			辻本あゆみ																																																																	
第3回:看護の実際 (OSCE 演習)・振り返り(リフレクション)・評価			辻本あゆみ																																																																	
第4回:状況に応じた看護の実際: 心不全患者の看護			福丸 隼太																																																																	
第5回:シナリオ看護のための学力試験			福丸 隼太																																																																	
第6回:看護の実際 (OSCE 演習) 振り返り(リフレクション)・評価			福丸 隼太																																																																	
第7回:状況に応じた看護の実際:複数受け持ちの看護実践(課題提示)			萬福 恵子																																																																	
第8回:状況に応じた看護の実際:複数受け持ちの看護実践(計画立案)			萬福 恵子																																																																	
第9回:状況に応じた看護の実際:複数受け持ちの看護実践(計画立案)			萬福 恵子																																																																	
第10回:状況に応じた看護の実際:複数受け持ちの看護実践(計画実践)			萬福 恵子																																																																	
第11回:看護の実際 (OSCE 演習)・振り返り(リフレクション)・評価			萬福 恵子																																																																	
第12回:看護の実際・評価後改善計画立案			萬福 恵子																																																																	
第13回:看護技術の総合評価:脳梗塞・イレウスのある患者の看護			辻本あゆみ																																																																	
第14回:シナリオ看護のための学力試験			辻本あゆみ																																																																	
第15回:看護の実際 (OSCE 演習)・振り返り(リフレクション)・評価			辻本あゆみ																																																																	
評価方法	評価の基準は、以下のとおりとする。 1. 課題およびレポートの提出とその内容 2. 筆記試験・技術試験 第1回目(辻本)20 点・2回目(福丸)20 点 計 40 点 <table><tr><td colspan="2">認知領域(シナリオ看護のため学力試験)</td><td>50点</td></tr><tr><td rowspan="2">精神運動領域</td><td>実践能力</td><td>35点</td></tr><tr><td>リフレクション</td><td>5 点</td></tr><tr><td colspan="2">情意領域</td><td>10 点</td></tr><tr><td colspan="3">辻本:素点×0.2, 福丸;素点×0.2</td></tr></table> 第 4 回目(辻本) 60 点 <table><tr><td colspan="2">認知領域(シナリオ看護のため学力試験)</td><td>50点</td></tr><tr><td rowspan="2">精神運動領域</td><td>実践能力</td><td>35点</td></tr><tr><td>リフレクション</td><td>5 点</td></tr><tr><td colspan="2">情意領域</td><td>10 点</td></tr><tr><td colspan="3">素点×0.6</td></tr></table> 3.協同学習の参加状況、文献検索など学習状況 4.講義・演習に取り組む態度				認知領域(シナリオ看護のため学力試験)		50点	精神運動領域	実践能力	35点	リフレクション	5 点	情意領域		10 点	辻本:素点×0.2, 福丸;素点×0.2			認知領域(シナリオ看護のため学力試験)		50点	精神運動領域	実践能力	35点	リフレクション	5 点	情意領域		10 点	素点×0.6																																						
認知領域(シナリオ看護のため学力試験)		50点																																																																		
精神運動領域	実践能力	35点																																																																		
	リフレクション	5 点																																																																		
情意領域		10 点																																																																		
辻本:素点×0.2, 福丸;素点×0.2																																																																				
認知領域(シナリオ看護のため学力試験)		50点																																																																		
精神運動領域	実践能力	35点																																																																		
	リフレクション	5 点																																																																		
情意領域		10 点																																																																		
素点×0.6																																																																				
指定図書	教科書・参考書は適宜紹介します。																																																																			
参考書	クリニカルスタディなどの雑誌も参考にしましょう。																																																																			

事前・ 事後学修	全ての対象に共通する看護実践の基礎的知識を統合した技術を学習します。個人学習や協同学習は計画的・積極的に臨みましょう。レポート等は提出期日を守りましょう。倫理的配慮や医療安全について実践の場をふまえて臨みましょう。また、演習は事前学習を行い、知識・技術・態度の専門的な向上を目指し臨みましょう。
実務経験のある 教員による 実践的授業	看護師として業務に携わり、豊富な経験をふまえ講義を行う。

専門分野 看護の統合と実践

科目名	総合特論	単位 1	時間 30	開校年次 3 年次 後期
科目責任者	植屋よしの 他			
科目概要	看護師資格修得を見据えて、看護師としての必要な基礎的能力を向上するための学習する。専門基礎分野、専門分野の学習内容について解剖生理学、病態生理、検査・処置から看護までに関連付け、さらに臨床判断、根拠を踏まえた学習をする。			
到達目標	看護師資格取得を目指して、今まで既習してきた講義・演習・実習を想起し、知識・技術を統合し、適切な看護を行う基本について理解を深める。また学習を通して質の高い看護を提供するため自己研鑽を重ねる。			
授業計画	〈授業内容・テーマ等〉 第1回:循環器系疾患・病態の理解と看護 第2回:呼吸器系疾患・病態の理解と看護 第3回:脳神経系疾患・病態の理解と看護 第4回:消化器系の疾患・病態の理解と看護 第5回:腎泌尿器系疾患・病態の理解と看護 第6回:内分泌系疾患・病態の理解と看護 第7回:免疫系疾患・病態の理解と看護、感染症の理解と看護 第8回:高齢者の疾患・病態の理解と看護 第9回:小児期の疾患・病態の理解と看護 第10回:母性看護(妊娠・分娩・産褥各期、新生児期)の特徴と看護 第11回:精神保健福祉法、精神疾患(代表疾患)・病態の理解と看護 第12回:地域・在宅看護論に関連する項目の学習 第13回:実力試験 第14回:実力試験 第15回:実力試験 〈担当教員名〉 植屋 よしの 西田 香織 有川 幸宏 土門真理子 池田沙耶佳 上田平昌代 辻本 あゆみ 五反田聖子 上田平 昌代 松元 蘭子 福丸 隼太 萬福 恵子 萬福 恵子 西田 香織 萬福 恵子			
評価方法	出席状況、および実力試験をもとに評価する。			
指定図書	各系統看護学の教科書			
参考書	各種必要な書籍、必要な資料			
事前・事後学修	各単元項目の知識が深まるよう、わからないところはその都度自ら進んで機会を逃さず学習に励みましょう。			
実務経験のある教員による実践的授業	看護師として業務に携わり、豊富な経験をふまえ講義を行う。			

専門分野 臨地実習

科目名	基礎看護学実習 I	単位 1	時間 45	開講年次 基礎看護学実習 I-1:1 年次前期 基礎看護学実習 I-2:1 年次後期
科目責任者	西田 香織 五反田聖子 他専任教員			
学習の目的 (ねらい)	基礎看護学実習 I-1 入院生活を送っている患者の療養生活や思いを知り、看護活動の体験を通して看護について理解を深める。 基礎看護学実習 I-2 看護の対象として患者を理解し、療養生活における患者の日常生活行動援助を安全・安楽に実施できる。			
授業方法	1. 実習時間 基礎看護学実習 I-1 9 時間 基礎看護学実習 I-2 36 時間 2. 実習施設 済生会川内病院 鹿児島厚生連病院 川内市医師会立市民病院 鹿児島生協病院 上町いまきいれ病院 米盛病院 鹿児島徳洲会病院 3. 詳細は、実習要領参照のこと			
実習計画	実習期間 基礎看護学実習 I-1 1 日間 基礎看護学実習 I-2 4 日間			
成績評価の方法	履修規定に基づく出席状況、態度、発表、実習記録、カンファレンス、レポート、面接を総合して行う。			
授業に関する留意点	1. 各オリエンテーションには実習要綱を持参して出席すること。 2. 学内オリエンテーションで、実習に関すること不明点は、質問し理解して実習には臨むこと。 3. 記録物などの提出期限は厳守する。 4. 実習に関する文献の収集を行う、自己学習をする。 5. 実施する看護技術は、学内で十分に練習して臨む。 6. 看護技術の実施は指導者のもとで行い、常に患者の安全・安楽を優先する。 7. 基礎看護学実習の履修認定を受けていない者は、他の看護学の実習を履修することはできない。			
実務経験のある教員による実践的授業	看護師としての豊富な実務経験をふまえて実習指導を行う。			

専門分野 臨地実習

科目名	基礎看護学実習Ⅱ	単位 2	時間 90	開講年次 2年次 後期
科目責任者	西田 香織 他専任教員			
学習の目的 (ねらい)	健康障害をもつ対象を通し、科学的問題解決技法を用いて看護実践する基礎的能力を養う。			
授業方法	1. 実習時間 90 時間 2. 実習施設 済生会川内病院 鹿児島厚生連病院 川内市医師会立市民病院 鹿児島生協病院 上町いまきいれ総合病院 米盛病院 3. 詳細は、実習要領参照のこと			
実習計画	実習期間 10 日間			
成績評価の 方法	履修規定に基づく出席状況、態度、発表、実習記録、カンファレンス、レポート、面接を総合して行う。			
授業に関する 留意点	1. 各オリエンテーションには実習要綱を持参して出席すること。 2. 学内オリエンテーションで、実習に関すること不明点は、質問し理解して実習には臨むこと。 3. 記録物などの提出期限は厳守する。 4. 実習に関する文献の収集を行う、自己学習をする。 5. 実施する看護技術は、学内で十分に練習して臨む。 6. 看護技術の実施は指導者のもとで行い、常に患者の安全・安楽を優先する。 7. 基礎看護学実習の履修認定を受けていない者は、他の看護学の実習を履修することはできない。			
実務経験のある 教員による 実践的授業	看護師としての豊富な実務経験をふまえた実習指導を行う。			

専門分野 臨地実習

科目名	地域・在宅看護論実習Ⅰ	単位 1	時間 30	開講年次 2 年次
科目責任者	萬福 恵子 他専任教員			
学習の目的 (ねらい)	1. 地域で生活する老年期にある人々の生活の場と健康レベルの多様性を理解し、老年期にある人々の QOL を支えるために必要な支援を考える。			
授業方法	1. 実習時間 30 時間 2. 実習施設 (1) 薩摩川内市高齢者クラブ連合会 (2) いちき串木野市高齢者クラブ連合会 (3) 日置市社会福祉協議会 1 日 (1) いちき串木野市シルバー人材センター (2) 日置市シルバー人材センター (3) 鹿児島市シルバー人材センター 1 日 3. 詳細は、実習要領参照のこと			
実習計画	1. 実習期間 4 日間(臨地 3 日、学内 1 日) ※実習計画に準じて進める			
成績評価の方法	履修規定に基づく出席状況、態度、発表、実習記録、カンファレンス、レポート、面接を総合して行う。			
授業に関する留意点	1. 守秘義務の遵守につとめる。 2. 健康管理をする。 3. 挨拶はきちんとし、明るく積極的な態度で実習に臨む。 4. 各施設内で指導された約束事は遵守する。 5. 曖昧な受け答えはせず、指導者に確認する。 6. 貴重品は自己管理する。 7. 良識と責任を持って行動する。			
実務経験のある教員による実践的授業	看護師としての豊富な実務経験をふまえた実習指導を行う。			

専門分野 臨地実習

科目名	地域・在宅看護論実習Ⅱ	単位 2	時間 90	開講年次 3年次
科目責任者	土門 真理子 他専任教員			
学習の目的 (ねらい)	1. 在宅で生活しているあらゆる発達段階の対象を理解し、保健・医療・福祉活動相互の連携の重要性および看護の役割を学ぶ。			
授業方法	1. 実習時間 90 時間 1)地域・在宅看護論実習Ⅰ 90 時間 2. 実習施設 (1)訪問看護ステーションたにやま (2)訪問看護ステーションかもいけ (3)訪問看護ステーション真砂本町 (4)こじか訪問看護ステーション (5)訪問看護ステーション音いろ (6)訪問看護ステーションさくら (7)訪問看護ステーションせんだい (8)びつぐすまいる訪問看護ステーション 3. 詳細は、実習要領参照のこと			
実習計画	1. 実習期間 10 日間(臨地 8 日、学内2日) ※実習計画に準じて進める			
成績評価の方法	履修規定に基づく出席状況、態度、発表、実習記録、カンファレンス、レポート、面接を総合して行う。			
授業に関する留意点	1. 守秘義務の遵守につとめる。 2. 健康管理をする。 3. 挨拶はきちんとし、明るく積極的な態度で実習に臨む。 4. 各施設内で指導された約束事は遵守する。 5. 曖昧な受け答えはせず、指導者に確認する。 6. 貴重品は自己管理する。 7. 良識と責任を持って行動する。			
実務経験のある教員による実践的授業	看護師としての豊富な実務経験をふまえた実習指導を行う。			

専門分野 臨地実習

科目名	成人期:ヘルスプロモーション実習	単位 2	時間 60	開校年次 2年次後期
科目責任者	池田 沙耶佳 他教員			
科目概要	産業保健における保健活動の実際を学び、地域における課題を明確にし、成人期における労働衛生管理のあり方と看護職の役割について理解する			
学習の目的 (ねらい)	①産業保健管理センター等に出向き、労働衛生対策の実際を学ぶ。 ②労働に起因する健康問題の特性と労働者の健康管理に携わる看護職の機能について学ぶ ③地域保健における課題と改善策について知る。			
授業方法	1. 産業保健実習 1) 労働衛生チームや事業所固有の保健組織・労働安全衛生法に基づく衛生管理の実際 2) 健康診断と事後措置・メンタルヘルスに関する相談・保健指導の実際 3) 事業所における健康保持増進事業 (THP) の実際 4) 実習事業所に特有な健康問題とその対策 社員・職員へインタビュー (健康管理・ライフワークバランスについて) 5) 産業保健における保健師・看護師活動の実際 【実習施設】 ①京セラ株式会社鹿児島川内工場 ②プリマハム株式会社鹿児島工場 ③九州電力鹿児島営業所 ④神村学園 ⑤ヘルスサポートセンター鹿児島 2. 地域保健実習 1) 地域の健康課題、地域住民の健康ニーズ 2) 実習地域の特性や健康課題の把握をする 健康診断者へ日頃の健康管理についてインタビューする 3) 地域の健康課題に対応するために行われている保健医療福祉の連携や協働活動の理解 【実習施設】 ①鹿児島県民総合保健センター ②キラメキテラスヘルスケアホスピタルトータルウェルネスセンター ③鹿児島厚生連病院健康管理センター ④日置市役所市民福祉部 ⑤いちき串木野市串木野健康増進センター			
実習計画	1. 実習期間 臨地実習時間 18 時間 学内実習 12 時間 計 30 時間 産業保健 2 日 地域保健 2 日 学内実習 4 日 計 8 日間			
評価方法	履修規定に基づく出席状況、態度、発表、実習記録、カンファレンス、面接レポートを総合して行う。			
留意点	1. 目標を明確にして臨むこと 2. 現場を離れるときは、指導者に申し出ること 3. 個人情報に配慮し、インタビュー・記録をする 4. 指定した事前課題についてまとめ実習時に活用できるように整理する 5. 実習スケジュールに沿って、地域のことについて調べておく 6. 訪問する企業研究をして臨む			
実務経験のある教員による実践的授業	看護師としての豊富な実務経験をふまえた実習指導を行う。			

専門分野 臨地実習

科目名	成人・老年看護学経過別実習Ⅰ・Ⅱ	単位 4	時間 180	開校年次 3年次前期
科目責任者	有川 幸宏 辻本あゆみ 他教員			
科目概要	経過別における対象の看護について全人的な視点から多角的に捉え、専門職業人として共感的態度・倫理に基づいた看護を実践し、その人らしく生活できるような看護援助が行える。			
学習の目的 ねらい	①周手術期にある対象の看護実践を通して、体力の回復を高め、セルフケア能力を引き出し、自立へと援助できる。 ②生活調整・生活の再構築・ターミナルケアが必要な患者を受け持ち、予測性をもった看護を展開し、QOL を高める援助ができる。			
授業方法	【成人・老年経過別看護実習Ⅰ】2 単位 90 時間 【成人・老年経過別看護実習Ⅱ】2 単位 90 時間 【実習施設】 川内医師会立市民病院 済生会川内病院 鹿児島生協病院 米盛病院			
実習計画	1. 実習期間 臨地実習9日 学内実習 1日 計10日間			
成績評価の方法	履修規定に基づく出席状況、態度、発表、実習記録、カンファレンス、面接レポートを総合して行う。			
授業に関する留意点	1.目標を明確にして実習に臨むこと。 2.実習中、経過により変化する対象を受け持つ。 3.記録物などの提出期限を厳守する。 4.受持対象に関連する文献の収集を行い、自己学習をする。 5.看護過程の各段階で、指導者の指導を受ける。 6.看護計画はカンファレンスで発表・検討・助言を受ける。 7.実施する看護技術は、学内で十分に練習して臨む。 8.看護技術の実施は指導者のもとで行い、常に患者の安全・安楽を優先する。 9.指導者への質問はナースステーションで行う。 10.メモをする時は患者の前では行わない。 11・カルテを閲覧する時は、必ず指導者の許可をもらう。			
実務経験のある教員による実践的授業	看護師としての豊富な実務経験をふまえた実習指導を行う。			

専門分野 臨地実習

科目名	小児看護学実習	単位 2	時間 90	開講年次 3年次
科目責任者	上田平昌代 他専任教員			
学習の目的 (ねらい)	【小児看護学実習Ⅰ】 健康な小児の特徴を理解し、成長発達に応じた保育のあり方を学ぶ。 【小児看護学実習Ⅱ】 小児期にある対象とその家族を総合的に理解し、発達段階、健康障害および健康段階に応じた看護を実践できる基礎的能力を養う。 【小児看護学実習Ⅲ】 在宅で生活している小児とその家族を総合的に理解し、発達段階・健康障害に応じた支援と多職種との連携について学ぶ。			
授業方法	1. 実習時間 90 時間 小児看護学実習Ⅰ 27 時間 小児看護学実習Ⅱ 45 時間 小児看護学実習Ⅲ 18 時間 2. 実習施設 小児看護学実習Ⅰ 神村学園附属幼稚園 小児看護学実習Ⅱ 済生会川内病院 池田病院 小児看護学実習Ⅲ 鹿児島県立串木野特別支援学校 3. 詳細は、実習要領参照のこと			
実習計画	1. 実習期間 12 日間 小児看護学実習Ⅰ 3 日間 前期 小児看護学実習Ⅱ 5 日間 後期 小児看護学実習Ⅲ 2 日間 後期			
成績評価の方法	履修規定に基づく出席状況、態度、発表、実習記録、カンファレンス、レポート、面接を総合して行う。			
授業に関する留意点	1. 実習要綱を熟読し、実習に臨むこと。 2. 学内オリエンテーションで、実習に関すること不明点は、質問し理解して実習には臨むこと。 3. 記録物などの提出期限は厳守する。 4. 実習に関する文献の収集を行う、自己学習をする。 5. 実施する看護技術は、学内で十分に練習して臨む。 6. 看護技術の実施は指導者のもとで行い、常に患者の安全・安楽を優先する。 7. 看護過程の各段階で指導者の指導を受ける。 8. カンファレンスは、積極的に参加し学習の共有を図る。 9. 実習生の態度が小児の生活習慣獲得等に影響を与えるため慎重に行動すること。 10. 小児の自立を妨げないように行動すること。			
実務経験のある教員による実践的授業	看護師としての豊富な実務経験をふまえた実習指導を行う。			

専門分野 臨地実習

科目名	母性看護学実習	単位 2	時間 90	開講年次 3年次
科目責任者	松元 蘭子 他専任教員			
学習の目的 (ねらい)	妊娠・分娩・産褥の母性各期及び新生児期における対象の特性を理解し、対象(家族を含む)の健康状態に応じた看護を実践するためにひつような基礎的能力を養う。			
授業方法	1. 実習時間 総時間:90 時間 2. 実習施設 愛育病院 済生会川内病院 いまきいれ総合病院 今村総合病院 3. 詳細は、実習要領参照のこと			
実習計画	1. 実習期間 10 日間			
	1. 実習内容			
	NICU 実習	病院オリエンテーション 1) 新生児医療(鹿児島県の周産期医療体制を含む) 2) 新生児看護の実際 3) NICU における退院支援	2 時間	
		NICU/GCU 病棟での実習	13 時間	
病棟実習 外来実習 新生児室実習	各実習施設における入院状況に応じて病棟・外来・新生児室をローテーション 1) 妊婦・褥婦・新生児を受け持ち、看護過程の展開を行う。 2) 前実習終了後、母性観・父性観・家族観について 最終レポート「母性観・父性観・家族観」の提出	60 時間		
成績評価の方法	1. 履修規定に基づく出席状況、態度、発表、実習記録を総合して行う。			
授業に関する留意点	1. 責任ある行動をとること。 2. 自己学習に励み、疑問点などは、図書室の活用をし、早めに解決するように心がける。 3. 健康に留意し遅刻、欠席がないようにする。感染症には十分注意する。 4. 実習の目的を十分理解して、積極的に臨むこと。 5. 新生児に接する際は、十分に注意し指導者・教員の指示に従う。			
実務経験のある教員による実践的授業	看護師としての豊富な実務経験をふまえた実習指導を行う。			

専門分野 臨地実習

科目名	精神看護学実習	単位 2	時間 90	開講年次 3年次
科目責任者	福丸 隼太 他専任教員			
学習の目的 (ねらい)	精神障害を持つ対象を理解し、看護に必要な知識・技術・態度を理解する。			
授業方法	1. 実習時間 90 時間（臨地実習 72 時間、学内実習 18 時間） 2. 実習施設 メンタルホスピタル鹿児島 伊敷病院 3. 詳細は、実習要領参照のこと			
実習計画	1. 実習期間 10 日間（臨地9日間、学内2日間）			
成績評価の 方法	履修規定に基づく出席状況、態度、発表、実習記録、カンファレンス、レポート、面接を総合して行う。			
授業に関する 留意点	1. 学内実習では、臨地実習に向けて不明点がないように学ぶ。 2. 記録物などの提出期限は厳守する。 3. 実習に関連する文献の収集や学習を積極的に行う。 4. 自己のコミュニケーションの傾向を知り、対象や病とスタッフなどとコミュニケーションを十分に 図り、相互関係を深める。 5. 個人情報保護を厳守する。			
実務経験のある 教員による 実践的授業	看護師としての豊富な実務経験をふまえた実習指導を行う。			

専門分野 臨地実習

科目名	統合実習	単位 2	時間 90	開講年次 3年次
科目責任者	植屋よしの 西崎 愛美 他専任教員			
学習の目的 (ねらい)	1. 病棟管理や看護専門職としての役割を理解し、看護チームの一員として看護を実践することで、知識・技術・態度を統合した看護実践能力を養う。			
授業方法	1. 実習時間 90 時間 2. 実習施設 鹿児島生協病院 鹿児島厚生連病院 いまきいれ総合病院 済生会川内病院 川内市医師会立市民病院 上町いまきいれ病院 3. 詳細は、実習要領参照のこと			
実習計画	1. 実習期間 10 日間 ＊実習計画に準じて進める			
成績評価の方法	履修規定に基づく出席状況、態度、発表、実習記録、カンファレンス、レポート、面接を総合して行う。			
授業に関する留意点	1. 守秘義務の遵守につとめる。 2. 時間管理、健康管理をする。 3. 挨拶はきちんとし、明るく積極的な態度で実習に臨む。 4. 各施設内で指導された約束事は遵守する。 5. 曖昧な受け答えはせず、指導者に確認する。 6. 良識と責任を持って行動する。			
実務経験のある教員による実践的授業	看護師として豊富な実務経験をふまえた実習指導を行う。			

統合分野 臨地実習

科目名	継続看護論実習 I	単位 2	時間 90	開講年次 3年次
科目責任者	五反田聖子 他専任教員			
学習の目的 (ねらい)	1. 老年期にある人々の生活の場と健康レベルの多様性を理解し老年期にある人々を支えるために必要な保健・医療・福祉に携わる職種との協働・連携と看護の役割を学ぶ。			
授業方法	1. 実習時間 90 時間 2. 実習施設 介護老人保健施設 (1)さるびあ苑 (2)田上苑 (3)ひまわり (4)アンダンテ伊集院 3. 詳細は、実習要領参照のこと			
実習計画	1. 実習期間 ※個々の実習進度は実習計画に従うこと 臨地実習 9日 額名実習 2日			
成績評価の方法	履修規定に基づく出席状況、態度、発表、実習記録、カンファレンス、レポート、面接を総合して行う。			
授業に関する留意点	1. 守秘義務の遵守につとめる。 2. 健康管理をする。 3. 挨拶はきちんとし、明るく積極的な態度で実習に臨む。 4. 各施設内で指導された約束事は遵守する。 5. 曖昧な受け答えはせず、指導者に確認する。 6. 貴重品は自己管理する。 7. 良識と責任を持って行動する。			
実務経験のある教員による実践的授業	看護師として豊富な実務経験をふまえた実習指導を行う。			

統合分野 臨地実習

科目名	継続看護論実習Ⅱ	単位 1	時間 45	開講年次 3年次
科目責任者	萬福 恵子 他専任教員			
学習の目的 (ねらい)	1. 老年期にある人々の生活の場と健康レベルの多様性を理解し老年期にある人々の QOL を支えるために必要な保健・医療・福祉に携わる職種の協働・連携と看護の役割を学ぶ。 2. 地域で生活しているあらゆる発達段階の対象理解と、生活を支えている人々の取り組みの実際を理解できる。			
授業方法	1. 実習時間 30 時間 認知症対応型共同生活介護 グループホーム (27 時間) 地域包括支援センター (9 時間) 社会福祉協議会 (9 時間) 2. 実習施設 認知症対応型共同生活介護グループホーム (1)認知症対応型共同生活介護 グループホーム燦々(さんさん) (2)認知症対応型共同生活介護 グループホーム永利 (3)認知症対応型共同生活介護 グループホームふるさとの家「すずらん」 地域包括支援センター (1)いちき串木野市地域包括支援センター } 1 日 社会福祉協議会 (1)薩摩川内市社会福祉協議会 (2)日置市社会福祉協議会 } 1 日 (3)いちき串木野市社会福祉協議会 3. 詳細は、実習要領参照のこと			
実習計画	1. 実習期間 ※個々の実習進度は実習計画に従うこと 認知症対応型共同生活介護 グループホーム 3 日 地域包括支援センター 1 日 社会福祉協議会 1 日			
成績評価の方法	履修規定に基づく出席状況、態度、発表、実習記録、カンファレンス、レポート、面接を総合して行う。			
授業に関する留意点	1. 守秘義務の遵守につとめる。 2. 健康管理をする。 3. 挨拶はきちんとし、明るく積極的な態度で実習に臨む。 4. 各施設内で指導された約束事は遵守する。 5. 曖昧な受け答えはせず、指導者に確認する。 6. 貴重品は自己管理する。 7. 良識と責任を持って行動する。			
実務経験のある教員による実践的授業	看護師として豊富な実務経験をふまえた実習指導を行う。			